

A vibrant, stylized illustration of a boat festival. In the foreground, a white boat with a black outline is shown from a side profile, moving through blue water. Two men are on board; one is steering. A large, colorful kite with a red fish and blue waves is attached to the boat's mast. In the background, other boats and kites are visible, along with seagulls flying in the sky. A yellow banner with Japanese text is overlaid on the scene.

南知多町文化財保存活用地域計画

令和5年12月認定 令和6年2月一部改訂
愛知県知多郡南知多町

南知多町文化財保存活用地域計画目次

序章	はじめに	1
1.	計画作成の背景と目的	1
2.	計画の位置づけ	2
3.	作成の体制と経過	6
4.	計画期間	8
5.	計画の進捗管理と自己評価の方法	8
6.	用語の定義	8
第1章	南知多町の概況	10
1.	自然的・地理的環境	10
2.	社会的状況	19
3.	歴史の変遷	26
第2章	南知多町の文化財の概要と特徴	41
1.	指定等文化財の概要	41
2.	未指定文化財の概要	42
3.	類型ごとの特徴	42
第3章	南知多町の歴史文化の特徴	55
第4章	文化財の把握調査	59
1.	既存の文化財の把握調査の概要	59
2.	地区ごとの文化財の把握調査の現状	69
第5章	文化財の保存と活用に関する現状	71
1.	文化財の保存・管理に関する現状	71
2.	文化財の活用に関する現状	73
3.	文化財の継承に関する現状	75
第6章	文化財の保存と活用に関する将来像・課題・方針	76
1.	文化財の保存と活用に関する将来像	76
2.	文化財の保存と活用の基本目標	76
3.	文化財の保存と活用に関する課題	77
4.	文化財の保存と活用の方針	79
第7章	文化財の保存と活用に関する措置	84
第8章	文化財の防災・防犯	90
1.	災害の歴史	90
2.	文化財の防災・防犯に関する現状と想定されるリスク・課題	91

3. 文化財の防災・防犯に関する方針	94
4. 文化財の防災・防犯に関する措置	96
5. 文化財の防災・防犯の推進体制と体制整備	97

第9章 文化財の保存・活用の推進体制 98

1. 文化財の保存・活用の推進体制	98
2. 体制整備の課題・方針	99
3. 進捗管理と評価の方法	100
4. 関係市町村との連携	101

表紙切り絵 山寄 修

序 章 はじめに

1. 計画作成の背景と目的

南知多町は、知多半島の先端に位置し三方を海に囲まれた半島先端部と篠島、日間賀島などの島からなる町です。

本町においては、明治時代以降、明治41年(1908)の『郷土教育資料 内海古事類聚』や大正10年(1921)の『篠島史蹟』のように、当時の教員によって郷土の歴史資料がまとめられました。そして、大正デモクラシーの後を受けた昭和時代初期には、生活の場である郷土をみつめ、郷土に即した教育を推進しようとする思潮が起こり、本町でも考古学をはじめ地理・歴史分野の研究会や講習会が盛んに開催されるようになりました。自らも学び、かつ教える実践活動も行われ、町内における遺跡調査や、史跡の顕彰、保存事業が行われ、これがいま文化財豊かな町と呼ばれる基となりました。この郷土教育は、内海の鈴木健雄、豊浜の山本伝太郎、大井の石黒鐘二、篠島の出村^{たまき}・折戸耐次らによって精力的に進められました。そして、鈴木らの調査成果に新たに収集した資料を加え、本町は昭和40年(1965)に『南知多町誌』を刊行しました。また、昭和52年(1977)には、収集した郷土資料を収蔵、展示する南知多町郷土資料館を開館しました。その後も、町誌編さんの中心となった内田洋、山本錠之助、山下清、磯部幸男、沢田平太郎らが郷土研究を続け、それら郷土研究の集大成として、本町は昭和62年度(1987)から平成8年度(1996)にかけて、本文編1巻、資料編6巻からなる『南知多町誌』を刊行しました。

町誌刊行と時期を同じくして、尾州廻船内海船の有力船主であった内田佐七の現存家屋の本町への寄贈の話が持ち上がり、日本福祉大学知多半島総合研究所を中心とした内海船研究の成果をもとに町民の内海船への関心が高まりました。そして、本町は、内田佐七の現存家屋の寄贈を受け、整備工事と活用事業を住民団体の協力の下で進めました。また、本町では、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金を活用して住民団体との協働により祭礼調査、祭礼用具の修復などを進めたところ、新たな発見があり町民の祭礼に対する意識が向上しました。

一方、本町では、人口減少、高齢化などによる祭礼後継者の不足をはじめ、有形文化財の維持管理、盗難防止策、災害予防策、自然環境保全など、全国と同様な課題を抱えるようになりまし。また、本町の郷土資料を収蔵していた町郷土資料館を、平成30年度(2018)に建物老朽化のため解体したことから、住民や本町を訪れる人たちが本町の歴史文化を学ぶことができる場所の確保という新たな課題が生じるようになりまし。さらに令和2年(2020)からの新型コロナウイルス感染症の影響により、祭礼の実施が見送られることによる住民の祭礼離れが目立ち、技術継承のみならず伝統行事である祭礼そのものの存続などに大きな課題を抱えるようになりまし。

「南知多町文化財保存活用地域計画(以下、「本計画」という。)」は、上記の状況の中、祖先から受け継がれてきた住民の大切な財産である文化財を、指定、未指定に関わらず、

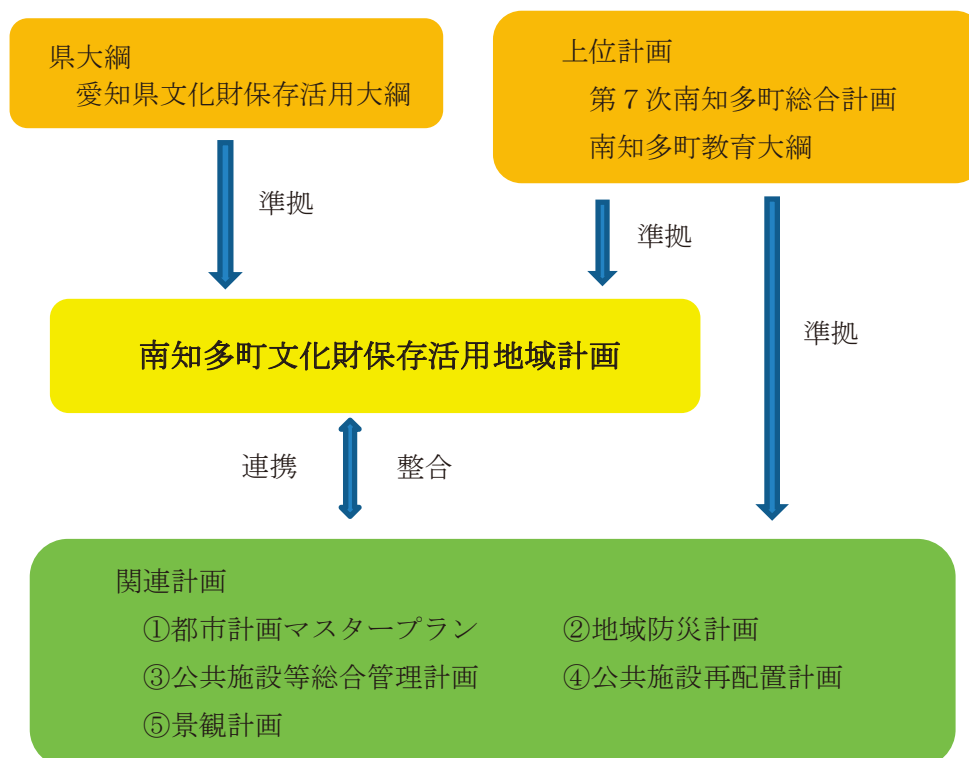
調査、研究し、それらの成果を住民に発信することにより、その価値を住民に認識してもらい、さらに活用を通して地域活性化につなげるとともに、後世に継承していこうとするものです。

2. 計画の位置づけ

(1) 計画の全体的な位置づけ

本計画は、文化財保護法第 183 条の 3 第 2 項に基づき作成された、本町における文化財の保存と活用に関する総合的な指針・措置を示す計画です。「文化財保護法」など関係法令や「愛知県文化財保存活用大綱」に則り、上位計画である「第 7 次南知多町総合計画」、「南知多町教育大綱（南知多町教育振興基本計画）」の下に体系づけられています。また、本町の関連計画との整合性を図りつつ、今後における本町の文化財保護行政の中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと、短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランとしての両方の役割を担っています。

そして、本計画に基づいた施策を実施することで、町と住民、民間団体など、地域社会総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、地域全体で文化財保護につなげていくことが期待されています。



体系図

(2) 町の上位計画、関連計画との関係

南知多町第7次総合計画及び町の関連計画では、文化財について以下のように位置づけています。

1) 上位計画

①「第7次南知多町総合計画」

(令和3年(2021)3月策定、計画期間：令和3年度～令和14年度(2021～2032))

本町の最上位計画である第7次南知多町総合計画(以下、「町総合計画」という。)は、まちの将来イメージとして「絆・選ばれる理由があるまち～Bonding, reason to be chosen～」を掲げ、多様なつながり＝「絆」を大切にし、活かすことで、心豊かで創造的なまちが魅力となって、住む・働く・訪れるまちとして「選ばれる」、そんな姿を本町の将来イメージとして提案しています。そして、まちづくりにかかわる基本理念を「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」として4つの基本目標を設定し、その中で教育分野における教育・文化・スポーツの基本目標として「地域で育むひとづくり」を掲げ、その教育施策として、「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」を掲げています。

②「南知多町教育大綱(南知多町教育振興基本計画)」

(令和3年(2021)3月策定、計画期間：令和3年度～令和6年度(2021～2024))

南知多町教育大綱は、町総合計画を踏まえ、基本目標における教育施策の一つ「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」の中で「伝統・文化を保存し次世代へ伝え、情報発信することで、地元に着と誇りをもてる時代の育成や、文化を活かした観光・交流の振興を目指します。また、文化・スポーツ活動が、町民の交流や、健康の維持増進につながることを目指します。」を目指すべき将来像として掲げています。

そして、その具現化に向け、文化財の保存・活用については以下のことについて取り組むこととしています。

ア 文化財保護体制の確立、推進

町内各地に残る史跡や歴史的施設、埋蔵文化財包蔵地、文化財、文化的遺産等の保存、活用、継承を図るため、文化財保存活用地域計画の策定を進め、保護体制の確立に努めます。

また、策定した地域計画に基づき、文化財等の保存・活用に係る活動を行う文化財保護団体の育成及び活動の支援、町民の文化財に対する保護意識の高揚に努めます。

イ 文化財の調査、保存、活用

町内各地に残る史跡や歴史的施設、埋蔵文化財包蔵地、文化財、文化的遺産等の調査、保護及び周辺環境の保全に努めます。また、文化財等の調査・研究を通して得た情報をもとに、重要度に応じて文化財指定するなど保存を図るとともに、各文化財に関する情報の提供と活用に努めます。

ウ 無形民俗文化財の継承

保存・伝承すべき無形民俗文化財を把握するため、郷土に古くから残る祭礼や風習、行事、郷土芸能等の無形民俗文化財についての掘り起こしや研究を進めるとともに、その継承を支援します。

2) 関連計画

①南知多町都市計画マスタープラン

(令和3年(2021)3月策定、計画期間:令和3年度～令和12年度(2021～2030))

町総合計画の基本理念「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」を実現するために掲げた目標の一つに「地域資源を活かしたまちづくり」を掲げ、「自然、歴史・文化、食を活かした観光まちづくり」と「地域資源を活かしたまちづくり」のため、豊かな自然、歴史・文化の名所などを活かし、インバウンドや国内からの観光客を取り込み、農業、漁業、商工業など他産業との連携を強化、地元の産業振興、新たな産業の創出を促進していくことを方策としています。

②南知多町地域防災計画

(令和5年(2023)3月修正)

町における文化財保護対策措置として、「防災思想の普及」、「管理者に対する指導・助言」、「防火・消防施設等の設置」、「文化財及び周辺環境整備」、「応急協力体制」を、また、重要文化財対策として、平成30年(2018)8月9日付け文化庁文化財部参事官(建造物担当)の事務連絡「重要文化財(建造物)の耐震対策について」に基づき、「耐震予備診断・耐震診断及び耐震補強の実施」、「対処方針の作成・提出」、「耐震対策推進の周知徹底」、「補助事業における耐震予備診断の必須」、「耐震予備診断実施の徹底」、「県の指導・助言」の各耐震対策を実施することとしています。

具体的な対策としては、防災思想の普及や、管理者に対する指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ることとし、平常時からの対策として国指定・県指定文化財の所有者ごとに「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えることとしています。また、応急的な対策として、被害発生時の現場保存や緊急的保存措置の指導を行い、火災・散逸などの二次災害防止に努めることとしています。その他、災害時の対応として被害状況の把握・報告、事後措置の指示・伝達を行うこととしています。

③南知多町公共施設等総合管理計画

(平成29年(2017)3月策定、令和4年(2022)3月改訂)

計画期間:平成29年度～令和42年度(2017～2060)

本町における公共施設の現況や人口動態、財政状況から、今後公共施設の適切な維持管理等が困難になることが予測されるため、公共施設等の「量の確保」から「質

の重視」への転換を行い、公共施設等を将来にわたり安心して利用できるよう公共施設マネジメントを実施することとしています。また、人口推計、財政面等から、令和 32 年度（2050）までに施設総量を床面積比で 50%削減することを目標とし、公共施設等の管理に関する基本的指針として、更新・統廃合・長寿命化等の実施方針、目標を示しています。

この計画において、文化財関連施設については本計画等に基づき、適切に維持・運営を図ることとしています。

④南知多町公共施設再配置計画

（令和 5 年度（2023）策定、計画期間：令和 6 年度～令和 35 年度（2024～2053））

南知多町公共施設等総合管理計画を踏まえ、中長期的な視点から公共施設等の更新等を計画的に進め、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設の適正規模・適正配置の最適化を図ることとしています。

この計画において、旧内田家住宅、旧内田佐平二家住宅などの文化財建造物については、文化財の観点から将来にわたり維持していくことを方針としています。

⑤南知多町景観計画

（令和 5 年度（2023）策定、計画期間：令和 6 年度～令和 14 年度（2024～2032））

町民が誇りをもって住み続けられる心地よいまち、何度も訪れたくなる魅力ある美しいまちをつくるため、それぞれの景観の成り立ちを尊重し、よい景観を守り、創り、育むことを目標としています。

この計画では、①海の景観、山の景観を守り育む、②丘陵の緑と調和した景観を守り育む、③漁業の営みや暮らしを感じる、親しみある漁村景観を守り育む、④農地と丘陵が織りなす豊かな自然景観と集落が調和した農村景観を形成する、⑤のびやかに広がるパノラマ景観を守るとともに、にぎわいある景観を形成する、⑥培われてきた生活文化や風土が生み出す景観を尊重することとしています。

（3）愛知県文化財保存活用大綱との関係

（令和 2 年（2020）9 月策定、計画期間：なし）

近年、全国的な傾向としての過疎化、少子高齢化等の社会状況の変化の中で、各地の貴重な文化財の滅失、散逸等の防止が喫緊の課題となっています。このため、従来は価値付けが明確でなかった未指定の文化財を含め、有形・無形の文化財をまちづくりに生かしつつ、文化財の継承者を確保し、地域社会全体で保存・活用に取り組んでいくような体制の整備が必要とされ、愛知県教育委員会は平成 28 年（2016）に「愛知県文化財保護指針」（以下「指針」という。）を策定しました。そして、この指針を継承、発展させて本県における文化財の保存・活用の取組について共通の基盤を提示することを目的として、令和 2 年（2020）に「愛知県文化財保存活用大綱」を策定し、本県における文化財の保存・活用の基本方針を示しています。

本計画は、愛知県文化財保存活用大綱に準拠し、文化財の保存と活用に関する方針や措置を定めていくものとします。

3. 作成の体制と経過

本計画作成にあたっては、南知多町教育委員会教育部社会教育課が事務局となり、南知多町文化財保護委員（以下、「文化財保護委員」という。）、文化財に関する学識経験者、本町の文化財研究を行う大学教授や研究機関代表者、重要文化財所有者などからなる南知多町文化財保存活用地域計画協議会（以下、「協議会」という。）において計画案の審議検討を行いました。また、協議会の審議内容については南知多町文化財保護委員会（以下、「文化財保護委員会」という。）の場に議題として提案し、意見の聴取を行いました。

協議会メンバー

役職	氏名	所属	専門分野
会長	山本 嘉秀	文化財保護委員会	歴史一般
副会長	石橋 伊鶴	文化財保護委員会（副委員長）	考古学、漁業
委員	磯部 和雄	南知多観光ボランティアガイド（会長）	観光学、歴史一般
委員	松本 好平	南知多町区長連合会	無形の民俗文化財
委員	間瀬 芳郎	立川流彫刻6代目棟梁	彫刻、無形の民俗文化財
委員	山崎 瑤	立川流彫刻研究所（研究員）	彫刻
委員	曲田 浩和	日本福祉大学経済学部（教授） 日本福祉大学知多半島総合研究所（所長）	近世史
委員	高部 淑子	日本福祉大学知多半島総合研究所（教授）	近世史
委員	後藤 真吾	岩屋寺（住職）	仏教
委員	間瀬 研司	羽豆神社（宮司）	神道
委員	山下 泉	前愛知県文化財保護指導委員	歴史一般
委員	高田 順平	南知多町副町長	まちづくり
委員	高橋 篤	南知多町教育長	無形の民俗文化財
委員	鈴木 淳二	南知多町教育部長	文化財保護担当部長
委員	奥川 広康	南知多町産業振興課長	観光振興担当課

文化財保護委員会メンバー

役職	氏名（担当地区）
委員長	澤田 利久（大井）
副委員長	石橋 伊鶴（篠島）
委員	内田 卓男（内海） 丸山 専治（山海） 澤田 健吾（豊浜） 山本 嘉秀（師崎） 宮地 寿弥（日間賀島）

作成の経緯

年月日	内容
令和3年5月13日	文化庁と事前協議
令和3年8月6日	令和3年度第1回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (素案について審議検討)
令和3年11月～12月	住民アンケート調査実施
令和4年1月27日	令和3年度第2回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (素案について審議検討)
令和4年2月6日	住民説明会、講演会
令和4年6月10日	令和4年度第1回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (素案について審議検討)
令和4年8月31日	文化財保護委員会（協議会審議内容に係る意見聴取）
令和4年9月13日	文化庁との修正協議
令和4年9月16日	令和4年度第2回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (素案について審議検討)
令和4年11月4日	文化財保護委員会（協議会審議内容に係る意見聴取）
令和4年11月19日	住民説明会、講演会
令和4年12月21日	文化庁との修正協議
令和5年1月19日	文化財保護委員会（協議会審議内容に係る意見聴取）
令和5年1月31日	令和4年度第3回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (素案について審議検討)
令和5年3月23日	文化財保護委員会（協議会審議内容に係る意見聴取）
令和5年4月26日	文化庁との修正協議
令和5年5月25日	令和5年度第1回南知多町文化財保存活用地域計画協議会 (最終案について審議検討)
令和5年6月9日	文化庁調査官の現地視察
令和5年6月27日	文化財保護委員会（最終案について報告、意見聴取）
令和5年7月7日	パブリックコメントによる住民意見の聴取
令和5年12月15日	文化庁文化審議会開催、計画認定

庁内連絡体制

区分	課室名
事務局	教育委員会教育部社会教育課
連携担当課	総務部企画財政課
	総務部成長戦略室
	総務部防災危機管理室
	建設経済部建設課
	建設経済部産業振興課
	教育委員会教育部学校教育課

4. 計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度から令和14年度(2024～2032)までの9年間とします。これは、町総合計画が令和14年度(2032)までを計画期間としていて、本計画の期間は町総合計画の満了年度に合わせたことによるものです。

町総合計画は4年ごとに見直すこととしていて、本計画においても事業成果の検証及び点検等を行い、必要に応じて見直しをしていきます。なお、軽微な変更を行う際には、愛知県及び文化庁へ情報提供を行うこととするほか、以下に掲げる軽微でない変更を行う際には再度文化庁長官に申請し変更認定を受けることとします。

【文化庁に変更の認定を受ける内容】

- ・ 計画期間の変更
- ・ 町の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更
- ・ 本計画の実施に支障が生じるおそれのある変更

そして、町総合計画の期間満了となる令和14年度(2032)には、次期となる第8次南知多町総合計画との整合性を図りながら、本計画を見直していくこととします。

5. 計画の進捗管理と自己評価の方法

本計画の実効性を高め、円滑かつ着実な推進を図るため、PDR サイクルマネジメントによる進捗管理および効果等の検証を行います。本計画の進捗管理および検証は、本計画作成後に文化財保護委員会において、それぞれの段階における定期的な点検・評価として年次評価(短期評価)及び最終評価(長期評価)を行うこととします。文化財保護委員会は、各地区区長代表から推薦された有識者で組織され、地域の実情、文化財の保存・活用に関わる経験等の視点から、本計画の取り組みや効果を検証していくことで、計画の実効性を確保していきます。

6. 用語の定義

文化財保護法第2条においては、「文化財」とは我が国にとって歴史上・芸術上・学術上・鑑賞上等の価値が高い文化的所産(人類が形作ってきた結果として生み出されたものや精神)であり、6つの類型(「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」)に定義しているほか、埋蔵文化財や文化財の保存技術の保護について規定しています。また、文化審議会文化財分科会企画調査会報告書(平成19年(2007)10月)においては、「文化財保護法に規定されている本来の文化財とは、指定などの措置がとられているか否かにかかわらず、歴史上又は芸術上などの価値が高い、あるいは人々の生活の理解のために必要なすべての文化的所産を指すもの」とされています。

これらのうち、国や県、町にとって特に重要と考えられているもので、法に規定するのは、指定、登録の手続きと保存措置が図られています。一方、本町には、私たちの祖先から受け継がれてきたものがたくさんあります。この中には、法に規定する文化財でありな

がらも、指定、登録等の手続きや保護措置がなされていない、いわゆる「未指定文化財」、
「未登録文化財」があります。また、法に規定する文化財ではないのですが、本町に伝わる
伝説や昔ばなし、特産品、地名、伝承地など、人々の暮らしと深く関わってきたものや、
自然環境、自然景観など、私たちの毎日の生活や取り巻く環境、歴史、文化等を表すもの
として、住民が未来に残していきたい、次世代に受け継いでいきたいと考えるものがたく
さんあります。

令和3年(2021)11月から12月にかけて実施した住民アンケート調査の結果によれば、
本町においては町の歴史や伝統文化などに対する興味は決して高くはないですが、祖先か
ら受け継がれてきたものを保存し、次世代に継承していくことは必要と考えている人の割
合は高いことがわかりました。そして、住民アンケート調査や本計画説明会、講演会時に
実施したアンケート調査の結果からは、自然や景観、伝統的行事などを大切にし、未来へ
残していくことが望まれていることがわかりました。

以上のことから、本計画では対象とする範囲を、法で規定しているものだけに限定せず、
町民にとって大切に価値があり、次世代に守り伝えていきたいと思うすべてのものとし、
「指定等文化財」以外のものを「未指定文化財」と呼ぶこととします。そして、これらを、
「本町民にとって未来に残したい大切なもの」、「活用を通して本町の価値や魅力を伝える
ことができるもの」として、南知多町の「文化財」と位置づけ、計画の対象とします。



※町民が次世代に受け継いでいきたいと思うすべてのもの

- ・地域にとって重要で、次世代に継承すべき文化的所産
- ・町民が本町の歴史や文化を語るうえで「大切なもの・価値のあるもの」や守り伝えたいと思うもの
- ・自然環境や人々の活動、伝承等

第1章 南知多町の概要

1 自然的・地理的環境

(1) 町の位置と面積

本町は、愛知県庁所在地である名古屋市の南約 50 km、愛知県知多半島の南端部に位置しています。北部は美浜町に接し、東部は知多湾・三河湾、南西部は伊勢湾に面しています。面積 38.37 km²、南北は最長 12.1km、東西は最長 15.0km、最高地の標高は 128.3m の町です。



南知多町の位置

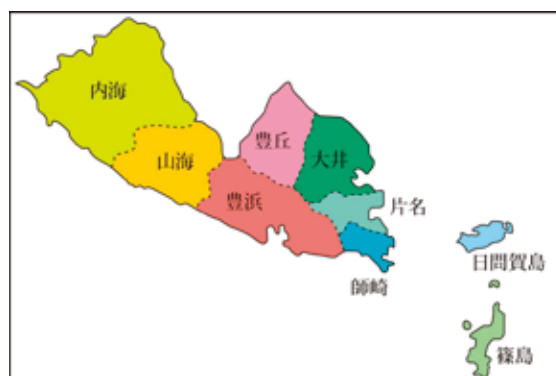
(2) 地名と村の変遷

現在の町域は 9 つの区に分かれていて、それは近代以降の村に由来し、現在も地区区分として使われていて、本計画でも必要に応じてこの区分を使います。そして、これらの区は、大きく内海・山海地域、豊浜・豊丘地域、大井・片名・師崎地域の 3 地域と篠島、日間賀島の 2 つの島に分けることができます。

「内海」は、本町西海岸の北部に位置し町内で最も広い平坦地をもつ地域で、古代末には「内海荘」の名で呼ばれていました。近世には、吹越村・岡部村・中之郷村・馬場村・北脇村・内福寺村・楠村・名切村・利屋村・西端村・東端村の 11 か村があり、明治 11 年 (1878)、この 11 か村が合併して内海村になりました。その後、明治 26 年 (1893) の町制施行で内海町に、昭和 36 年 (1961) の 5 か町村合併で南知多町大字内海になりました。

「山海」は、内海の南東、伊勢湾に面して位置する地域で、内海の次に広い平坦地をもつ地域です。明治 11 年 (1878)、久村・岩屋寺村・大泊村が合併し山海村になり、明治 39 年 (1906) に内海町と合併し、昭和 36 年 (1961) の 5 か町村合併で南知多町大字山海になりました。

「豊浜」は、山海の東、伊勢湾に面して位置する地域です。『万葉集』巻 11、巻 14 に「須佐の入江」と謡われた場所で古くから天然の良港のある場所として知られていました。明治 11 年 (1878)、須佐村およびその西の中須村が合併して豊浜村となりました。明治 38 年 (1905) の町制施行で豊浜町になり、昭和 36 年 (1961) の 5 か町村合併で南知多町大字豊浜になりました。



南知多町の現在の大字

「豊丘」は、豊浜の北に位置し、知多湾に面しています。明治11年(1878)に、乙方村・山田村・切山村・矢梨村の4か村が合併して成立、さらに明治22年(1889)に古布村が加わり村域が広がりましたが、明治39年(1906)、矢梨・切山・古布は河和町(現美浜町)へ、乙方・山田は豊浜町と合併しました。そして、昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字豊丘になりました。

「大井」は、知多半島の先端部にあつて、知多湾側に入江をほぼ東に向けて開く3か村(大井村、片名村、師崎村)のうち、一番北に位置し、入江が深く天然の良港として古くから知られてきた地域です。中世には「大井郷」の名で知られ、明治11年(1878)に、南に位置する片名村と合併して旭村となりましたが、明治17年(1884)に分村して大井村にもどったものの、明治22年(1889)再び片名村と合併し大井村になり、さらにその後、すでに町制を施行していた師崎町と明治39年(1906)に合併しました。そして、昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字大井になりました。

「片名」は、北は大井、南は師崎に接した地域で、中世には「方名」の名で知られていました。明治時代以降は大井村との合併を経て、明治39年(1906)に師崎町となりました。そして、昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字片名になりました。

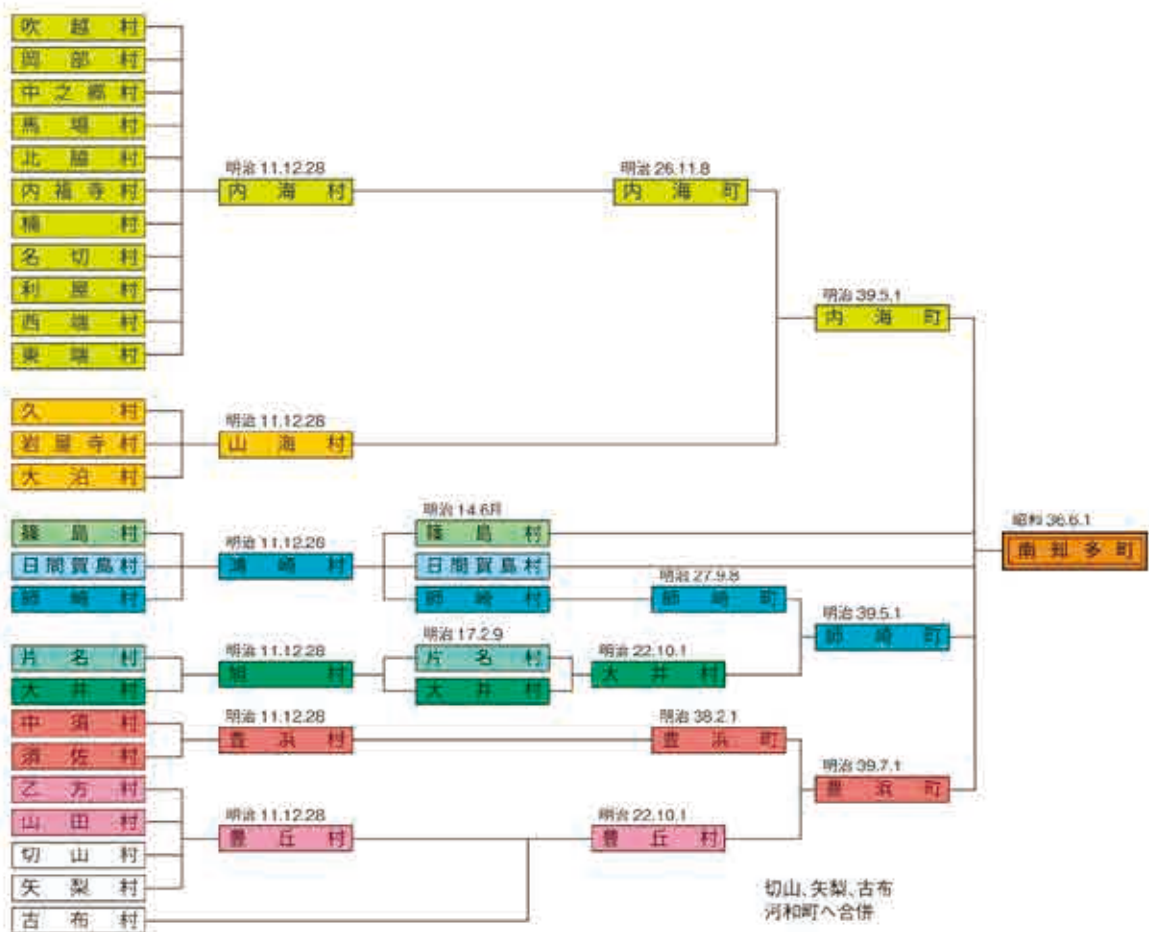
「師崎」は、片名の南にあり、知多半島の先端に位置し、東に篠島・日間賀島を望んでいます。古くから尾張氏との関係が深く、「師崎」とよばれる以前は「幡豆崎」と呼ばれていました。師崎村は、明治11年(1878)に篠島村、日間賀島村と合併して鴻崎村になりましたが、明治14年(1881)に分村、その後、明治27年(1894)に町制を敷き、明治39年(1906)に大井村と合併しました。そして、昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字師崎になりました。



南知多町の地名 (国土地理院ウェブサイト 地理院地図3Dを加工して作成)

「篠島」は、師崎の南東約3kmの地点に位置する島です。藤原宮跡出土木簡に「三川国波豆評篠嶋里」、平城宮跡出土木簡に「参河国播豆郡篠嶋」とあり、古代にはその名が記録されています。また、篠島は伊勢神宮とのつながりが強く、鎌倉時代には志摩国答志郡に、室町時代には伊勢国度会郡山田庄継橋郷に属していました。篠島村は、明治11年(1878)に師崎村、日間賀島と合併して鴻崎村になりましたが、明治14年(1881)に分村、その後昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字篠島になりました。

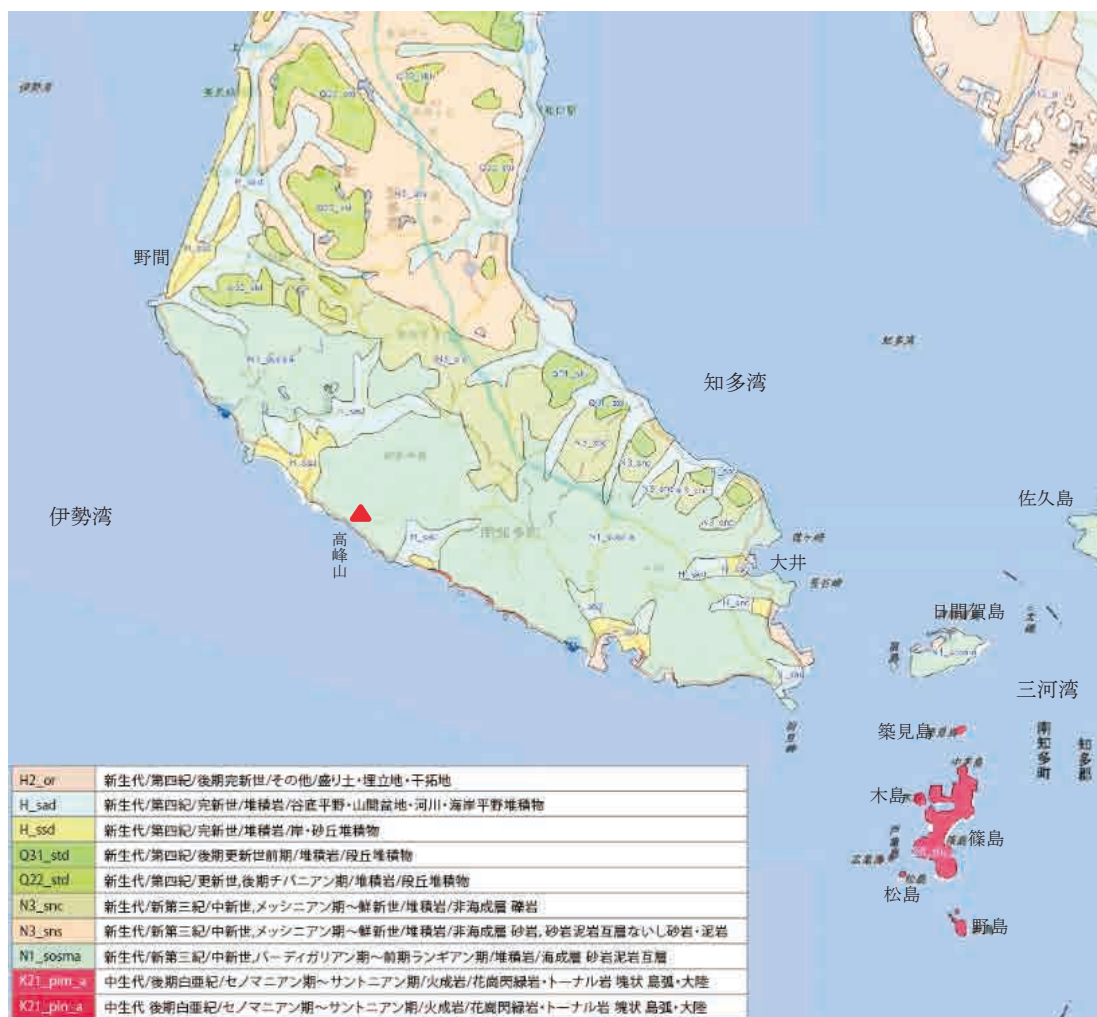
「日間賀島」は、師崎の東約2kmの地点に位置する島です。平城宮跡出土の木簡に「参河国芳圀郡比莫嶋」とあり、古代にはその名が記録されています。明治11年(1878)に師崎村、篠島村と合併して鴻崎村になりましたが明治14年(1881)に分村、その後昭和36年(1961)の5か町村合併で南知多町大字日間賀島になりました。



南知多町の村の変遷

(3) 地形・地質

本町の半島部には丘陵が連なっています。北西部の伊勢湾側には知多半島最高峰である高峰山（標高 128.3m）があり、^{たかみねさん} 全体的には伊勢湾側が高く、丘陵斜面が急なのに対し、知多湾側は低くなだらかになっています。そして、知多湾側が陥没による湾入地形が発達し、天然の良港として利用されているのに対し、伊勢湾側は断層によって海に落ち込み、小さな海食棚と高い海食崖が連なり、古くは陸上交通上の障害ともなっていました。また、海岸部は岩がちの磯が分布し、伊勢湾側の海岸部には、海流によって木曾川などから運ばれた砂が強い季節風で吹き上げられ積もった砂堆列が見られます。そして、丘陵地を水源として流れる河川は長さが5kmほどのものが多く水量に恵まれず、丘陵と丘陵の間の谷底平野は谷幅の狭いものが多いため、台地のような中間面があまりなく直接低地が分布しています。島しょ部は有人の篠島、日間賀島と、無人の^{きじま}木島、^{つくみじま}築見島、^{のじま}野島、^{まつしま}松島などの島があり、篠島は海拔 48.1m が最も高い地点で、海岸は海水浴場のある砂浜の周辺を除いてほとんどが海食崖です。一方、日間賀島はなだらかな丘陵でできていて、南側は海水の浸食作用が大きく、海食崖が発達しています。



南知多町の地質図（国土地理院シームレス地質図を加工して作成）

本町でみられる地質は、基盤をなす領家帯花崗岩類、新第三紀中新世の師崎層群、第四紀洪積世の段丘堆積層と沖積層から構成されています。基盤をなす花崗岩類は、本町南東部の海上に点在する島々にみられます。篠島をはじめとする付近の小島は、白亜紀古期に形成された領家帯の角閃石黒雲母トータル岩でつくられています。師崎層群は、美浜町野間から本町大井を結ぶ線より南の丘陵地を形成しています。東方海上の日間賀島と西尾市の佐久島も同じ層で形成されています。この層は海成層で主に砂泥互層からなり、層厚が1,000m以上と考えられていて、下位から（堆積年代の古い順）日間賀層、豊浜層、山海層、内海層に区分されています。この師崎層群を不整合に覆っている地層は、中新世末期（約650万年～700万年前）にできた東海湖堆積盆地に堆積した東海層群豊丘累層と呼ばれる湖成層で、本町域北東部の知多湾側に分布しています。この層は、当地域から知多半島北方へ連続して堆積し知多半島の大部分を形成しているもので、下位は砂礫が優勢で、上位は半固結の粘土、シルト、砂の互層からなっています。段丘堆積層は、三河湾側の丘陵頂付近に分布する高位段丘堆積層と知多湾岸沿いに段丘をつくる中位段丘堆積層がみられ、沖積層は低地の谷底平野・沖積地を形成し、未固結の砂、シルト、礫で構成されています。

（4）集落の立地

本町における各地区の集落の立地はいくつかの形に分けられます。

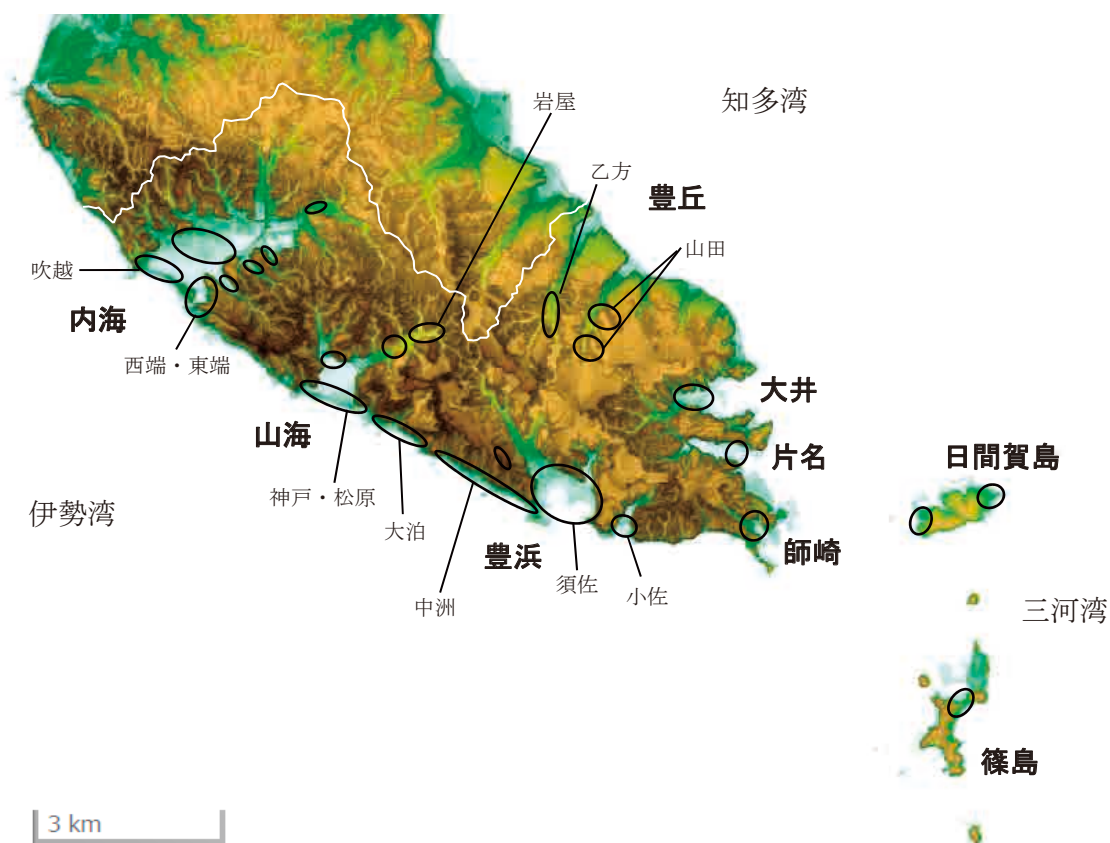
まず、伊勢湾の海食崖の裾に帯状に細長く形成され、背後に耕地をもたないもので、山海の大泊と豊浜の中洲の集落があてはまります。

次に、浸食谷の小河川河口に当たる湾入地形の砂堆平地上に形成されたもので、豊浜の須佐や小佐・大井・片名・師崎の集落が当てはまります、このうち師崎を除いては、集落の背後に耕地があります。

3つ目は丘陵から開けた平地に立地するもので、集落の前には砂浜があります。内海や山海の神戸、松原の集落が当てはまります。内海のうち、丘陵の裾部から海岸まで4列の砂堆があって、この砂堆の上に集落が形成されています。このうち西端・東端・吹越の集落は最も海岸寄りの砂堆上にあつて、西端・東端の集落は内海川河口を挟んで形成されています。なお、砂堆の間の低地は水田として利用されていましたが、現在は谷の北東部を除いて、砂堆の間の水田跡にも家並みが広がっています。

4つ目は島しょ部である篠島と日間賀島の集落です。いずれも平地に恵まれず、小規模な入り江を前に集落が立地しています。篠島は島の南西部にある標高40m前後の比較的急峻な丘陵地帯と、島の北東部にある東山と呼ばれる独立丘との間に砂が堆積して陸化した砂洲状の低地に古くからの集落が形成されています。また、日間賀島は、比較的なだらかな丘陵の東西の海辺にある低地を中心に集落が形成されています。

以上の形に当てはまらない集落のうち、山海の岩屋の集落は、谷間のわずかな平地を利用し、集落は岩屋寺の東に街村状に分布しています。また、豊丘の乙方と山田の集落は谷頭部に形成されています。



南知多町の集落の位置 (国土地理院ウェブサイト 地理院地図3Dを加工して作成)

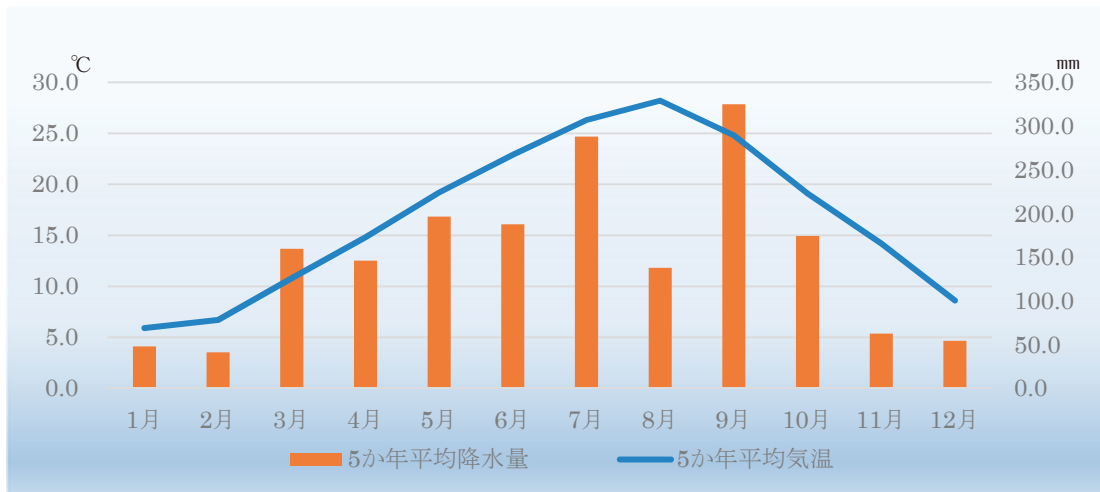
(5) 気 候

本町は、熊野灘・遠州灘を流れる黒潮の影響を受け、温暖で、農業や漁業などの産業や人々の暮らしに適した気候の土地だといえます。栽培されている農作物や捕獲される魚の種類、そして、住民の生活様式はこの穏やかな気候と深い関係を持っています。

本町の令和4年(2022)の年平均気温は16.7℃で、温暖で過ごしやすい気候といえます。冬季には鈴鹿山脈から伊勢湾を横断した北西寄りの風が吹きすさぶ日もあり、このような強風の日には寒く感じることもあります。一方、夏季の季節風は豊浜や師崎の海岸を中心に南東寄りの風が、内海の山間では南西寄りの風がよく吹きます。風速は年平均2.0m程度でありそれほど強い風は吹かないようです。

令和4年(2022)の年間降水量は1,678mmで、温暖多雨な東海式気候区に属する地域の中では比較的少ないほうです。これは丘陵性の地形に原因があるといわれ、過去に本町域で生活する人々が飲料水の確保に共同井戸を掘ったり、農業用水の確保にたくさんのため池を造ったのうなずけます。

また、湿度の年間平均は70%程度で、以上のような要素が本町の温かさに影響を及ぼしていると考えられています。



南知多町の5か年平均気温・降水量 (平成30年～令和4年 (2018～2022))
 (気象庁ホームページのデータを利用して作成)

(6) 生態系

①植物

本町域は気候の温暖な地域で、自然植生はシイ・カシ・タブノキ・ヤブツバキなどの常緑広葉樹林でおおわれるはずですが、内海から師崎にいたる西部海岸線や内陸の丘陵地は急傾斜をなし、土地的極相としてウバメガシがよく生育した林が続いています。特に、知多半島先頭の羽豆岬一帯はウバメガシを中心にイブキ・トベラなどが共生する暖地性常緑



南知多町の植生

(環境省生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS 植生調査第6-7回調査 植生図を加工して作成)

樹林帯が広がっていて、国指定天然記念物に指定されています。一方、豊丘・大井・片名など東部の緩やかな傾斜の台地や平野部においては、太古より人為的影響を受けたことから自然の植生は全く破壊され、アカマツ・コナラ・クロマツなどの二次林に置き換えられています。内陸の丘陵地の下方や谷間ではエノキ・ムクノキ・ケヤキ・ヤブニッケイ・シロダモ・カゴノキ・タブノキなどの広葉樹林やスギ林、竹林が広くみられます。そして、日吉神社・熊野神社（乙方）・初神神社・岩屋寺などの各地の社寺にはシイ・カシ・タブノキなどの林がみられ、これらの社寺林に自然植生の面影を残しています。海浜植物は、砂浜の発達が悪いため、それほど多くはありませんが、内海北部の海岸や豊丘・大井の海岸にはハマゴウ・ツルナ・ハマエンドウなどが群生しています。

②動物

自然が多く残される本町域においても開発による自然の減少は避けられず、鳥類を始め多くの生物に影響を及ぼしていることは否めません。

本町で確認できる鳥類は、平成2年度（1990）の調査では170種近くが確認されています。その後詳しい調査は行われていませんが、トビ・コサギ・カワウ・キジ・カモメ・ウミネコ・キジバト・ヒバリ・セキレイ・ヒヨドリ・スズメ・ムクドリ・カラスなどよく知られているもののほか、冬季になるとまれにコウノトリの姿も確認されています。

昭和時代にいたイノシシ・キツネ・タヌキなどの大形の獣類は、平成時代になると一時確認できなくなったものの近年再び確認されるようになりました。そのほかでは、ノウサギ・イタチ・ドブネズミ・ノネズミ・モグラ・コウモリが生息していますが、ハクビシンのような外来種も増えてきました。ヘビのなかまでは、シマヘビ・ヤマカガシ・アオダイショウ・マムシの四種が確認されています。トカゲのなかまでは、トカゲ・カナヘビが生息しています。

魚類では、本町には大きな河川や池がなく、淡水魚の相としては豊富ではありません。愛知用水の完成によって外から侵入してきた魚もいると思われ、知多半島でかつて多く生息していたヤリタナゴ・タモロコ・カワバタモロコ・ホトケドジョウ・スジシマドジョウ・カマツカなどは確認できなくなり、カダヤシ・オオクチバス（ブラックバス）・ブルーギルなどの外来種が多く確認されるようになりました。また、周辺を海で囲まれているため、ハゼ・ボラ・セイゴなどが川の中流の汽水域に生息しています。

昆虫では、知多半島に高い山がなく、丘陵性の台地がその大部分を占めていることから、県内の三河西部の山地帯と比較してみても昆虫相は極めて貧弱です。しかし、知多半島の中では本町は比較的自然的緑に恵まれ、100m前後の山がいくつかあり、温暖な気候と併せて昆虫相は豊かであり、山地性、南方系の種類も、ほかの市町より多くみられます。町内の主な生息地は、内海から師崎に至る丘陵地と、町内に散在する社寺林及びその周辺のため池付近です。高峰山を中心とした山地一帯、岩屋寺周辺の樹林地帯、豊丘地区の丘陵地、羽豆岬周辺、木島などは比較的豊かであるといえます。

(7) 景勝地

本町の景勝地としては、千鳥ヶ浜、つぶてヶ浦（以上内海）や須佐の入り江（豊浜）、羽豆岬（師崎）、松島、万葉歌碑公園（以上篠島）などがあります。千鳥ヶ浜は日本の渚100選に、松島は夕陽100選に選定されていて、海から昇る朝日、海に沈む夕陽、海岸線や砂浜の景色など、自然豊かで美しい景観は古くから人々の心を惹きつけ、須佐の入り江や篠島は、詠まれた和歌が『万葉集』に撰定されています。また、丘陵部には縞模様の師崎層群の地層が山肌に露出し独特な景観となっていて、小佐の砂岩脈や初神断層（以上豊浜）など、地殻変動により作りだされた景観もあります。そのほか、聖崎の上陸大師像（大井）や清正の枕石（篠島）など、伝説とのつながりが深い景観もあります。

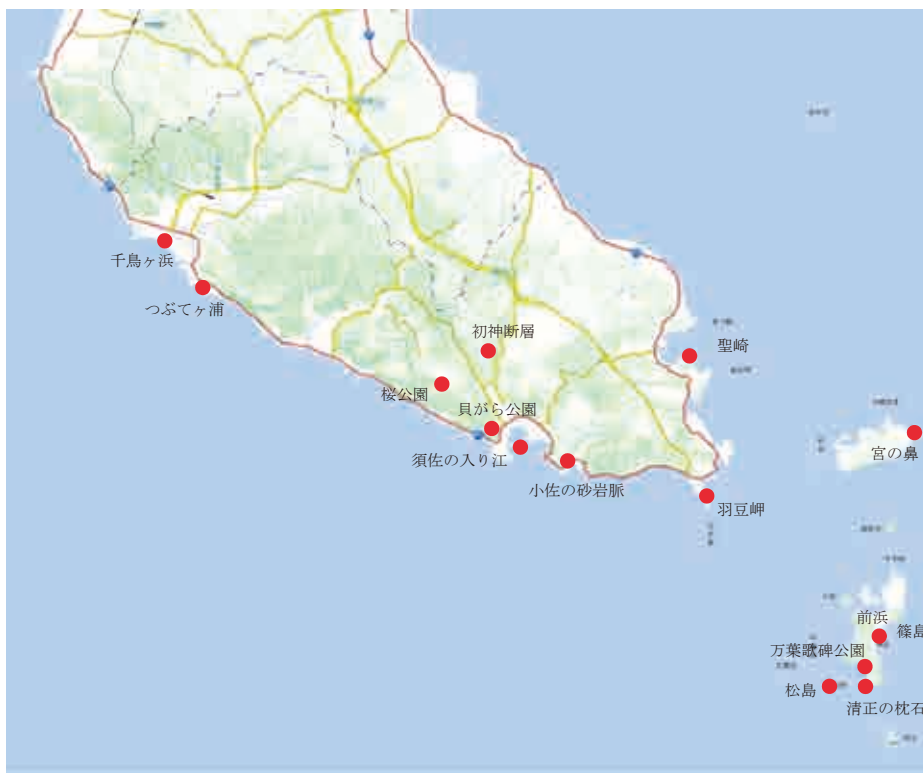
以上のように、自然豊かな本町には住民の心を惹きつける自然景観が至る所に残されています。



千鳥ヶ浜（内海）



松島と夕日（篠島）



南知多町の主な景勝地の位置

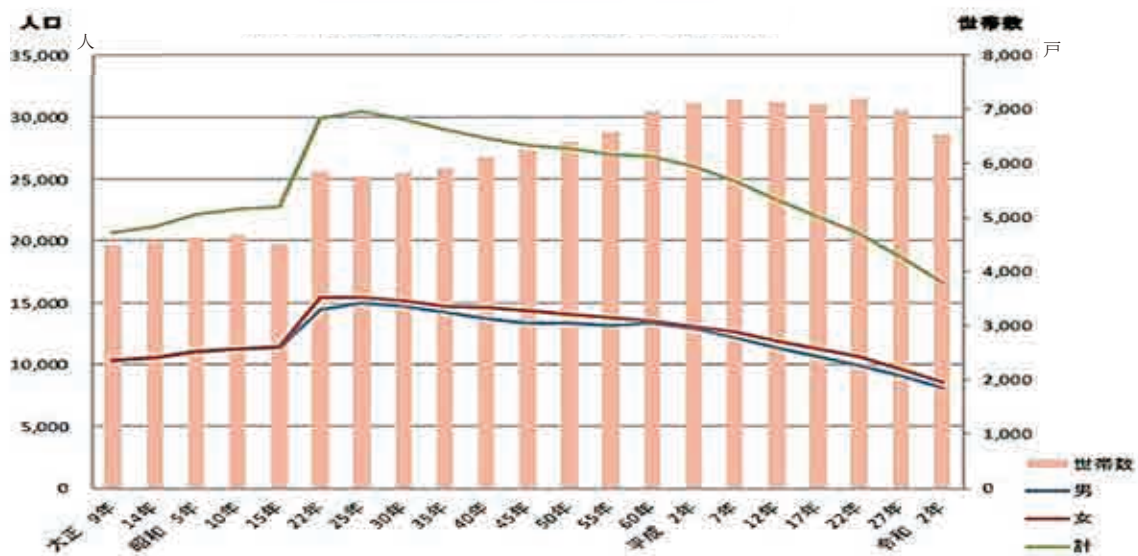
(国土地理院ウェブサイト 地理院地図 Vector を加工して作成)

2. 社会的状況

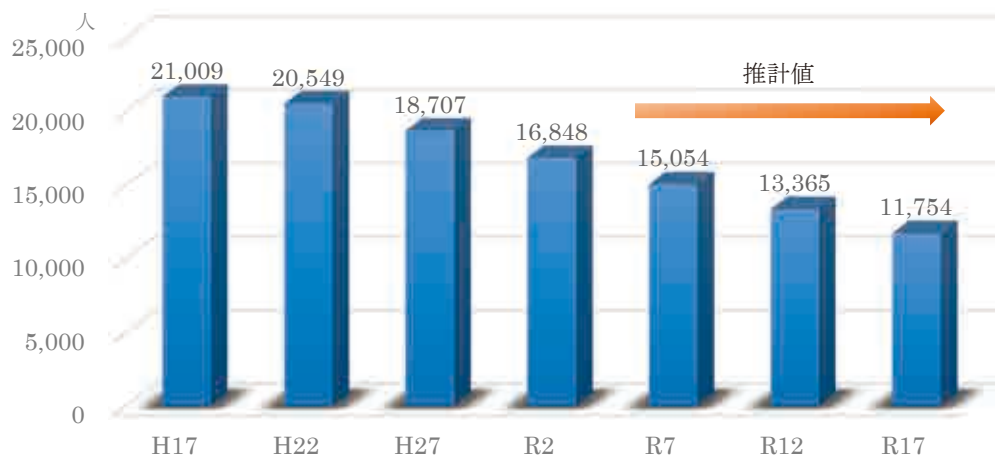
(1) 人口動態

令和5年(2023)8月1日現在、本町の人口は16,065人、世帯数は7,030世帯(以上住民基本台帳による)で、1世帯当たり2.3人です。本町の人口は合併時の昭和36年(1961)の29,654人を最大に、現在に至るまで減少しています。

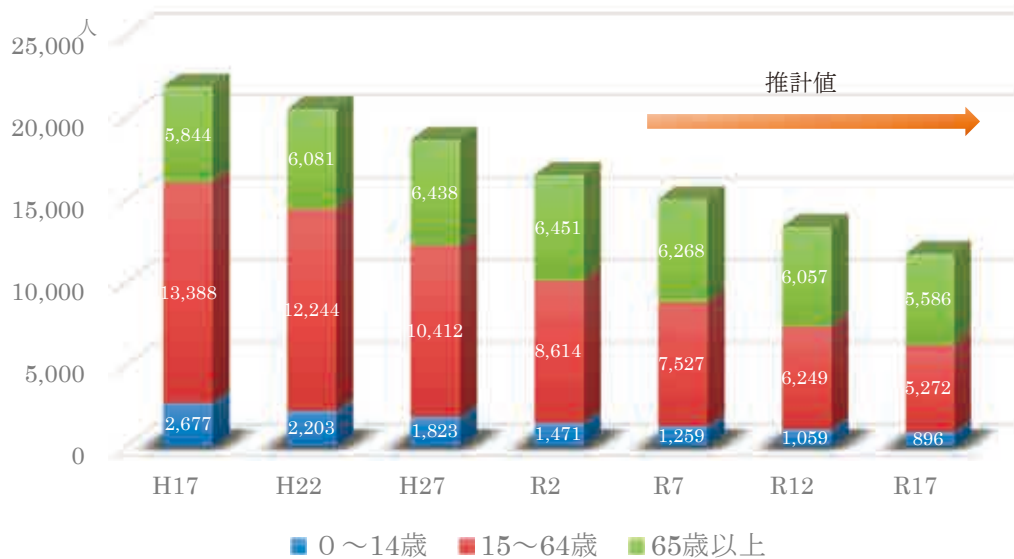
大正9年(1920)以降の本町の人口動向、及び令和17年(2035)までの将来人口、年齢構成別人口比率の推計は下図のとおりです。この推計によれば、令和17年(2035)の将来人口は11,754人で、平成17年(2005)の人口から30年間で約10,000人減少すると推計されています。減少すると推計されている10,000人の年齢構成は、14歳以下が約1,800人、15歳から64歳までが約8,000人で、人口減少の大部分は64歳以下で占められていて、少子・高齢化が顕著になり、高齢化率が約48%まで上昇すると推計されています。



人口・世帯数の推移 大正9年(1920)～令和2年(2020) (国勢調査)



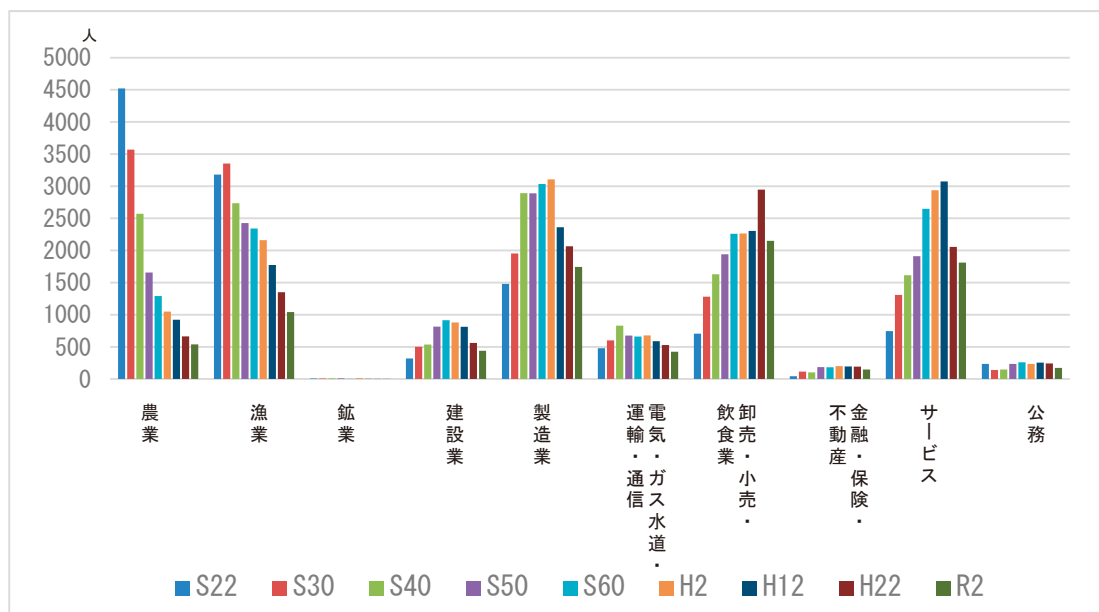
将来人口(国立社会保障・人口問題研究所推計結果に準拠して推計)



年齢構成別人口比率の推計（国立社会保障・人口問題研究所推計結果に準拠して推計）

（2）産業

国勢調査の結果による本町の産業別就業人口から、全人口に対する就業者の割合が昭和60年（1985）以降50%を超え、令和2年（2020）には53.31%になりました。産業別就業人口の推移をみると、かつて最も多かったのは第1次産業の就業者でしたが、昭和40年代以降に第3次産業の就業者の方が多くなったことがわかります。これは、農・漁業の分野における機械化が進んだことにより余剰労働力が生み出され、若年労働者の多くが都会に流出するとともに、その一部が第3次産業であるサービス業や卸売・小売業・飲食業



産業別人口の推移（国勢調査）

に流れていったことと理解されていて、全国的な傾向に本町の動向もあてはまります。また、第2次産業の就業者も増えています。これは、従来からある食料品工業に加えて、プラスチック工業団地ができたことによる製造業の就業者が増えたことも一つの原因と考えられています。

かつて本町の主産業だった農業、漁業と、戦後成長してきた観光業についての現在の状況は次のとおりです。

①農業

本町の恵まれた気象条件、自然条件を生かし、水稻作と温州みかんの栽培を主体とした農業が発展してきました。戦後は、農業発展の上で大きな障害であった水不足を解消するため、昭和36年(1961)10月に愛知用水が通水したことにより、本町の農業は飛躍的に進展しました。本町では昭和50年度(1975)以降、県営圃場整備や国営農地開発事業を通して農地拡大を進めてきましたが、令和2年(2020)には、販売農家数230戸、うち主業経営体数(※1)67経営体にまで減少しました。これは農業就業者の高齢化と農業所得の低迷から他産業への転職等と考えられています。

水稻は、昭和45年(1970)以降水田面積が減少しており、兼業・小規模の農家が多くなっています。また、温州みかんは昭和50年(1975)以降、全国的な生産過剰により廃園が進み、花き・花木への転換が進みました。

野菜類は、国営農地開発事業により造成した畑で、キャベツ・ふき・たまねぎ・レタス類・ブロッコリー・ばれいしょ・スイートコーン・びわなどが栽培されています。畜産では、令和2年(2020)2月1日現在、乳用牛の飼養経営体数3経営体、飼養頭数207頭、一経営体当たりの平均飼養頭数は69頭になっています。肉用牛は飼養経営体数5経営体、飼養頭数549頭、一経営体当たりの平均飼養頭数は109頭、養豚は、飼養経営体数6経営体、飼養頭数8,519頭です。

規模拡大を目指す農業者は、法人化や機械の導入により作業の効率化を図ったり、6次産業化に取り組むなど、収益性の向上に努めています。

※1 主業経営体とは、農業所得が主(世帯所得の50%以上)、年間60日以上従事の65歳未満の世帯員がいる農家のこと。

②漁業

漁場は、伊勢湾、三河湾、渥美外海などの沿岸付近で、多くの好漁場に恵まれ古くから漁業が行われてきました。本町の海面漁業は知事許可の小型底びき網漁業、船びき網漁業(イワシ船びき網(ぱっち網)、シラス・イカナゴ船びき網)、さし網漁業等があり、漁業権漁業として潜水器漁業・素もぐり漁業、自由漁業としては一本釣り、延縄漁業等さまざまな漁業が行われています。

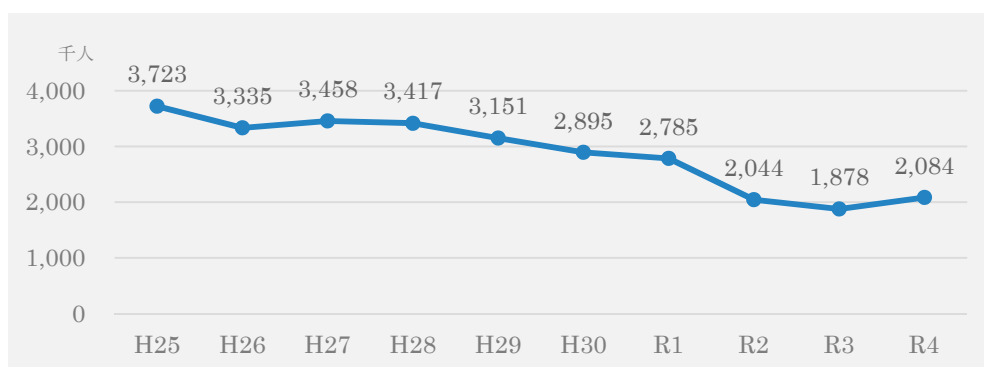
海面漁業の水揚げは、平成10年(1998)までは約20,000トン前後でしたが、平成11年(1999)にはカタクチイワシの豊漁から30,000トンを超えました。そして、平成12年(2000)には再び減少しましたが、平成13年(2001)以降は多少の増減はあるものの、

概ね年間 30,000 トン前後で推移しています。海面漁業の漁獲量は、多獲性魚であるマイワシ・カタクチイワシの資源動向に大きく左右され、平成 26 年（2014）・28 年（2016）はカタクチイワシ、29 年（2017）はマイワシが豊漁でありました。シラスについても資源動向の影響が大きく、概ね 5,000 トンの水揚げですが、令和元年（2019）は 8,000 トンを超え、令和 4 年（2022）は約 3,500 トンの水揚げとなっています。イカナゴについては資源（親魚）の減少により、平成 28 年（2016）漁期以降、禁漁措置がとられています。

本町で行われている主な海面養殖業はのり養殖です。平成 15 年（2003）までは概ね 6,000 ～8,000 トンで推移していましたが、平成 16 年（2004）以降は、経営体数の減少や海況の変化などにより 5,000 トン前後に減少し、さらに令和元年（2019）以降は約 3,000 トンに減少しています。これは温暖化による海水温の上昇や、栄養塩不足による海の状況変化でのりの成長や品質に不良が生じており、漁期の短縮を余儀なくされている影響です。

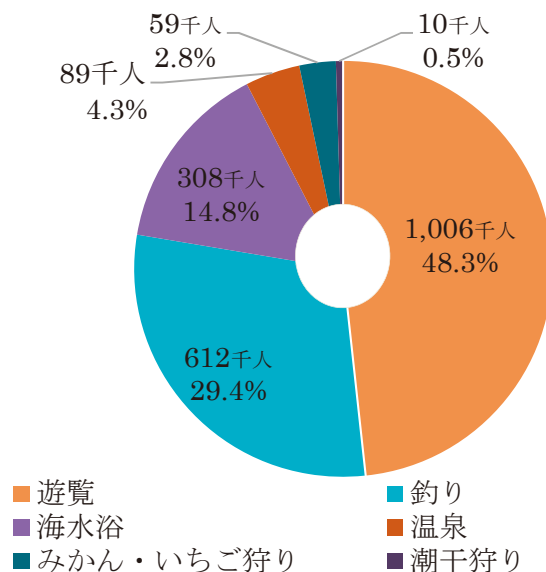
③観光

本町は、知多半島の南部に位置する半島部と篠島と日間賀島という 2 つの有人離島を有する歴史・文化・自然が豊かなまちで、自然を利用したレクリエーションが楽しめる四季型の観光地として、名古屋市から比較的近い位置にあることから古くから多くの観光客に親しまれています。伊勢湾と三河湾に抱かれた本町は風光明媚な自然環境に恵まれており、雨期以外は晴天の日が多く、冬季の積雪はほとんどありません。昭和 26 年（2014）に南知多県立公園（昭和 43 年（1968）には県立自然公園に名称変更）に、昭和 33 年（1958）には三河湾国定公園にそれぞれ指定され、観光地として大きな地位を占めるようになりました。明治時代の潮湯治に始まった内海・師崎・篠島の海水浴、戦後始められた内海のみかん狩り、近年盛んになってきた魚釣り・潮干狩り・いちご狩り・活魚料理・温泉、年中行事が観光と結びついた豊浜の鯛まつり・師崎の左義長などの観光資源は多種多様で、毎年多くの観光客を集めています。さらにより多くの観光客を誘致するために、観光施設の活用や農水産物等を活かした特産品の開発などによる観光資源の整備とともに、地域ぐるみのおもてなし強化や観光 PR の充実などによる受け入れ体制の強化を図っています。最近では、春は潮干狩り、夏は海水浴、秋はみかん狩り、冬はいちご狩り、10 月から 3 月までのふぐ料理といった四季折々の魅力と、平成 29 年（2017）7 月に国の重要文化財に指定された旧内田家住宅など歴史ある地域として観光まちづくりを図るとともに、近隣市町と連携した広域観光ルートの確立を目指しています。



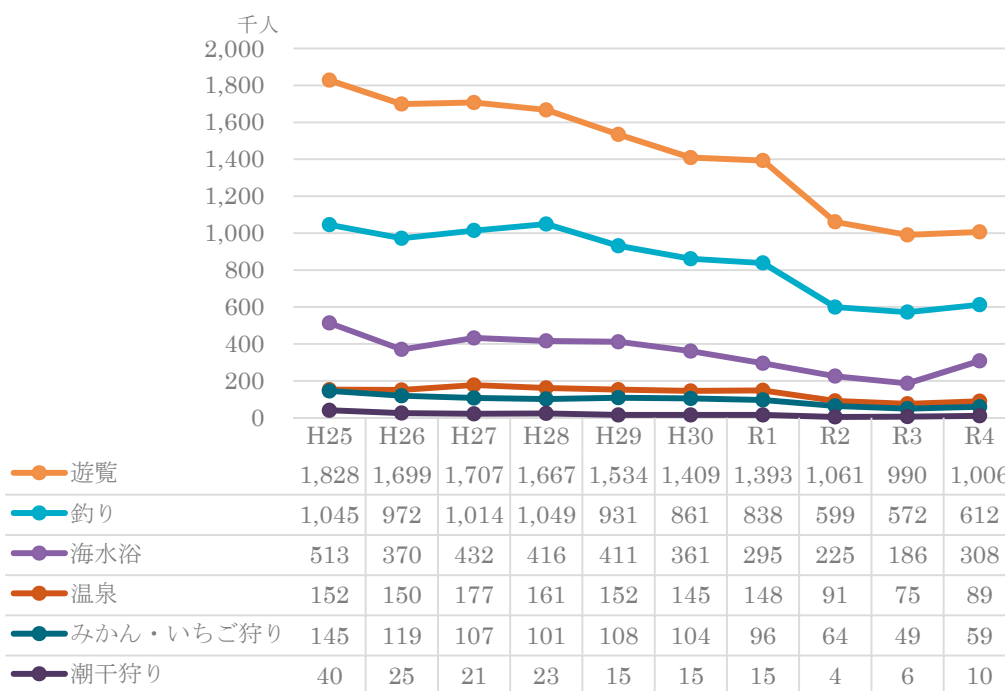
町全体の観光客の推移（『令和 5 年度（2023）版 南知多の観光』のデータを利用して作成）

また、日本への外国人観光客の増加に伴い、海外への誘客活動のほか受け入れの整備を進めるなど、中部国際空港からの立地を活かしたインバウンド事業を進めておりますが、観光客のニーズの変化や多様化が顕著にみられることから、農業・漁業との連携強化による体験型観光の確立を進めており、関係人口の拡大・創出にも取り組んでいます。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、外国人観光客を始め、国内の釣り客・遊覧客・温泉客・みかん狩り客・いちご狩り客等は著しく減少し、令和3年度（2021）には1,878千人まで落ち込んだものの、令和4年度（2022）には2,084千人まで回復しました。令和4年度（2022）における観光客の主な観光地での行動をみると、遊覧客が約1,006千人と最も多くなっています。



目的別観光客の割合（令和4年度（2022））
（『令和5年度（2023）版 南知多の観光』のデータを利用して作成）

令和3年度（2021）には1,878千人まで落ち込んだものの、令和4年度（2022）には2,084千人まで回復しました。令和4年度（2022）における観光客の主な観光地での行動をみると、遊覧客が約1,006千人と最も多くなっています。



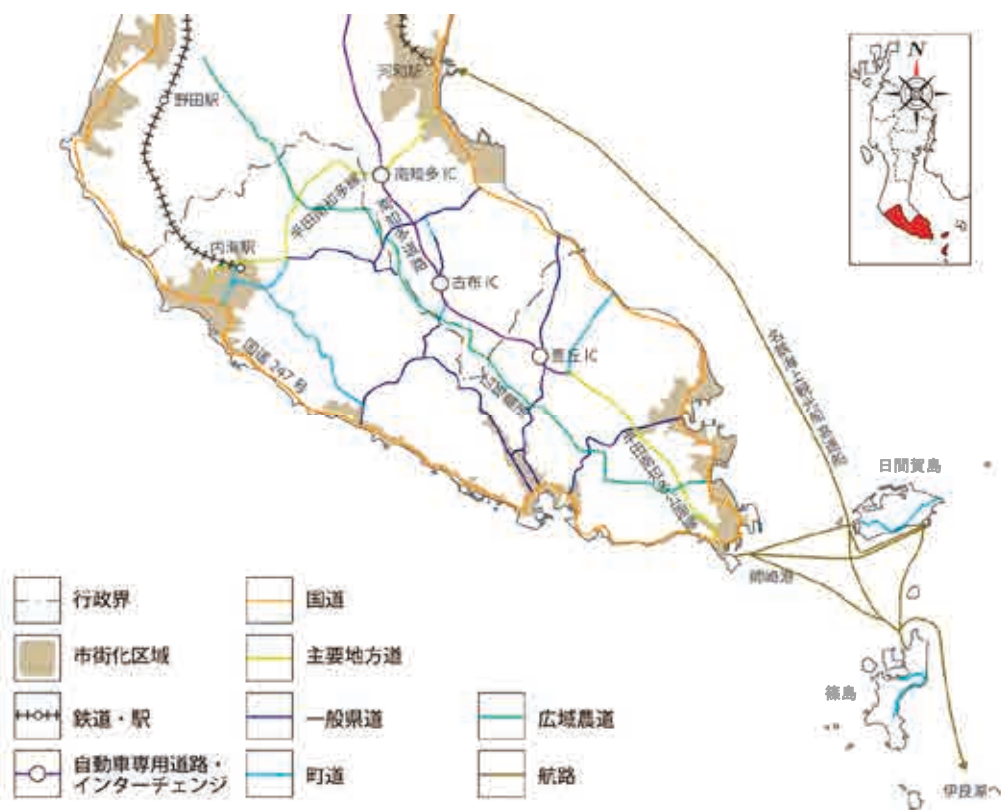
目的別観光客の推移（『令和5年度（2023）版 南知多の観光』のデータを利用して作成）

(4) 交通網

本町における交通網には、町内外を結ぶ広域的ネットワークを形成する道路、町内の各地域を結ぶ地域間ネットワークを形成する道路、町唯一の鉄道駅をもつ名鉄知多新線、島しょ部を結ぶ海上交通があります。

①主要道路網

本町の主要道路は、図に示すとおりです。半島外周には、国道 247 号があり、主要地方道および県道とのネットワークが形成されています。また、南知多道路と県道半田南知多公園線が師崎まで延伸されており、それと並行する広域農道により広域交通の利便性は向上しています。



南知多町の交通体系図

②陸上・海上交通機関

鉄道については、町の北西部に名鉄知多新線の内海駅が設置され、住民の通勤・通学や観光レジャー客に利用され、主要な公共交通としての役割を担っています。主なバス路線は、地方公共バスである「海っ子バス」の南知多・美浜環状線（右回り、左回り）と知多バスの師崎線の3路線があります。運行便数は、南知多・美浜環状線（右回り、左回り）が各 32 便/日、師崎線が 17～27 便/日となっています。海上交通機関は、師崎港と篠島・日間賀島を結ぶ定期便として高速船が 33～34 便/日、フェリーが篠島へ 6 便/日、日間賀島

へ5便/日、河和港から高速船が10便/日運行されています。また、不定期便として海上タクシーがあります。

主要道路について、バイパス等の未整備区間の整備促進や、歩道・路肩拡幅等の整備によるネットワークの強化が課題です。内海駅・師崎港・河和駅を結ぶバス路線や、篠島・日間賀島の生活を守る海上交通は非常に重要な交通機関です。地域の活力向上、持続可能なまちづくりのためにも公共交通の維持・継続が課題です。

3. 歴史の変遷

(1) 先史

【縄文時代～古墳時代の遺跡】

本町域においては、今から約 8,400 年前の縄文時代早期中頃には人が住んでいたことがわかっています。これは、名鉄知多新線の内海駅高架下にある先苺貝塚から、現地表面下約 15m の地点で、押型文土器を始め、獣魚骨、貝がらなどが出土したことからわかりました。この遺跡は、その当時世界的規模で進んでいた縄文海進を証明する遺跡としても注目されています。



先苺貝塚出土器（内海）

縄文時代早期末の遺跡は、知多半島先端部に近い片名地区の集落がある谷やその北の大井地区の丘陵地で確認されており、縄文時代早期中頃以降海進が著しい速さで進んだものと考えられています。

内海地区の利屋谷にある清水ノ上貝塚は、縄文時代早期後半頃から前期、中期、後期の縄文式土器のほか弥生式土器が出土していて、長期間にわたり人が住んでいた場所でした。清水ノ上貝塚で注目したいのは、縄文時代前期の遺物包含層と縄文時代早期の遺物包含層との間にアカホヤ火山灰層が堆積していることです。この火山灰は、今から約 6,300 年前に九州南部の鬼界カルデラから噴出した大量の火山灰で、当時の自然環境及び人々の生活に大きな影響を与えました。清水ノ上貝塚の地層の堆積状況からも火山灰の降下の影響によって人々が住めない期間があったことがわかります。このような自然環境の影響を受けながらも本町域には人が住み続け、多くの縄文遺跡を残しています。片名の咲畑貝塚からは縄文時代中期の土器とともに獣骨や魚骨、貝類が出土しています。魚骨は、マダイ・スズキ・マグロ・サメなどがあり、特にマグロの脊椎骨は大きく、この当時に外洋性の大型魚を捕獲する技術を持っていたことがうかがえます。



清水ノ上貝塚のアカホヤ火山灰層（内海）

本町域における弥生時代前期の遺跡は、内海・大井・片名・師崎・篠島・日間賀島で確認されていて、多くは小さい谷の浜堤上にあり、後背湿地を水田として利用していたようです。また、離島の遺跡には水田の痕跡は見られないものの、縄文時代から長期間にわたって営まれてきた漁労生活のなかに弥生文化が伝播した姿を見ることができます。また、篠島の神明社貝塚は縄文時代から近世にかけての厚い遺物包含層が確認されてい

る遺跡ですが、多数の土器のほかに、イノシシ・シカ・イルカ・サル・ウシなどの獣骨やマダイ・クロダイ・ハタ・サメ・マグロなどの魚骨、貝類などが豊富に出土しました。そのほか、ヤス・釣針・アワビおこし・斧・鋸などの骨角製の漁具や、獣骨・貝がらなどで作った装身具なども認められます。釣針や回転式離頭鋸頭等の鋸、外洋性の魚骨が豊富に認められたことは、当時の篠島に外洋性の漁業形態が確立していたことを物語っています。外洋性の漁業形態の技術は、おそらく東北地方の沿岸地域からの影響のもとに海上ルートを経てもたらされ、好適な水域を有するこの地に定着したものといわれています。



神明社貝塚出土の骨角器（篠島）

知多半島においては古墳時代前期・中期の古墳の数は少ないのですが、後期に入ると飛躍的に増え、70 数基を数えます。その約 70%にあたる 50 基が本町域に分布し、そのうちの 35 基が日間賀島に分布しています。なかでも日間賀神社境内地の 5,000 m²ほどの範囲に 14 基に及ぶ古墳が密集し「北地古墳群」と呼ばれています。副葬品として豊富な須恵器のほか、鉄製品・玉類なども出土し、被葬者として古代海部集団が想定されています。この中で注目されるのが、北地 4 号墳・5 号墳・6 号墳・9 号墳から出土した鉄製釣針とだるま形の石錘です。



北地 1 号墳の墳丘（日間賀島）

日間賀島では、イイダコを餌にして同様の道具を使うサメ延縄漁が昭和 30 年代頃まで行われていたことが知られています。古代において篠島、日間賀島など三河湾の 3 つの島からサメなどの海産物を平城宮に貢納していたことと合わせ、現代まで続く漁法が古墳時代に確立されていたことが推定されています。また、半島沿岸部や篠島、日間賀島ではたくさんの製塩土器が確認されています。人々の生活にとって塩は欠かせないものであり、また食物を保存するためにも使われていました。この生産址は、5 世紀末から 11 世紀初めまでの幅があり、土器製塩はおよそ 500 年という長い期間続いたものと考えられています。



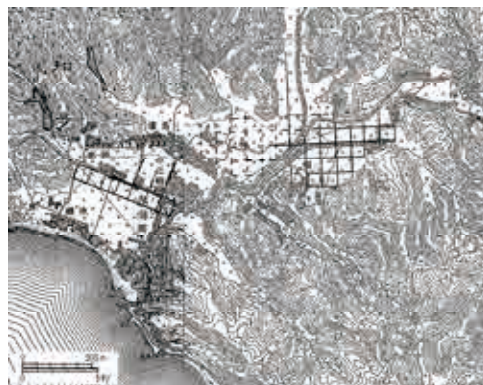
北地古墳群出土の漁具（日間賀島）

(2) 古代（奈良、平安時代）

【律令制下の南知多】

本町のうち、知多半島部は知多郡に属していたと推定され、平安時代初めに成立した『和名類聚抄』に見える富具郷・但馬郷が当町域に比定されています。富具郷は、知多半島西海岸の美浜町野間を中心に本町の内海までが含まれていて、また、但馬郷は知多半島東海岸の美浜町古布から矢梨・乙方・山田・大井・片名・師崎までが当てはまると推定されています。

このうち、内海には奈良時代の条里制遺構と推定される区域があります。内海の谷の北東部の水田や、岡部・中之郷の集落がある砂堆の南側に接する水田に方一町の方格式地割を認めることができます。



内海谷の条里復元図（作図：水野時二）

【尾張氏の支配】

本町域のみならず知多半島全域は、古代において年魚市潟を本拠とする尾張氏が国造として治めていたと伝えられています。尾張氏は、本地域への仏教流入以前において宗教勢力の中核をなしていた熱田社の大宮司職を勤め、本町師崎には白鳳年中(672～685)に、熱田社の祭神の一柱である建稲種命を祀る羽豆神社が創建されました。海部族に関係があると伝えられる尾張氏は、熱田社の南にある氷上姉子神社（現名古屋市緑区）付近を勢力下に置いていました。そして、氷上姉子神社付近を根拠地にして知多半島東岸部と西三河西岸部に挟まれた知多湾の北部を経て、本町の師崎など三河湾沿岸各地に進出し、三河湾で活動していた海人に受け入れられたと考えられています。羽豆神社と同じ建稲種命を祀る神社は西尾市にもあり（幡豆神社）、ともに岬の上にあつて海との強いつながりを暗示しています。師崎など知多半島の南端部は、西尾市沿岸部（旧幡豆郡）や三河湾の3島とともに「ハヅ」といわれ、尾張氏とのつながりが強い地域でした。



羽豆神社本殿（師崎）

【平城京、平安京への海産物貢納】

奈良時代には、篠島と日間賀島は、佐久島（現西尾市）とともに三河国幡豆郡に属していました。藤原宮跡出土木簡には「三川国波豆評篠嶋里」、平城宮跡出土木簡には「参

河国播豆郡篠嶋海部」あるいは「参河国芳岡郡比莫嶋海部」と見えます。篠島や日間賀島、佐久島では海部が漁労活動に従事し、海産物を贄として貢納していました。また、「『延喜式』主計上」には調として三河国から、「雑魚楚割（＝魚肉を割いて干したもの）」2,551斤（1斤＝約3.6kg）・「鯛楚割」90斤・「鯛脯（＝乾肉）」100斤を納めることが記述されており、両島の海部が三河国の調の一部を担っていました。



平城宮跡出土の篠島・日間賀島関係木簡
（複製、原資料：奈良文化財研究所蔵）

【古代に創建された寺社】

内海の入見神社は、旧名を八王子社といい、船の守護神であったと伝えられています。元は内海を見渡す井際山（「祭八山」とも呼ばれる）にあったのを、何度かの遷座を経て鎌倉時代ごろに現在地へ遷したといわれています。羽豆神社とともに『延喜式』神名帳に記録された式内社です。



神明神社（篠島）

篠島の神明神社は、宝亀2年（771）伊勢神宮より土宮を篠島に勧請したもので、以前は「伊勢土宮」と尊称されました。伊勢神宮の遷宮の際には同様に建替えが行われていたといいますが、次第に伊勢神宮遷宮の翌年、東方殿あるいは西方殿の古材を下賜され、地元で造営遷宮する慣わしとなりました。伊勢神宮遷宮の翌年に、古材で本殿を建替える伝統は現在まで受け継がれています。

古代に創建されたと伝わる寺院は、岩屋寺（山海）と医王寺（大井）があります。岩屋寺は、霊亀元年（715）に創建され、元は天台宗の寺院です。『岩屋寺略縁起』には元正天皇の命により行基が岩屋に7堂12坊の大伽藍を造り、ここに仏像を安置したということが記されています。また、医王寺は、真言宗の寺院で、神亀2年（725）、行基が現在地の西方にある仏山に薬師如来を安置したことが始まりで、かつては12坊あったと伝えられています。平安時代には、いずれの寺院にも弘法大師が来訪し修行をしたという話が伝えられています。



岩屋寺（山海）

(3) 中世（鎌倉、室町時代）

【荘園と知多古窯】

中世における本町域には野間内海荘・但馬保^{たじまのほ}などの荘園や公領が成立し、篠島は志摩国答志郡に属し伊勢神宮領でした。

保延^{ほうえん}3年（1137）鳥羽上皇は藤原家成に命じて京都の鳥羽離宮内に持仏堂として安楽寿院を建立しました。そして、保延6年（1140）に野間内海荘が立券（荘園に不輸租の特権を与える手続き）されたことが安楽寿院文書の『庄々所濟日記』^{しょうじょうしよせいにつき}に見られます。この頃の荘官は伊勢平氏の流れをくむ長田^{おさだ}氏で、長田忠致^{ただむね}が、平治の乱に敗れ東国へ落ち延びる途中の源義朝を野間（現美浜町）の屋敷において暗殺したことはよく知られています。建久2年（1191）に野間内海荘は天皇領である長講堂^{ちようこうどうりょう}領となっており、鎌倉時代初期には梶原景高^{かじわらかげたか}の妻が地頭に任じられていました。



義朝の大岩（内海）
※野間に逃げる途中に義朝が休憩したと伝えられている。

この人は源頼朝の信任が厚かった尾張守護小野成綱^{おののなりつな}の娘で、正治2年（1200）に夫景高が父の景時とともに失脚し討ち取られた後も、野間内海荘を始めとする諸荘園の地頭を安堵されました。この後、野間内海荘は労役、年貢の取得が衰えがちになり、野間荘と内海荘に分割され、応永20年（1413）には天皇領としての実を失い武士の知行下におかれました。なお、15世紀中頃には内海荘は相国寺塔頭^{たつちゆう}（本寺の境内にある末寺院）の大智院領となっています。

但馬保は古代の但馬郷を継ぐものと考えられています。但馬保が文献にはじめて現れるのは、建久3年（1192）の『伊勢神宮神領注文写』です。文治元年（1185）、勅願によって伊勢神宮に寄進されたようですが、詳しいことはわからず、建武3年（1336）、但馬保内五郷のうち「阿和（河和か）」、「大井」両郷の地頭識は九条道^{くじょうみちのり}教家領になっていました。道教は摂政九条師教^{もろのり}の子で、建武4年（1337）に右大臣にあった人です。そして、南北朝期以降には尾張国衙領となり、保の中に「大井郷」、「山田郷」、「須佐郷」、「方名郷」、「諸崎郷」などの名が知られていました。応永14年（1407）に一色満範の被官の二人が但馬保五郷の代官識を年50貫文で請け負うことについて尾張国主醍醐寺三宝院と契約した記録があり、満範も仲介と保証する書状を遺しています。なお、但馬保は、天正13年（1585）の『九条家当知行^{ならびに}并 不知行所々指出目録案』に不知行分として記され、この文書を最後に但馬保に関わる史料は見いだされていません。

このような状況の下、12世紀後半以降、内海と大井には古窯が築かれ、生産された山茶碗・山皿・甕・鉢などの製品は船などにより他地域に運ばれていました。知多半島では、天皇領、社寺領、国衙領として領主の支配下で陶器生産が盛んに行われていました。

が、荘園制が解体されていくに伴い古窯生産も衰退していき、14世紀末頃にはほとんど行われなくなりました。この理由をはっきりとはわかっていませんが、窯を造るために地形が変えられたり、焼成するために多量の薪が必要となることから、過剰な開発が問題になったことが理由の一つとして考えられています。



鈴ヶ谷第1号窯（内海）

【伊勢神宮と篠島】

当時伊勢神宮領であった篠島から伊勢神宮に御贄干鯛（「御幣鯛」）を奉納する行事は、建久年間（1190～1199）に編纂された『皇太神宮年中行事』に記されていて、中世初めには行われていたことがわかります。この行事は、延徳年中（1489～1491）に一時中断しましたが、内容を変えながらも古例に従って今日まで受け継がれ、現在では伊勢神宮の三節祭のため、6月、10月、12月の3回に分けて合計508尾の干鯛を伊勢神宮に奉納しています。そして篠島では、伊勢神宮との関わりのなかで、正応元年（1288）に伊勢国度合郡箕曲大社より神宮を勧請し八王子社とし、翌正応2年（1289）に伊勢神宮内御塩殿を移して塩味神社を汐味しあびに造りました。塩味神社は現存しませんが、その名を残す汐味の浜は、伊勢湾を隔てて伊勢神宮を望見する美しい景観を持つ浜です。島民から「オジンジキサマ」と崇め奉られている八王子社の獅子頭が神明神社に渡御する正月の祭礼は、いつから始められたかは定かではありませんが、これも伊勢地域との関係が深いものです。



御幣鯛 伊勢へ向かう奉納船

【海上交通の要衝、羽豆岬をめぐる戦い】

11世紀末に熱田大宮司尾張員職かづもとは、自分の娘と尾張国目代であった藤原季兼との間に生まれた季範すえのりに大宮司職を譲り、それ以後、季範の子孫である藤原氏が大宮司職を継承するようになりました。熱田大宮司家は、季範が鳥羽上皇に接近し在京貴族に転身する一方で、季範の娘が源義朝に嫁ぎ頼朝を生んだことから、鎌倉幕府成立後は幕府とのつながりも強くなり、次第に武士化していきました。『太平記』によれば、南北朝動乱期に、季範の子孫である南朝寄りの熱田大宮司千秋昌能せんしゅうまさよしは、師崎の羽豆岬に幡豆崎城を設けました。羽豆岬は、伊勢、



幡豆崎城跡の石碑（師崎）

吉野方面と東国方面との南朝方の連絡上重要な位置にあり、足利尊氏の勢力によって交通の要所を押さえられた南朝方にとって海上交通路の重要な中継点でありました。『太平記』には、暦応3年（1340）に土岐頼遠よりとおと頼康よりやすによって攻め落とされた美濃国根尾城から幡豆崎城に落ち延びてきた脇屋義助わきやぎすけが一時滞留し、集まってきた敗軍の兵とともに伊勢、伊賀を経て吉野に向かったことが記されています。こうしたことから、羽豆岬一帯は南朝方と幕府方が衝突する舞台の一つとなり、興国7年（1346）幕府方が幡豆崎城を制圧したものの、その後南朝方に奪い返されました。このように長年続いた交戦も、観応3年（1352）に発布された半済令により昌能が幕府方に屈服したことをきっかけに終結に向かいました。『太平記』には延文5年（1360）に尾張守護土岐頼康の弟直氏ななおじが、敵対した者たちのうち土岐の一族を幡豆崎城に護送したことが記されています。そして、頼康が幡豆崎城を押さえ、頼康に服属した土岐一族の蜂屋貞経はちやさだつねの息子光経みつねが幡頭崎城主になりました。

【守護、国人たちによる支配】

足利尊氏あきのりの一族である一色詮範は、明德2年（1391）知多郡守護職を得、次第に知多半島西海岸、羽豆岬を含め但馬保や内海荘を掌握することにより、伊勢湾の海運支配を進めていきました。海上交通が盛んで多くの人や物資が移動していたこの地を押さえることにより、海上、船舶に関わる様々な利益を狙ったものと考えられています。そして、詮範の後を継いだ満範みつなりは、応永14年（1407）に被官の二人が但馬保五郷の代官職を請け負うことについて尾張国主醍醐寺三宝院と契約し、翌年の応永15年（1408）には羽豆神社に武運長久、子孫繁昌を願って紺紙金字妙法蓮華経8巻及び心阿弥陀経1巻（愛知県指定文化財）を奉納しました。国衙領を請け負ったり、人々の精神的なよりどころであり海の世界と深いかわりを持っていた神社との関係を強固にしたりすることなどにより、地域における権威創出を行っていったものと考えられています。本町域における一色氏の資料は断片的ですが、本町内海の東端地区には「一色」の地名と一色城跡と伝えられる場所が残っています。また、長祿4年（1460）、知多郡守護一色義遠よしとおの被官が、相国寺大智院領内海荘の伊勢湾における海



紺紙金字妙法蓮華経（師崎 羽豆神社）



大蔵経（山海 岩屋寺）

上交通税を押妨した記録も残されていて、この頃の様子がうかがえます。

知多郡における一色氏の支配が衰え始めた15世紀後半以降、一色氏の家臣であった佐治氏は大野谷を本拠に知多半島西海岸沿いに勢力を拡大し伊勢との海上交通路を押さえました。佐治氏は代々岩屋寺を祈願所とし、大野城主佐治右衛門尉盛光は宝徳3年(1451)に大蔵経(重要文化財)を岩屋寺に寄進しました。寺院の持つ力が武士勢力にとって魅力があったものと考えられています。佐治氏には「内海佐治」といわれる系統もありました。内海の佐治氏は岡部城を築き、師崎まで勢力下に治めました。佐治氏から派遣されたのが師崎の千賀氏で、陣代であった千賀氏を幡豆崎城主にし、知多半島南部の西海岸を佐治氏が、東海岸を戸田氏が二分して治め、「幡豆崎両陣」と言われました。文明8年(1476)、羽豆岬で差し押さえられた神船の荷物返還を求める書状が、伊勢内宮から「幡頭崎両陣城主」宛てに出されています。また、天文3年(1534)の『経講現在張并古記之写』に「幡豆崎惣陣佐治八郎殿 同貳之段塔田孫十郎殿」と記されていて、羽豆岬に佐治氏が、その北の天神山に戸田氏が拠点を設けていたことがわかります。さらに、羽豆神社の棟札には天文8年(1539)の修造に際し、佐治為安と戸田為光が連名で行ったことが記されています。

佐治氏・戸田氏・千賀氏はいずれも水軍を重視し、内海・須佐・師崎・篠島などがその拠点となっていたことと思われます。佐治氏・戸田氏による幡豆崎両陣は長い期間機能していたようですが、天文12年(1543)以降、織田信秀と手を結んだ水野氏が知多半島南部に勢力を拡大しはじめ、佐治氏・戸田氏ともに水野氏の勢力に押され、勢力を減じていったといわれています。千賀氏は、佐治氏衰退後徳川家康に仕え、天正18年(1590)には家康の関東移封に付き従って関東に移りましたが、慶長5年(1600)関ヶ原の役に知多半島西岸に来襲した西軍の九鬼嘉隆・毛利水軍に対し千賀重親は奇策を用いて撃退したことを機に師崎に戻ってきました。



羽豆神社神輿(師崎)

※文亀年中(1501~1504)に幡豆崎両陣の佐治氏と戸田氏から寄進されたと伝えられる。現在の神輿は享保16年(1731)に造り替えたもの。

【海で活動する人々】

神明社貝塚や正法禅寺境内、前浜海岸から発見された大量の渡来銭などと合わせて、篠島の人たちが商人として活動していたことが推定されています。当時知多半島の湊と伊勢諸国の湊の間で渡船が航行していて、旅行者を始め広く利用されていました。また、尾張・三河・伊勢・志摩各国の湊の船が大湊に参集し、集積された商品が商船や兵糧輸送船などによって関東へ運ばれていき、伊勢湾は大湊を核とした交易機能を有していま

した。天文21年(1552)、織田信秀の死後、織田家の家督をついだ織田信長は篠島の商人に守山(現名古屋市守山区)への通行権を認めました。これは、今川氏に敵対する信長にとって熱田から知多半島への海上交通路を確保する目的があったと考えられていて、当時、篠島の商人が伊勢湾を通過して頻繁に守山との間を行き来していたことがわかります。また、永禄8年(1565)11月から約1か月間の伊勢・大湊への入船を記録した『船々聚銭帳』^{ふねぶねしゅう}に記された尾張の船の中には内海・師崎、篠島の船があり、3人乗りほどの櫓走を主とする小型船を駆使して海上活動を展開していたことが知られていて、本町域における海運活動のようすがうかがえます。篠島の前浜や正法禅寺境内地で中世の古銭が大量に出土したと合わせ、篠島は伊勢湾・三河湾における海運業の拠点として栄え、島民の大きな経済力が存在していたことが想像されます。

(4) 近世(江戸時代)

【尾張藩の支配】

近世になると、徳川家康が知多半島各地を直轄地とし、尾張藩領になってからも藩の直轄地である蔵入地の割合が他地域と比べて高かったことが知られています。尾張藩が編さんした『張州府志』には、知多郡のことが、孤絶の一島に似ていると記されていて、藩主による知多巡見や藩士、藩医らによる知多来訪時は移動の一部に船が使われていました。

近世の本町域は尾張藩領に属し、吹越村・岡部村・中之郷村・馬場村・北脇村・内福寺村・楠村・名切村・利屋村・東端村・西端村・岩屋寺村・大泊村・久村・中須村・須佐村・乙方村・山田村・大井村・片名村・師崎村・篠島村・日間賀島村がありました。この中で篠島村は、島内の正法禅寺の梵鐘や雲版の銘によれば、近世前期に伊勢国に属していたこととなりますが、正保2年(1645)まで尾張藩船奉行千賀氏の給知であったり、また、尾張藩の流刑地になっていたことなどみても、慶長年間以降は尾張藩に属していたと思われます。



千賀屋敷跡の石碑(師崎)

尾張藩は、大高(名古屋市緑区)に初代藩主徳川義直の伯父にあたる志水忠宗を置いて知多郡の総取り締めとし、師崎に千賀氏、大井に高木氏、河和(美浜町)に水野氏を置き知多半島南部を固めました。千賀・高木両氏とも知行は1,500石で、千賀氏は代々尾張藩の船奉行を務め、藩船のほかに師崎に私船をもって水主の養成に当たりました。また、千賀氏は師崎に遠見番所を設け、尾張・三河・伊勢・志摩4国の通船の取締りや御肴御用なども務めたほか、当時篠島が尾張藩の政治犯等の流罪地になっていたこともあり、流人裁許も職務の一つでした。なお、江戸時代初期には須佐・乙方・片名・師崎・

篠島・日間賀島の6か村には千賀氏の給知、大井村には高木氏の給知、吹越村には尾張藩付家老成瀬氏の給知がありました。

【漁業と農業】

漁業と農業は本町域の産業の双壁でした。本町は海岸線が長く漁港に適した入江が多いのですが、一方、海岸沿いにできた平地は狭小で、人々が生活を漁業や海運業などに求めたのは当然のことといえます。漁業の歴史は古く、伊勢神宮へ献上する御幣鯛や、将軍と尾張藩主への御用鯛、幕府の要人や諸大名へ贈り物として珍重された海鼠腸、良好な漁場をもつ鰯網漁、特殊な漁業として注目された鯨漁と、南知多の漁業は他地域とは異なる形態をもっていました。これらの漁業はその重要さから、藩や千賀氏の手厚い保護や指導を受けており、千賀氏の家臣で漁業の指導管理の任に当たった川合家には、漁法・漁獲物や漁民への報酬・漁民からの願書などの文書が多数残されていて、近世漁業の実態を知ることのできる好史料となっています。本町域では揚繰網（あぐりあみ）や地引網も発展し、これら漁業の発展につれて、千賀氏により湊も整備されました。本町で獲れた魚介類は地元で消費されたほか、船で熱田や亀崎（現半田市）に送られたといえます。なお、近世において漁業を主な生業とした地域は、豊浜の中須・師崎・篠島・日間賀島の各村で、大井村は半農半漁でした。



海鼠腸（大井）

農業では、農民たちはわずかな耕地を谷間や山間に求めて新田開発にも取り組み、また、水田耕作の用水としてため池が多く築られました。本町の基盤をなす師崎層群



大岩ミカン園（内海 大正時代）

の岩盤は農業には適さず、山畑が多かったことなど苦勞の多かった本町の農業ではありましたが、土地に合った作物を育て食料とするばかりか、商品として他地域へ販売もしていました。そのような状況の中、幕末期に紀州での成功を手本に利屋村（内海）の庄屋大岩金十郎が苦心の末に温州ミカンの栽培に成功し、現在のミカン栽培の基礎が築られました。なお、近世において農業を主な生業としていたのは、東端と西端を除く内海、山海の久村・岩屋寺、豊浜の須佐、豊丘の乙方・山田、片名などの村でした。

【廻船業】

伊勢・三河両湾の中央に位置する当地には古くから船を用いた活動が発達していました。江戸時代になると世の中が安定し、商工業の発達などによって物資の流通が拡大したことから海上輸送機関の重要性がますます高まり、本地域を含めた知多地域の海運業が脚光を浴びることになりました。尾張藩では船奉行千賀氏の下に廻船総庄屋を置いて、藩内の運送船の世話方として特権を与えました。『寛文村々覚書』によると、寛文11年(1671)における本町域の運送船数は121艘あり、内海の東端村と西端村に小船53艘、山海の大泊村に小船12艘、師崎村に廻船27艘・小船17艘と多くありました(篠島の状況は不明)。小船といっても、遠く熊野や大坂・遠江までも航行する船で、海運活動は活発に行われていたことがうかがえます。



弁財船「宝久丸」の模型(10分の1)

尾張藩によって育成が図られた廻船業も、江戸時代中期以降状況が変わりました。この頃になると、国内で商品作物などの商品生産が増加したことから流通量が増加し、従来の流通業者だけではさばききれない状況だったことから、新しい廻船が出現しやすい状況にありました。そして、このような状況の中で東端村の前野小平治を中心に新たな廻船集団が結成されていったと考えられています。



戒講文書(内海)

江戸時代後期には、東端村・西端村のある内海を中心に本町全域に廻船主がいて、地域が育てた廻船を中心に本町域の経済が動いていました。廻船主たちは、東端村の大船主・前野小平治を中心に「^{えびすごう}戒講組合」という同業組合を天明元年(1781)頃に作って結束し、瀬戸内海から江戸にかけての諸湊で活動し、西の拠点である兵庫では北前船と、東の江戸や浦賀では奥筋廻船とつながりました。この廻船集団は「内海船」と呼ばれ、米を中心に大豆や肥料(干鰯・小麦)などを買積方式(各寄港地で産物の買い入れと積み荷の販売を行う方式)で運送し利益を上げていました。また、船持ちの社会的地位は高く、その経済力を背景として地域文化の担い手でもありました。戒講組合には、最大で100艘ほどの廻船が加入し、明治10年代まで存続していたことが確認されています。

【文化の流入】

幕府公認の吉原遊郭が浅草寺裏の日本堤に移転した後、揚屋の尾張屋清十郎、俵屋四郎兵衛、泉屋権助をはじめ主要な店はみな須佐村出身者で占められていた時期があり、「尾張町」の地名を生んだといわれています。当時の吉原遊郭は文化の発信地でもあり、清十郎たちの他にも本町域から江戸に進出し事業を起こした人が一定数いたことが知られています。そして、彼らによって様々な文物が本町にもたらされたと伝えられていて、町指定文化財「歌舞伎図」を始め、本町内には吉原遊郭との関係を示す史資料が残されています。

また、近世にはおかげ参りに見られるように、人々の動きが活発化し行楽にもしばしば出かけるようになりました。「孤絶の一島に似ている」といわれた知多半島ではありましたが、名古屋からは近い距離にあり訪れる人が多くありました。本町域にも尾張藩主が巡見で訪れたほか、尾張藩士や津島神社神主等が訪れ『知多遊記』（延享5年(1748)）、『島めぐり』（宝暦14年(1764)）、『師崎日記』（安永4年(1775)）などの紀行文を残しているほか、十返舎一九が内海に来たという記録もあります。文化6年（1806）には知多四国八十八ヶ所霊場が創設され、次第に行楽性が加わって参拝客が増えていきました。近世後期から末期の『張州雑誌』、『尾張名所図会』なども本町域における当時のようすを伝え、近代以降の観光開発の基礎になったとも考えられます。



歌舞伎図（豊浜）

（5）近現代（明治時代～）

【市町村制の施行】

明治初年に、本町域は23の村々に分かれていましたが、その後、国や県の奨めにより隣接する村同士の合併が何度も繰り返され、わが国の近代的地方自治制度が確立した明治22年（1889）の市制町村制施行により、内海・山海・豊浜・豊丘（一部現美浜町域）・大井・師崎・篠島・日間賀島の8か村となりました。この新制度により町制施行の機運が高まり、明治26年（1893）に内海村が、明治27年（1894）に師崎村が、明治38年（1905）に豊浜村が相次いで町制を敷き、明治39年（1906）には内海町に山海村が、師崎町に大井村が、豊浜町に豊丘村の一部がそれぞれ合併し、5か町村となりました。そして、昭和36年（1961）に内海、豊浜、師崎の3か町と篠島・日間賀島の2か村が合併して南知多町が成立しました。

【産業】

明治時代以降の交通の近代化により海運業が次第に衰退していく一方で、漁業は鰯網漁や打瀬網漁が盛んに行われるようになりました。そして、本町の漁業は、明治41年（1908）、篠島に設置されていた県立水産試験場が石油発動機付きの漁業試験船「愛知丸」を建造したことがきっかけで大きな変化を見せることとなりました。大正時代末期以降は漁船の動力化がすすみ、漁法や漁具の改良とあわさ



篠島の水産試験場（明治時代後半）

って技術が大きく向上し、漁場も沿岸から近海に拡大されていきました。また、近世まで農業を主要な生業としていた豊浜の須佐は、明治時代後期から大正時代にかけて漁村として急成長していき豊浜港の整備工事も進められました。明治時代後期以降、豊浜や師崎、篠島を拠点にして、新たな漁場を求めて朝鮮半島やインド洋・南太平洋へ出かけていた遠洋漁業は昭和30年代後半になると次第に衰退し、今では伊勢湾、三河湾、遠州灘などを主な漁場とする沿岸漁業の形をとっています。また、昭和25年（1950）の漁業法の成立に伴い、国の方針の下で本町各地区の港の整備を進めていきました。そして、獲る漁業から育てる漁業への転換を図り、ノリ・ワカメの養殖などを行っています。

漁業の進展に連動するかのようには、江戸時代末期から農家の副業として行われていた製網業を中心に各種の工業が興りましたが、工場の立地に恵まれていない本地域においては大企業が生まれるまでには至りませんでした。農業では耕地が比較的狭い本地域においては米作が中心で、副業として行われていた棉作が行われていましたが、外国産棉の輸入に押されるようになった明治時代中期以降には養蚕が行われるようになり、また、果樹栽培も内海を中心に盛んに行われました。中でも内海のミカンの栽培は、大岩金十郎の後を継いだ二代大岩金右衛門のときに大きく発展し、昭和8年（1933）には県立園芸試験場が設立され、ミカンのほかにも多種の果樹の試験研究が行われました。また、岡部（内海）の榎本誠は明治末に養鶏を始め鶏種改良に取り組み、約50年間の努力の末、昭和31年（1956）、世界で初めて1年365日、1日も休まず卵を産み続ける鶏を作することに成功しました。

昭和36年（1961）に愛知用水が完成し、翌年には篠島・日間賀島へも上水道が開通しました。愛知用水は、江戸時代末期から続いているミカン栽培を飛躍的に発展させ、内海ミカンの名を高めたほか、ハウスを用いた園芸作物が普及し、狭い土地で多くの乳牛を飼育する近郊酪農も発展しました。昭和51年（1976）から18年の歳月を経て行われた国営農地開発事業では、かつて農業従事者を悩ませてきた師崎層群の固い土壌で形成された山々を切り崩し、392haの農地が造成されました。現在では自然景観に溶け込ん

だ畑の景観が広がり、キャベツなどの作物が栽培されています。また、小規模ながら戦前戦後を通じて栽培されていたビワ栽培が、この農地開発事業の中に取り入れられ再興されました。なお、この農地造成においては、思わぬ発見がありました。それは、切り崩した師崎層群の岩石の中から約1,600万年前の深海生物化石が次々と発見されたことです。現在「愛知の石（化石）」に選定され学術研究の発展に貢献しています。

【観光開発】

明治時代以降、第3次産業の観光開発が積極的に行われるようになりました。本地域に潮湯治と称して海水浴客が訪れはじめたのは明治時代初期のことです。その後、海水浴が健康増進に向くと宣伝されるようになると海水浴客が年々増加していきました。そして、明治時代後半になると、前野小平治の番頭であった前野三九郎による弁財船2艘を使った料亭や観光旅館が内海に建てられ、千賀氏家臣であった野口所左衛門らによる師崎の「養春館」、地元有志による篠島の「愛衆館」などが建設されました。また、知多四国八十八ヶ所霊場などもあり、訪れる客を相手にした「弘法宿」などの旅館業等のサービス業が早くから芽生えていました。

明治時代中期には巡航船による知多半島の海上交通が開けたことを始め、武豊まで来ていた国鉄の来訪者を南知多まで運ぶ乗合自動車が大正時代に開業したり、昭和7年（1932）の知多鉄道の河和口までの延線、昭和9年（1934）の知多半島南部の海岸沿い新道の開通など交通面での整備が行われ、多くの観光客が本町域を訪れるようになりました。そして、「白砂青松の南知多」という地元の宣伝が功を奏し、リゾート地域の素地が昭和時代前期までにできあがりました。この観光宣伝は、主に四代内田佐七が中心となる知多自動車株式会社（現知多乗合株式会社）により積極的に行われました。内田佐七らは、「大正の広重」といわれた吉田初三郎に依頼して、描いてもらった様々な鳥瞰図を使って幾種類ものパンフレットやポスターなどを製作し観光宣伝に努めるとともに、サンドスキー場の開発や内海鉱泉の掘削などにも積極的に取り組みました。サンドスキー場は、木曾三川でもたらされた細かい砂が、強い北西風で内海周辺の山に吹き上げられ堆積しているのを利用したもので、7本



観光ポスター（昭和時代初期）



サンドスキー場（内海）

のスロープとジャンプ台、ナイター営業用の照明も備えられた本格的なものでした。

戦前に形が整えられた観光業においては、昭和 33 年（1958）に本町域の一部が三河湾国定公園に指定され、さらに愛知用水が通水したことから、特に篠島・日間賀島ではより多くの観光客の受け入れが可能になりました。そして、海水浴のほか活魚料理・魚釣り（釣り船含む）・ミカン狩り・潮干狩りなどを中心に、名鉄知多新線の敷設（昭和 55 年（1980））、南知多道路の開通（昭和 45 年（1970））や二車線化（平成 11 年（1999））などといった交通機関の発達により、名古屋市から 1 時間以内で行ける手軽な観光地として脚光を浴びるようになりました。

第2章 南知多町の文化財の概要と特徴

1. 指定等文化財の概要

令和5年（2023）8月現在、本町の指定等文化財は、国指定4件、県指定4件、町指定32件、国登録5件の合計45件で、下表のとおりです。

これら指定等文化財の地区別の所在状況をみると、内海地区が17件と最も多く、山海地区が4件、豊浜地区が7件、豊丘地区が1件、大井地区が2件、片名地区が1件、師崎地区が6件、篠島地区が5件、日間賀島地区が1件、町全域に及ぶもの1件ですべての地区に指定等文化財が所在しています。時代区分でみると、近世の文化財が23件と最も多く、古代以前の文化財が4件、中世の文化財と近代以降の文化財がそれぞれ9件です。

文化財の類型別に見ると、有形文化財として建造物6件と美術工芸品23件、有形の民俗文化財12件、無形の民俗文化財2件、記念物として遺跡1件と植物1件です。

指定等文化財件数（令和5年（2023）8月1日現在）

種別		国指定等	県指定	町指定	国登録	計	
有形文化財	建造物	1	0	0	5	6	
	美術工芸品	絵画	0	0	4	0	4
		彫刻	0	1	7	0	8
		工芸品	1	0	2	0	3
		書跡・典籍	1	1	1	0	3
		古文書	0	0	1	0	1
		考古資料	0	0	2	0	2
		歴史資料	0	0	2	0	2
無形文化財		0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	2	10	0	12	
	無形の民俗文化財	0	0	2	0	2	
記念物	遺跡	0	0	1	0	1	
	名勝地	0	0	0	0	0	
	動物、植物、地質鉱物	1	0	0	0	1	
文化的景観		0	—	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	—	—	0	
合計		4	4	32	5	45	

※「—」は該当なし。

2. 未指定文化財の概要

指定等を受けていない文化財に関しても、昭和30年代以降、大学等学術研究機関等による独自の調査や、愛知県史編さん事業、本町の町誌編さん事業など数々の調査により一定の状況把握調査が行われています。

令和5年（2023）8月現在で把握されている未指定文化財は2,311件です。

種類別では、有形文化財は1,454件（うち、建造物746件、美術工芸品708件）で、民俗文化財330件、記念物333件、文化的景観38件、その他の大切なもの156件です。

未指定等文化財件数（令和5年（2023）8月1日現在）

種別		計	
有形文化財	建造物	建造物	398
		石造物	348
	美術工芸品	絵画	63
		彫刻	256
		工芸品	73
		書跡・典籍	26
		古文書	73
		考古資料	62
		歴史資料	155
		無形文化財	0

種別		計
民俗文化財	有形の民俗文化財	223
	無形の民俗文化財	107
記念物	遺跡	199
	名勝地	31
	動物・植物・地質鉱物	103
伝統的建造物群		0
文化的景観		38
その他の大切なもの		156
合計		2,311

3. 類型ごとの特徴

（1）指定等文化財

1）有形文化財

①建造物

重要文化財の「旧内田家住宅」、国の登録有形文化財の「旧内田佐平二家住宅」があります。いずれも近世末期から明治期にかけて活躍した尾州廻船内海船の船主の家屋で、隣接して建てられているので良好な歴史景観をつくっています。

②美術工芸品

ア. 絵画

町指定文化財4件があり、「洛中洛外図屏風」は江戸時代初期の作で、大坂の陣のとき千賀家の家臣・稲生猪右衛門が捕縛した豊臣方の御座船に乗せられていたものと伝えられています。「絹本着色仏涅槃図」は江戸時代前期の作で、大野村（現常滑市）などに所在



旧内田家住宅（内海）

する仏涅槃図の影響を受けて描かれたものです。「歌舞伎図」と医王寺の「絵馬」は江戸時代中後期の作で、鳥居派の絵師によって描かれた芝居絵です。多くの本町域出身者が江戸で活躍したことを証明する文化財です。



洛中洛外図屏風（師崎 延命寺）

イ. 彫刻

県指定文化財 1 件、町指定文化財 7 件

の計 8 件があり、仏像 7 件、山車彫刻 1 件です。指定された仏像は、平安時代末期から室町時代に制作されたもの 5 件と江戸時代の円空仏 2 件です。極楽寺には県指定の「木造阿弥陀如来立像」（平安時代末期）とその脇侍で町指定の「観音菩薩立像・勢至菩薩立像」（室町時代）があります。全久寺の「鑄鉄地藏菩薩立像」は鎌倉時代から室町時代に制作されたもので、作者として大野鍛冶または尾張地方の鑄物師が推定されていますが、海上交通を通してもたらされた可能性もあります。町指定の「西村区山車彫刻」は、江戸時代末期に名古屋の彫物師・瀬川治助重光によって制作されたものです。25 種の彫刻主題のうち、特に「手長足長」は、前柱として立体的に用いられていて、全国的に見ても珍しいものです。



阿弥陀如来立像
（豊浜 極楽寺）

ウ. 工芸品

重要文化財 1 件、町指定文化財 2 件の計 3 件があります。重要文化財である岩屋寺の「金銅法具類」は鎌倉時代前期に制作されたものですが、寺伝には、弘法大師が入唐のおり願って持ち帰った法具で、大同 3 年（808）奥之院を開いた際の仏事に用いられたものとされていて、岩屋寺を中心に本町域に伝わる弘法大師伝説に関わる重要なものです。町指定文化財の「梵鐘」、「雲版」（いずれも正法禅寺）は、江戸時代前期の年号と篠島が伊勢国に属していたことを表す銘文があり、篠島と伊勢との関係を表す貴重な文化財です。



雲版（篠島 正法禅寺）

エ. 書跡・典籍

重要文化財・県指定文化財・町指定文化財各 1 件の計 3 件があります。重要文化財の「大藏経〈宋版五千百五十七帖/和版百十一帖/写本百九十五帖〉」は、鎌倉時代中期に大野城主佐治盛光が岩屋寺へ寄進したもので、もっともよく完備した宋版一切経と評価されていることに加え、^{つけたり}附指定の「千賀重親筆書状」には、徳川家康による閲覧希望の旨が書か

れています。また、県指定文化財の「紺紙金字妙法蓮花経及び心阿弥陀経」は、室町時代中期に三河守護一色満範（道範）が、羽豆神社に寄進したものです。いずれも、当時の上流武士層の信仰を知ることができる貴重な資料です。町指定文化財の「大般若経」は、室町時代に6人の僧侶によって写経されたもので、歴代住職が神明社の大般若で使用したものです。



大般若経（豊丘 正法寺）

オ. 古文書

町指定文化財「東端戎講文書」が1件あります。尾州廻船内海船の同業組合である戎講組合に関する文書で、古文書1,495点、古文書を保管した帳箱1点です。戎講組合の運営に伴い作成されたものと各地の商人から戎講に宛てられた書状類に大別できます。近世後期から明治期にかけての活動の実態がよくわかり、内海船を研究するうえで欠かせない貴重な史料です。

カ. 考古資料

町指定文化財が2件あります。「神明社貝塚出土骨角器・装身具」は縄文時代から古墳時代にかけての骨角製の漁具・占い道具・装身具です。「北地古墳出土漁具」は、サメ漁に用いたと推定される鉄製釣針・石錘です。奈良時代には日間賀島をはじめ三河湾の3島の海部集団がサメ等の海産物を天皇家へ献上していたことが平城宮跡出土木簡から判っていて、日間賀島では昭和30年頃までサメ漁が行われていました。いずれも当時の漁業形態や生活風習を知るうえで貴重なものです。



神明社貝塚出土の装身具（篠島）

キ. 歴史資料

町指定文化財が2件あります。「内海船および船道具資料」は尾州廻船内海船及び明治期の和船に関わるもので当時の和船と携わる人々の姿を具体的に知ることができる資料群です。「寛政村絵図」（延命寺）は江戸時代後期に描かれた篠島、日間賀島の絵図で、地図的要素に人口（男女別）や人家数、島間距離、漁獲される魚や海草などの種類が文字で書き込まれています。当時の両島の様子を知ることができる貴重な絵図です。



寛政村絵図（師崎 延命寺）

③民俗文化財

ア. 有形の民俗文化財

県指定文化財 2 件、町指定文化財 10 件の計 12 件あります。県指定のものは、いずれも江戸時代中期の算額で、光明寺に奉納されたものは愛知県最古の算額です。当時の和算について知ることができる貴重な資料です。町指定のものは、絵馬 2 件、山車及びからくり人形 7 件、漁具 1 件です。光明寺の「絵馬群」は、江戸時代前期から明治時代に奉納された絵馬群で、各時代の特徴がよくわかり、美術的・民俗学的な価値が高いものです。「龍江寺の廻船絵馬」は江戸時代末期に奉納され、保存状態が良いため当時の内海船の様子がよくわかります。本町に残る各山車は、建造に係る経緯がわかるものであり、近隣市町に比べて豊富なからくり人形とともに、本町域の祭礼の様子がわかる貴重な資料です。



光明寺の絵馬（豊浜）

イ. 無形の民俗文化財

町指定文化財 2 件のうち「篠島の御贄干鯛調製」は、伊勢神宮の三節祭のため篠島から奉納される干鯛の調製技術で、古例に従って現在まで執り行われており、篠島と伊勢神宮のつながりを示す貴重なものです。「豊浜須佐おどり」は江戸時代前期から踊り継がれてきたといわれ、豊浜地区の歴史が歌詞に盛り込まれていることも特徴です。



須佐おどり（豊浜 昭和 29 年撮影）

④記念物

ア. 遺跡

町指定史跡の「帝井」（篠島）は、延元 3 年（1338）後醍醐天皇の皇子・義良親王（後の後村上天皇）が東征のとき、暴風雨に遭って篠島に漂着し、滞留されたおりの飲料水として使用した井泉です。篠島に水道が引かれる昭和 37 年（1962）頃まで島民の飲料水としても使用されてきました。篠島が海上交通の中間点にあったことがわかる遺跡です。



帝井（篠島）

イ. 植物

国指定天然記念物である「羽豆神社の社叢」は、知多半島の最先端羽豆岬に鎮座する式

内社・羽豆神社の社叢です。社叢は岬一帯に広がっていて、ウバメガシを主とした暖地性常緑樹林からなり、付近の山地の植物群落とは著しく景観を異にしています。

南知多町の指定文化財一覧

令和5年(2023)8月1日現在

名 称	区分	種別	員数	時代	所有者 (所在)	指定/登録 年月日
旧内田家住宅	国指定	建造物	1	明治2年 (1869)	南知多町 (内海)	平 29. 7. 31
旧内田佐平二家住宅 主屋	国登録	建造物	1	明治初期	南知多町 (内海)	平 30. 11. 2
旧内田佐平二家住宅 土蔵	国登録	建造物	1	明治初期	南知多町 (内海)	平 30. 11. 2
旧内田佐平二家住宅 隠居屋	国登録	建造物	1	明治初期	南知多町 (内海)	平 30. 11. 2
旧内田佐平二家住宅 表門及び納屋	国登録	建造物	1	明治初期	南知多町 (内海)	平 30. 11. 2
旧内田佐平二家住宅 透塀	国登録	建造物	1	明治初期	南知多町 (内海)	平 30. 11. 2
洛中洛外図屏風	町指定	絵 画	1	慶長年間	延命寺 (師崎)	昭 56. 3. 25
歌舞伎図(芝居絵)	町指定	絵 画	1	寛政2年 (1790)	南知多町 (豊浜)	昭 56. 3. 25
絵 馬	町指定	絵 画	1	享保20年 (1735)	医王寺 (大井)	昭 56. 3. 25
絹本着色仏涅槃図	町指定	絵 画	1	正保4年 (1647)	延命寺 (師崎)	令元. 11. 1
木造阿弥陀如来立像	県指定	彫 刻	1	平安時代	極楽寺 (豊浜)	昭 32. 9. 6
地藏菩薩立像	町指定	彫 刻	1	鎌倉時代	光明寺 (豊浜)	昭 63. 9. 1
鑄鉄地藏菩薩立像	町指定	彫 刻	1	鎌倉 ~ 室町時代	全久寺 (内海)	昭 63. 9. 1
木造地藏菩薩立像	町指定	彫 刻	1	鎌倉時代	全久寺 (内海)	昭 63. 9. 1
観音菩薩立像・勢至菩薩立像	町指定	彫 刻	1	室町時代	極楽寺 (豊浜)	平 17. 8. 1
円空仏・善女竜王像	町指定	彫 刻	1	延宝年間	成願寺 (片名)	平 11. 12. 1
円空仏・薬師如来像	町指定	彫 刻	1	貞享年間~ 元禄初期頃	如意輪寺 (内海)	平 13. 12. 1
西村区山車彫刻	町指定	彫 刻	1	江戸末期	西村区 (山海)	平 18. 3. 29
金銅法具類	国指定	工 芸	1	鎌倉時代	岩屋寺 (山海)	昭 14. 9. 8
梵 鐘	町指定	工 芸	1	正保2年 (1645)	正法禅寺 (篠島)	平 10. 12. 1
雲 版	町指定	工 芸	1	寛永16年 (1639)	正法禅寺 (篠島)	平 10. 12. 1
大蔵経(宋版五千百五十七帖/和版百一十一帖/写本百九十五帖)	国指定	書跡・典籍	1	鎌倉時代	岩屋寺 (山海)	昭 14. 5. 27

紺紙金字妙法蓮花經及び心阿弥陀經	県指定	書跡・典籍	1	室町時代	羽豆神社(師崎)	昭51. 8. 2
大般若經(写經)	町指定	書跡・典籍	1	室町時代	正法寺(豊丘)	昭60. 7. 1
東端戎講文書	町指定	古文書	1	江戸末期～明治初期	南知多町(内海)	平16. 7. 1
北地古墳群出土漁具	町指定	考古資料	1	古墳時代	南知多町(日間賀島)	平16. 7. 1
神明社貝塚出土の骨角器・装身具	町指定	考古資料	1	縄文～古墳時代	南知多町(篠島)	平16. 7. 1
寛政村絵図	町指定	歴史資料	1	寛政4年(1792)	延命寺(師崎)	平10.12. 1
内海船および船道具資料	町指定	歴史資料	1	江戸末期～明治初期	南知多町(町全域)	平16. 7. 1
算 額	県指定	有形民俗	1	宝暦2年(1752)	光明寺(豊浜)	昭50. 1.31
算 額	県指定	有形民俗	1	宝暦4年(1754)	泉蔵院(内海)	昭53.10.16
絵 馬 群	町指定	有形民俗	1	江戸～明治時代	光明寺(豊浜)	平13.12. 1
龍江寺の廻船絵馬	町指定	有形民俗	1	安政6年(1859)	西村区(山海)	平26. 8. 1
岡部区山車	町指定	有形民俗	1	江戸末期	岡部区(内海)	平22. 7.21
馬場区の山車	町指定	有形民俗	1	江戸末期	馬場区(内海)	平30. 6. 1
大井区の山車	町指定	有形民俗	1	江戸末期	大井区(大井)	平30. 6. 1
神楽船	町指定	有形民俗	1	昭和12年(1937)	西端区(内海)	令元.11. 1
山車からくり人形	町指定	有形民俗	1	寛政年間	吹越区(内海)	昭59. 1.27
からくり人形	町指定	有形民俗	1	江戸末期か	岡部区(内海)	平22. 7.21
東端区のからくり人形	町指定	有形民俗	1	明治時代	東端区(内海)	平30. 6. 1
コウナゴすくい漁のたも	町指定	有形民俗	1	明治時代	南知多町(師崎)	平16. 7. 1
豊浜須佐おどり	町指定	無形民俗	1	元禄～	(豊浜)	昭58. 6. 1
篠島の御贄干鯛調製	町指定	無形民俗	1	中世～	篠島漁協(篠島)	平25. 3.21
帝 井	町指定	遺 跡	1	延元3年(1338)	南知多町(篠島)	平元.10. 1
羽豆神社の社叢	国指定	植 物	1	—	羽豆神社(師崎)	昭9. 1.22

(2) 未指定文化財

① 建造物

ア. 建造物

寺院建築では、慈光寺(内海)の本堂(寛文9年(1669)建築)、泉蔵院(内海)の本堂(内延宝5年(1677)建築)、持宝院(内海)の本堂(17世紀後半建築)、光明寺(豊浜)の薬師堂(延宝9年(1681)建築)、円増寺(豊浜)の本堂(元禄9年(1696)建築)、神護寺(師崎)の本堂(元禄10年(1697)建築)、西方寺(篠島)の本堂(17世紀代建築か)など江戸時代中期頃のものが残されています。また、性海寺(内海)の本堂は18世紀代に、岩屋寺(山海)の鐘楼は宝暦3年(1753)、経蔵は寛政13年(1801)に、泉蔵院の金毘羅堂は文政7年(1824)に建築されました。そのほか、江戸時代末期に知多立川流一門が関わった建築物が残されていて、影向寺(豊浜)の本堂・厨子・水屋をはじめ、如意輪寺(内海)山門、豊泉寺(師崎)本堂、遍照寺(師崎)本堂などに見られます。神社建築では、現存する棟札の年代では17世紀以前のものがある程度残されていますので、本町における神社の歴史は比較的古いと思われませんが、神社建築の傾向として古い社殿はたびたび建替えられていて、近世末期以降のものが多い状況です。その中であって、羽豆神社本殿は宝暦年間(1751～1764)に改修されたことが棟札からわかり、建築はそれ以前のものといわれています。



神護寺 本堂 (師崎)



泉蔵院 金毘羅堂拝殿 (内海)

民家建築では、内海の東端区、西端区を中心に18世紀末の建築とされる内田恒助家住宅をはじめ、近世後期から明治時代前期にかけて廻船業や醸造業を営んだ家が現存しています。また、内海の馬場区には、明治時代前半建築の旧梅原半兵衛家住宅などがあります。漁家の多い師崎や篠島、日間賀島などでは、狭い路地に家屋が密集して建っています。このような町並みは珍しく、特に篠島は敷地が狭く、主屋と道路の間が半間しかない家もあり、主屋は四つ間取りでも敷地が不定形で広さもいろいろでした。



旧梅原半兵衛家 (内海)

漁家が多く、主屋だけでなく納屋などが必要となるので、土地を有効に利用するため建物の配置に苦心が見られ、島ならではの特徵になっています。

そのほか、農村舞台建築として熊野神社（豊丘）に接して設けられた豊楽座があります。歌舞伎が上演できる舞台で、明治10年（1877）の建築です。

イ. 石造物

社寺の石灯籠、常夜灯、鳥居、水盤、宝篋印塔、板碑などがあります。内海には廻船主が奉納した石灯籠などの石造物が多く残されていて、当時の繁栄ぶりを偲ばせています。また、板碑は近世初期のものが多く、この時代に、舟形光背の身部に五輪塔を薄肉彫りした陽刻板碑が本町域でよく作られています。その石材の多くが緑泥片岩であることが特徴です。

②美術工芸品

ア. 絵画

羽豆神社（師崎）の三十六歌仙扁額、神護寺（師崎）の六歌仙扁額、岩屋寺（山海）の数々の仏画、絵伝などを始め社寺等が所有する絵画が多く残されています。また、個人蔵では、吉田初三郎が描いた内海の風景画など、大正時代から昭和時代にかけて活躍した画家の絵画が旧内田家住宅に残されています。

イ. 彫刻

通称「たご阿弥陀^{あみだ}」と呼ばれ、海中出現仏の伝承がある安楽寺（日間賀島）の阿弥陀如来像など、各寺院の仏像のほか、近世末期から明治時代にかけて知多立川流一門等が制作した彫刻などが残されています。知多立川流一門の作品は、内海の馬場・岡部・内福寺・師崎の山車彫刻のほか、影向寺（豊浜）の本堂、如意輪寺（内海）の山門などに見られ、本町域における活動のようすがわかる作品群です。

ウ. 工芸品

各寺院を中心に鱧口^{わにくち}、梵鐘、吊灯籠、香炉などが残されています。これらのうち鱧口は比較的多く残されているほか、岩屋寺の香炉は明和2年（1765）に江戸吉原関係者が寄進したもので、この当時、岩屋寺と江戸吉原の関係をうかがい知ることができる資料です。



石灯籠（内海 泉蔵院）



吉田初三郎画
「礪浦七勝其ノ六」（内海）



香炉（山海 岩屋寺）

エ. 書跡・典籍

紺紙金泥法華経、大般若経などが社寺に残されています。また、近世末期に尾張藩主の病気治癒のために九州から尾張藩に赴き、しばらくの間住職として岩屋寺復興に尽力した豪潮律師の書などがあります。

オ. 古文書

近世中期以前の古文書は少ないのですが、各区区有文書、家文書などが残っています。これらのうち、千賀氏の家臣で、漁業の指導管理の任に当たった川合家には、近世における漁法・漁獲物や漁民への報酬、漁民からの願書に加え、海鼠腸や鯨・鯛などの贈り物に対する諸侯の礼状などの古文書が多数残されていて、近世漁業の実態を知ることでできる好史料です。また、内田佐七を始め内海船の船主であった各家文書は、当時の内海船の経営などを知ることができる貴重な史料です。



内田佐七家文書（内海）

カ. 考古資料

町内に所在する各遺跡の発掘調査や表面採集で得られた縄文時代から近代にかけての資料が多量にあります。広範囲での調査が行われた遺跡が少なく、遺跡の性格を把握することは難しいのですが、当時の生活や生業のようすを知るうえで良好な資料となっています。中でも、先苧貝塚（内海）出土土器は、当時の海水面と縄文海進を証明する資料として貴重です。また、塩屋遺跡（大井）や林ノ峰貝塚（内海）などから出土した縄文式土器の中には土器編年の標式資料となっているものもあり、研究上重要な資料が多く残されています。



林ノ峰貝塚出土土器（内海）

キ. 歴史資料

近世の村絵図を始め和船の船内で使われた道具、句碑、記念碑、路傍や屋外に残されている石造物などがあります。「内海の四天王」は江戸時代末期に妙音寺（内海）の住職が村の繁栄と幸せを願って四方の山に立てた仏神像です。また、『万葉集』に詠われた須佐（豊浜）や篠島の歌碑のほか、江戸時代から昭和時代に本町域を訪れた人が詠んだ句碑や歌碑などがあり、いずれも本町の歴史を知るうえで貴重な資料です。



内海の四天王 左：多聞天 右：持国天（内海）

③民俗文化財

ア. 有形の民俗文化財

本町には江戸時代、明治時代に社寺に奉納された絵馬が200点以上残されています。これらは近世以降、文化の主要な担い手となった住民の文化・信仰など当時の様相を知るうえで貴重なものです。

また、祭礼で曳き廻される山車や演じられるからくり人形が他市町と比較しても数多く残されています。豊浜の鯛まつりで太鼓打ちが着用する明治時代以降の着物が多数残されていて、着物の製作技術とともに、描かれた図柄から当時の世相を知ることができる貴重な資料です。

そのほか、住民から寄贈された民具や各家に収蔵されている資料もあり、本町民の生活や生業を知るための貴重な資料になっています。特に、旧内田家住宅の所蔵資料は、明治時代から昭和時代にかけての生活道具が、その種類を欠くことなく残されていることから、当時の生活文化を知るための好資料として高く評価されています。また、旧郷土資料館に収蔵されていた資料には、衣食住に係る生活道具類や漁撈活動関係資料が多数あり、本町の人々の生活や生業を知るための貴重な資料です。

イ. 無形の民俗文化財

各地区の祭礼や民間信仰行事があり、様々な形のものが受け継がれています。

伊勢湾の海の安全を守った千賀氏に関する師崎の羽豆神社の祭礼や、伊勢神宮との関係の中で行われる篠島の神社の御遷宮と祭礼、津島神社の天王祭りと関係のある大井や日間賀島の祭礼、海運業や廻船主と関係のある内海の東端区と西端区の祭礼、大漁を祈願する豊浜・師崎・篠島・日間賀島の祭礼、五穀豊穡や村内安全を祈願する内海をはじめ各地の祭礼、年占的性格を強く持った豊丘の熊野神社で行われる歩射（「弓まつり」）と粥占など様々な形の行事があります。そのほかにも、豊丘の神明社や日間賀島の日間賀神社のお神楽、山海の岩屋寺で行われる初午や左義長などの伝統行事があります。



師崎区の山車



太鼓打ち着物(豊浜 明治38年)



熊野神社の歩射（豊丘）

祭礼など伝統行事以外のものとしては、古老たちから聞き取り調査によって把握した童謡や民謡、狂言などが数多く残されています。本町で使われる言葉は尾張地方や三河地方の方言を中心としながらも、各地区によって使い方の違いがみられます。これは各地区の成り立ちや生活様式、生業などが異なるためといわれ、本町の特徴です。また、漁網にかかったウミガメを龍神様として手厚く介護したり葬ったりする信仰があり、寺院や共同墓地などに埋葬されている習俗も本町ならではのものです。



須佐の鯛まつり（豊浜）



左義長（師崎）



正月祭礼 大名行列（篠島）



春の祭礼（内海 東端）

④記念物

ア. 遺跡

平治の乱で敗れた源義朝にまつわる遺跡（義朝の大岩・姥はり石、いずれも内海）や式内社入見神社がかつて鎮座していたという井際山（内海）、幕末動乱期に外国船の襲来に備えて配備されたという内海砲台跡（内海）、大井烽火台跡（大井）、近世に師崎などを治めた千賀氏の屋敷跡（師崎）、名古屋城築城の石を切り出すために篠島を訪れた加藤清正にまつわる遺跡（篠島）などのほか、原始から近代にかけて



清正の枕石（篠島）

の埋蔵文化財包蔵地が確認されています。

埋蔵文化財包蔵地では、本町においては旧石器時代に属するものは確認されていません。縄文時代の遺跡は、東海地方最古の貝塚といわれる先苺貝塚のほか、早期末から前期初頭にかけての遺跡や中期以降の遺跡が確認されています。古墳は、日間賀島（35基）、豊浜（6基）など50余基の古墳があり、知多半島で確認できる古墳総数の約3分の2の古墳が本町に存在しています。本町で確認される古墳は後期の横穴式石室を内部主体とするものであり、小規模な円墳ばかりです。古墳時代から古代にかけては、内海・豊浜・大井・片名・師崎の沿岸部や篠島・日間賀島において製塩遺跡が確認され、土器製塩が盛んに行われていたことがわかります。中世においては内海と大井には古窯が築かれ、山茶碗・山皿・甕・鉢などが生産されていました。中世の城館跡は、一色城跡や岡部城跡（いずれも内海）、幡豆崎城跡（師崎）などがあります。



北地8号墳の石室（日間賀島）

イ. 名勝地

『尾張名所図会』に描かれた幡豆崎、須佐の入江、持宝院を始め、内海十二景や内海八景に入れられた祭八山・千鳥ヶ浜・つぶてヶ浦のほか、東海の松島といわれる篠島・松島などがあります。つぶてヶ浦は、水成岩の上に変成岩である片麻岩が乗る珍しい地形をしています。1,600万年ほど前の大地震の際の津波による堆積物と考えられていて、地質学上大変貴重なものです。伊勢神宮の遥拝所として鳥居が立っています。



つぶてヶ浦（内海）

ウ. 動物・植物・地質鉱物

羽豆神社や岩屋寺を始めとした社寺林など、各地域の古樹、大木などがあります。社寺林は、シイ・カシ・タブノキなどの林がみられ、自然植生の面影を残しています。地質鉱物は、本町域において大部分の地域の基盤をなす師崎層群に関わるもので、新生代新第三紀中新世における約1,800万～1,500万年前の海に堆積した地層です。この地層からは当時の深海生物の化石が大量に含まれており、世界的に珍しい化石群と



ナマハゲフクロウニの化石（豊浜）

して知られています。平成 28 年（2016 年）、日本地質学会より「師崎層群の中期中新世海生化石群」として「愛知県の石（化石）」に選定されました。

⑤文化的景観

本町各地区の集落の景観があります。師崎や篠島、日間賀島など、わずかな平坦地しかなく、狭い路地に家屋が密集する漁村特有の集落景観や、中洲（豊浜）など背後に絶壁を控えた海岸沿いに住居が密集する景観などは、本町の特徴を表しているといえます。一方、尾州廻船内海船主の家屋が集まっている内海の東端区は良好な歴史的景観を残しています。このほか、大きな川に恵まれず、降水量が比較的少ない知多半島に点在するため池の景観が本町域に残っています。



篠島の家並み



中洲の集落（豊浜）

⑥その他大切なもの

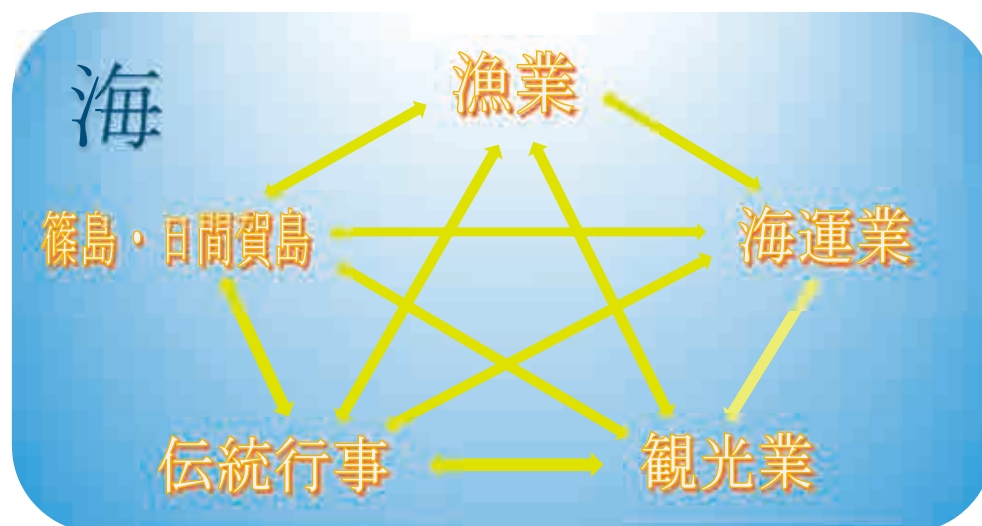
昔ばなし・伝説が多数あります。知多地方には、総体的に伝説は多くあっても、昔ばなしに類するものはあまり伝えられていないのに対し、海に囲まれ、自然に恵まれた本町には昔ばなしも比較的多く残っています。これらの中には笑い話が数多く残されていて、人間性豊かな地域性によるもの理解されています。その他には、明治時代以降の風景写真・記録映像・絵はがき・観光パンフレットなどがあり、当時のようすを知る資料になっています。また、古代に弘法大師が上陸したと伝えられる場所や、平治の乱で敗れた源義朝が当地域に落ち延びてきたときに上陸したと伝えられる場所などの伝承地があります。



聖崎の弘法大師上陸伝承地（大井）

第3章 南知多町の歴史文化の特徴

第1章、第2章でみてきた自然的・地理的環境、歴史的背景、社会的状況などの諸要素が、どのように本町の人々の生活に影響し、人々の生活や生業、文化を創り出し、今に伝えられているか。そして、それらを感じられる場所や資料がどのくらい残されているか。以上のような観点から、本町の歴史文化について考えてみますと、多くの要素が浮かび上がってきます。悪条件の中、苦心の末に品種改良に成功した内海ミカンをはじめとした農業や、1年365日、1日もかかさず卵を産み続ける鶏を出すことに世界で初めて成功した養鶏業など特色のある産業もありますが、本町において中心となるのはやはり「海」と考えられます。そこで、海に因んだ要素を下図のように考えてみました。



海に因んだ要素を並べ、その関係性を考えるとすべての要素が何らかの形で関わり合っています。内海の海水浴や尾州廻船内海船の歴史、山海の岩屋寺、豊浜の鯛まつり、大井の聖崎、師崎の羽豆神社や千賀氏、篠島の伊勢神宮とのつながり、日間賀島のたこ阿弥陀など、各地区で守っていききたいといわれるものは海に繋がっているものが多いことがわかります。このことから本町の歴史文化の特徴として以下の項目が挙げられます。

1. 昔から漁業が盛んで今も愛知県一の漁獲高があるまち

本町域は海に囲まれた知多半島の先端にあって、住民は古くから漁労活動や塩づくりを生業としていました。南知多沿岸の海は、砂地の場所だけでなく磯や水深の深い場所があり、また、外海の魚類も見られるため様々な漁法が展開されました。タコ漁の釣具やタコ壺、コウナゴ漁で使われた巨大なタモ網、イカやフグの釣具、サメ漁の釣針や銚頭など、地域色のある漁具が残されています。

歴史的にみても、平城宮跡出土木簡（国宝）に記された内容から、篠島・日間賀島の海部が海産物を贄として平城宮に貢納していたことが推定されています。贄は天皇に献上する食料品で、両島の海部は、天皇に供するに値する良質な海産物を捕獲していたことがわかります。また、篠島から伊勢神宮に干鯛を奉納する行事は現在も受け継がれています。尾張藩で船奉行や御肴御用などの役職を勤めた千賀氏は、港の整備や漁場の開発、漁法の改良、特殊な鯨突き漁などを行い、様々な魚介類や加工品が将軍家や藩主に、ときには朝廷へも献上されました。鰯網漁で捕れた鰯は大衆魚として、また、綿花栽培の肥料ともなり需要が多い魚でありました。千賀氏により大きく発展した漁業は、近代以降も漁港整備や愛知県水産試験場の移転などによりさらに盛んになり、海産物の加工業とともに本町域の主産業として現在に受け継がれています。



羽豆岬からの風景

2. 海運業の繁栄ぶりを感ずることができるまち

本町域は地理的に伊勢湾、三河湾海上交通の要衝にあり、住民は船を使って対岸の三河や渥美半島、伊勢地方と盛んに交流をもっていました。また、須佐（豊浜）や師崎、大井は深い入り江で天然の良港として伊勢湾・三河湾を行き交う船の風待ち湊となっていたことから本町域には多くの人や物資が入ってきて栄えていました。

このような地理的利点を活かして、本町においては海運業が盛んで、当初は伊勢湾内での物資輸送を主に行っていましたが、千賀氏の管理下でさらに発展し、近世後期には江戸から瀬戸内東部まで航海範囲を広げるようになりました。この廻船集団を尾州廻船内海船といい、本町内海を中心に船主が町内各地にいて「戎講組合」という同業組合をつくり結束しました。そして内海船は、兵庫や大坂を結節点にして、蝦夷地など日本海側の各地の荷物を積んで来る北前船ともつながり、幕府公認の菱垣廻船、樽廻船の経営を脅かすほど栄え、本町域も豊かになっていきました。

本町の内海地区を中心に内海船主の家屋をはじめ関係する社寺や石造物など、当時の繁栄ぶりを偲ばせる文化財が多く残っています。



内海船を描いた絵馬（岩屋寺）

3. 海で遊べる名古屋近郊の観光地として発展したまち

近世の本町域には尾張藩主や藩士が何度も訪れ、藩士らによる紀行文や尾張藩が作成した地誌等により風景や海産物等の名産が紹介されるなど、景勝地として知られていました。

近代に入り本町の内海・師崎・篠島などに海水浴場ができると、知多半島東岸と西岸に整備された鉄道の駅と本町域とを結ぶ海上交通やバス路線が整備されました。バス路線を整備したのは内海船の有力船主だった内田佐七家を中心となった知多自動車株式会社でした。知多自動車株式会社は、交通網の整備だけでなく、観光宣伝やサンドスキー場等を開設するなど、様々な観光振興策を展開し、名古屋から容易に訪れることができる観光地として知られるようになりました。

戦後、交通網の発達や愛知用水の通水のほか、三河湾国立公園に指定されたことにより、本町域は名古屋近郊の観光地としてさらに発展し、主要産業の一つになっています。海水浴をはじめ、海釣り、潮干狩り、景色が良い場所や遺跡を訪れる遊覧、魚介類をふんだんに使った食事など、海がもたらす恵みの中で、日常を忘れて心を癒せる風光明媚な観光地として多くの人を訪れています。



海水浴場（内海 千鳥ヶ浜）

4. 独自の歴史文化がある篠島、日間賀島

篠島・日間賀島には耕地がほとんどなく、島民は漁業や海運業など海の生業を主に行いました。2つの島の歴史は本町の中でも独特で、古代、両島とも三河国に属していたことが平城宮跡出土木簡から分かっています。その後、日間賀島は尾張国に属したようですが、篠島は中世初めに志摩国、その後伊勢国に属し、伊勢神宮の御贄所として神宮領であったと伝えられ、島内には寺社や伝統行事、遺跡など伊勢神宮や伊勢の国と深いつながりのある文化財が多く残されています。

近世には篠島と日間賀島はともに尾張藩領で、千賀氏の蔵入地支配を受け、篠島は尾張藩の流刑地でもありました。日間賀島は、徳川家康と尾張藩主の師崎来遊の際にぶり網で魚を取って献上したのが契機となって、将軍家や尾張藩主に御用鯛を献上しました。また、千賀氏は御肴御用の役



御贄干鯛の調製（篠島）

職を担い、藩主や家臣の需要に応えるために、鯛や鯛腸塩辛、海鼠腸など両島の海産物は欠かせず、時には急な御用もありました。このため、両島からは「押し送り船」という、生け簀がついた四挺櫓の手漕ぎ船を使って熱田まで御用鯛や御用肴を運びました。

篠島の人にとっては伊勢神宮と深くつながった歴史文化があることが、また、日間賀島の人にとっては将軍家や藩主に御用鯛を献上したという歴史があることが誇りとして今に受け継がれています。

5. 海に関係のある信仰、多彩な伝統行事が今なお受け継がれているまち

本町は近隣他市町に比べ社寺の数が多く、海や自然と関わって生きる人々の信仰心の篤さがわかります。

本町においては、式内社の羽豆神社（師崎）・入見神社（内海）や、土御前社（豊浜）など、ほとんどの神社が海とつながっています。中でも羽豆神社は、尾張氏の祖先である建稲種命を祀る神社です。海浜部の生業や海上交通を掌握する海部氏は、尾張氏の別性であるといわれ、羽豆神社は、今も人々の心のよりどころになっています。また、本町には聖崎（大井）の弘法大師上陸伝説があり、知多四国八十八ヶ所霊場の札所が両島も含めて町内の各地区にあります。中でも近世末期に尾張藩の祈願所になった岩屋寺には須佐の漁師が海中から引き上げたといわれる仏像が本尊として祀られ、弘法大師が二度訪れ修行したという伝説もあり、多くの人を訪れています。岩屋寺の本尊にみられる海中出現仏の言い伝えは、医徳院（篠島）の薬師如来像（本尊）や安楽寺（日間賀島）の阿弥陀如来像などにもみられ、大切に守られています。

本町の伝統行事には地区ごとに様々な形がありますが、やはり海に関わる行事が多いことが挙げられます。海上安全を守った千賀氏に関わるもの、航海安全や大漁を祈願したもの、海を介して伊勢神宮とつながっていたり、津島神社の天王祭りで流された御葦に関係しているものなど海に関係した多彩な伝統行事が各地で現在も受け継がれています。



神楽船祭り（内海）



ほうろく流し（日間賀島）

第4章 文化財の把握調査

1. 既存の文化財の把握調査の概要

(1) 南知多町誌編さん等に伴う総合的な調査

本町においては、古くから町内の郷土研究者により文化財に関する調査研究がすすめられ、その成果がまとめられてきました。本町域の総合的な把握調査は、戦前の旧町村単位における郷土資料調査に始まり、その成果は『郷土教育資料 内海古事類聚』（明治41年（1908））、『篠島史蹟』（大正10年（1921））、『郷土調査 師崎第一尋常高等小学校』（昭和7年（1932））、『南知多師崎誌』（昭和9年（1934））などにまとめられています。



戦前の郷土資料調査報告

本町は、以上の資料に新たに収集した資料を加え、昭和40年（1965）に『南知多町誌』を発刊し、本町の歴史文化を1冊にまとめました。そして、昭和56年（1981）には中学生にも理解できるようにと、わかりやすい内容にまとめ直した『南知多町誌』を刊行しました。その後、昭和62年（1987）度から新しい『南知多町誌』編さんのために建造物調査を始め、仏像・工芸品等の有形文化財、山車や絵馬・祭礼などの民俗文化財、埋蔵文化財等の確認調査を実施したほか、現在まで随時に民俗・祭礼調査、埋蔵文化財調査、古文書調査等を実施しました。また、町誌編さん事業を中心に収集した郷土資料・民俗資料を保存・展示するために、愛知県から旧内海高等学校特別校舎の建物を借用して、昭和52年（1977）度に南知多町郷土資料館を開館しました。そして、郷土資料館の老朽化に伴う建物解体の際に、所蔵品の再調査を平成27年度（2015）から3か年にわたり実施しました。

(2) 個別（類型別）調査

1) 建造物調査

建造物については、昭和47年度（1972）に愛知県による民家緊急調査で、内海船の船主であった内田恒助家住宅の調査が行われ、昭和54年度（1979）には寺院10件、神社1件の建造物緊急調査が行われました。本町で行った建造物調査は、前述の南知多町誌編さん事業に伴うもので、平成5年度（1995）に神社1件、寺院13件、古民家4件、踊り舞台1件の計19件の詳細調査を行いました。また、尾州廻船内海船の船主である旧内田家住宅（重要文化財）と旧内田佐平二家住宅（登録有形文化財）については、平成9年度（1997）及び10年度（1998）に現況調査を行った後、平成17年度から26年度（2005～2014）にかけて修



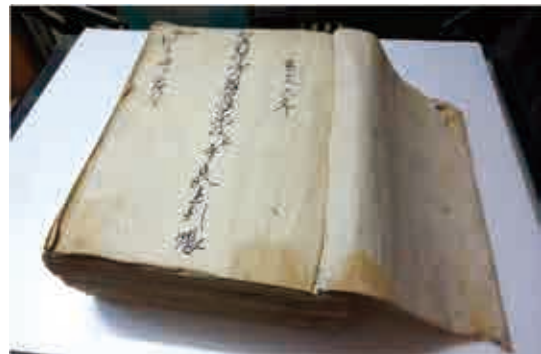
旧内田佐平二家住宅（内海）

理工事を実施し、その結果を修理工事報告書にまとめています。なお、旧内田家住宅と旧内田佐平二家住宅については、愛知県が平成 17 年度から 18 年度（2005～2006）にかけて行った愛知県近代和風建築総合調査報告書にも掲載されています。

石造物調査は、前述の南知多町誌編さん事業に伴う調査のほか、日本福祉大学により内海の中之郷区・東端区・西端区に所在する四つの神社において調査が行われました。

2) 美術工芸品調査

本町では、昭和 60 年度から 61 年度（1985～1986）にかけて神社寺院調査を実施し、9 か所において仏像や神像、絵画の把握調査を行いました。その後、愛知県が平成元年度（1989）に実施した県内美術工芸品調査において、本町では彫刻 66 件（仏像 65 件、神像 1 件）、書跡 1 件、絵画 6 件を調査し報告しています。また、平成元年度から 3 年度（1989～1991）にかけては、町誌編さん事業の中で 43 か寺、69 件の仏像詳細調査を実施しました。書跡・典籍については、愛知県による愛知県史編さん事業の中で、岩屋寺所蔵の大蔵経（重要文化財）、正法寺所蔵の大般若経（町指定文化財）などの詳細調査が行われています。古文書では、南知多古文書研究会が中心になり、本町内海地区に残された古文書のうち、近世末期から明治時代の尾州廻船内海船に関する古文書調査を長年継続して行い、内海船の「戎講文書」のうち重要なものについてまとめ、『南知多の廻船文書』2 冊を発刊しています。その後、内海船に関わる古文書は、有力船主だった内田佐七家の膨大な資料や戎講文書の詳細調査・研究が日本福祉大学知多半島総合研究所により行われ、報告書も刊行されています。また、本町教育委員会では多くの廻船主が残した数多くの古文書の収集を行い、知多半島総合研究所に調査・研究を依頼しています。廻船文書のほかでは、教育委員会が保存する古文書のうち、近世に尾張藩船奉行を勤めた千賀氏の家臣・川合家による知行地管轄に関する文書（「川合家文書」）を始め諸家の文書、区有文書等が、愛知県史編さん事業の中で調査され、文書目録も作成されました。



師崎村惣百姓宗門改并寺手形連判状
(川合家文書)

歴史資料では、路傍や屋外に残されている石造物があり、平成時代初めに行った町誌編さん事業に伴う調査では、91 地点で石仏、石塔、道しるべなどとともに文学碑や記念碑について確認しています。

3) 民俗文化財調査

本町の民俗調査の先駆けとなったのは、明治 12 年（1879）の明治政府による漁業慣例調査です。政府にとって漁業生産の振興が課題であり、全国的な水産状況を把握し、国内の優良技術の情報収集を進めていたことが調査の背景にあったといわれています。この調査では、師崎や日間賀島などで使われていた漁具の図面が提出され、『漁具絵図下調』（明治 12 年（1879）、知多郡役所編）にまとめられています。その後、昭和 13 年（1938）に瀬川清子による篠島・日間賀島の民俗調査が行われました。

戦後になると、昭和 38 年（1963）に文化財保護委員会が全国的に実施した民俗資料緊急調査や、愛知県が昭和 42 年度から 43 年度（1967～1968）にかけて実施した三河湾、伊勢湾沿岸の漁撈習俗緊急調査の報告書が刊行されています。その後も愛知県教育委員会は民俗文化財緊急分布調査（昭和 53 年度（1978））、民謡緊急調査（昭和 54 年度～55 年度（1979～1980））、方言緊急調査（昭和 56 年度～58 年度（1981～1983））、民俗芸能総合調査（昭和 61 年度～63 年度（1986～1988））などの把握調査を随時実施し報告しています。本町では、昭和 62 年度（1987）から行った町誌編さん事業の中で風習や民俗芸能、伝統行事などについて住民の聞き取り調査を実施したほか、平成元年度（1989）に町内 16 か所において 194 件の絵馬調査を実施し、平成 6 年度（1994）に 13 か所の山車調査を実施しました。その他、愛知県史編さん事業に伴う民俗調査や各大学、研究所等による民俗調査が行われ、調査結果が報告されています。なお、食文化についても、昭和 60 年（1985）以降、漁村の食生活を中心にした調査が行われ、論文等で報告されています。

平成 22 年度（2010）以降は、文化庁の文化遺産を活かした地域活性化事業（現地域文化財総合活用推進事業）の補助金を活用して、各区や各地区まちづくり会、南知多町文化遺産保存活用実行委員会等が各地区祭礼の調査、記録保存や祭礼用具修復事業を実施しました。立川流彫刻研究所などの研究機関の協力を得て行った事業の成果として、本町における山車やからくり人形の実体が判明したほか、祭礼や伝統行事の記録映像やガイドブックなどを作成しました。また、南知多町制 55 周年記念事業として町内の祭礼、伝統行事をまとめた映像「祭礼歳時記」を平成 29 年度（2017）に作成しました。



作成映像（左）、ガイドブック（右）

そのほか、本町所蔵の有形の民俗資料は主に山海ふれあい会館、旧内田家住宅、梅原邸を中心に収蔵していて、旧内田家住宅の収蔵資料を平成 10 年度から 12 年度（1998～2000）に、梅原邸の収蔵資料を平成 23 年度から 24 年度（2011～2012）に、山海ふれあい会館の収蔵資料を平成 27 年度から 29 年度（2015～2017）にかけて詳細調査し、調査台帳を作成しました。

4) 記念物調査

遺跡については、昭和 8 年（1933）の県道工事に伴い実施された高岩古墳（師崎）の発掘調査をはじめ戦前からいくつかの遺跡で簡易的な発掘調査が行われました。本格的な発掘調査は、昭和 31 年（1956）に名古屋大学により行われた天神山遺跡（大井）が最初のもので、それ以降、天神山遺跡調査に参加した磯部幸男、師崎中学校郷土史クラブにより師崎地区を中心に、縄文時代遺跡の発掘調査が行われました。また、日間賀中



昭和 31 年（1956）の天神山遺跡発掘風景（大井）

学校などの学校においても郷土史クラブが結成され、磯部幸男や宮川芳照、山下勝年等の教員の指導下で、各地区の遺跡で発掘調査が行われました。本町では、昭和 63 年度（1988）に、それまでの発掘調査や分布調査の結果をまとめた遺跡調査票を作成しました。

平成時代以降は、町誌編さん事業に伴い清水ノ上貝塚（内海）・北地 9 号墳（日間賀島）の発掘調査を行いました。平成 8 年度から 10 年度（1996～1998）には、愛知県教育委員会と合同で遺跡詳細分布調査や城館址予備調査を実施し、愛知県が成果報告書を刊行しました。本町での発掘調査は学術研究によるものが比較的多くある一方で、昭和 53 年度（1978）の先苺貝塚（内海）、昭和 60 年度（1985）の神明社貝塚（篠島）、平成 7 年度（1995）の口田面遺跡（師崎）及び南風ヶ崎遺跡（篠島）、平成 9 年度（1997）の新井浜貝塚（日間賀島）の発掘調査のように開発に伴う発掘調査もあります。これまでの調査結果については、『南知多町誌』のほか、調査報告書や研究論文等で発表しています。そのほか、名古屋城石垣採石地の伝承があった篠島において、平成 20 年（2008）から矢穴のある石の把握調査が石橋伊鶴を中心に進められ、平成 29 年（2017）までに慶長期の石が 19 か所で 301 個あることが確認されました。また、島内には庭石などに転用され残っている慶長期の石が 18 か所に 40 個あることも確認されました。これらの調査結果は郷土研究誌『みなみ』に掲載されています。



篠島に残る矢穴のある石

植物は、平成 3 年度（1991）に町内の古樹、大木調査を実施し 22 か所において 50 件の古樹、大木を把握しました。その後も、平成 12 年度（2000）に農業水産課（現産業振興課）による追跡調査を 14 か所で行いました。

地質鉱物では、本町の基盤をなす師崎層群から深海生物化石が多数産出するという情報はありましたが、具体的な場所について十分に把握できていませんでした。このような状況の中、東海化石研究会や県内の地質学研究者等の専門家により師崎層群深海生物化石の発掘調査や分布調査が行われ、その成果は報告書にまとめられています。また、昭和 59 年（1984）に豊浜地内で発見された古代クジラの全身骨格は、発掘調査団によるクリーニングや研究の後、群馬県立自然史博物館のグループによる研究に引き継がれ、マッコウクジラの仲間の新属新種であることが判明しました。そして、本町では、本計画作成の中で令和 3 年度から 4 年度（2021～2022）に確認調査を実施し、主な産出場所を 27 か所確認しました。



師崎層群深海生物化石の展示
（町総合体育館 1 階ロビー）

5) その他の調査記録

町内の昔ばなしについては、吉田弘を中心に把握調査が進められ、昔話集の形で『南知多の昔ばなし』などに収録しています。

南知多町誌一覧

書名	主な内容	発行年月
南知多町誌（昭和40年版）	自然・通史・民俗等	昭40. 3
南知多町誌（昭和56年版）	自然・通史・民俗等 ※中学生向け	昭56. 6
南知多町誌本文編	自然・通史・民俗・文化財等	平2. 2
南知多町誌資料編1（近世村絵図集）	近世後期の村絵図の集成	平3. 3
南知多町誌資料編2（自然）	地形、鳥、昆虫、植物、水生生物等	平5. 3
南知多町誌資料編3（近現代）	近・現代の産業・教育等、写真集、年表	平6. 3
南知多町誌資料編4（近世）	近世古文書等の史料集	平7. 3
南知多町誌資料編5（民俗）	民具、民謡、祭り、山車、方言等	平8. 3
南知多町誌資料編6（文化財）	考古資料、文化財（仏像・絵馬・金石文・建造物・石造物・絵画等）、文芸作品等	平9. 3
南知多町誌補遺版1	近代史料	平10. 3
南知多町誌補遺版2	近世・近代史料	平11. 3
南知多町誌補遺版3	自然・民俗・考古資料、近世廻船史料	平12. 3

行政が発行した図書等

種別	書名	対象文化財	発行者、編者	発行年月
建造物	愛知の民家	内田恒助家住宅	愛知県教育委員会	昭50. 3
建造物	愛知県の近世社寺建築	岩屋寺始め10か寺、羽豆神社	愛知県教育委員会	昭55. 3
建造物	尾州内海廻船館保存整備基本構想策定業務報告書	内田佐七家の整備事業基本構想	南知多町	平10. 3
建造物	尾州内海廻船館保存整備基本計画策定業務報告書	内田佐七家の整備事業基本計画	南知多町	平11. 3
建造物	愛知県近代和風建築総合調査報告書	旧内田佐七家住宅、旧内田佐平二家住宅	愛知県教育委員会	平19. 3
建造物	尾州廻船内海船船主内田佐七家保存修理工事報告書	旧内田家住宅	南知多町教育委員会	平25. 3
建造物	尾州廻船内海船船主内田佐平二家住宅保存修理工事報告書	旧内田佐平二家住宅	南知多町教育委員会	平29. 3

美術工芸品	愛知県指定文化財調査報告第1集(彫刻・刀剣・陶芸)	極楽寺仏像	愛知県教育委員会	昭45.3
美術工芸品	南知多の廻船文書1	戎講組合文書	南知多町教育委員会	昭57.3
美術工芸品	南知多の廻船文書2	戎講組合文書	南知多町教育委員会	昭61.3
美術工芸品	愛知県陶磁資料館研究紀要5	篠島出土蓄銭	愛知県陶磁資料館	昭61.3
美術工芸品	愛知県の文化財	延命寺洛中洛外図屏風、正法寺大般若経ほか	愛知県教育委員会	平7.3
美術工芸品	中野甚右衛門重富の彫刻下絵	岡部区、馬場区(内海)の山車彫刻下絵	美浜町教育委員会	平17.3
民俗文化財	三河湾・伊勢湾漁撈習俗緊急調査報告第I集	町内の漁撈習俗	愛知県教育委員会	昭43.3
民俗文化財	三河湾・伊勢湾漁撈習俗緊急調査報告第II集	町内の漁撈習俗	愛知県教育委員会	昭44.3
民俗文化財	愛知の民俗	日間賀島の民俗調査	愛知県教育委員会	昭48.3
民俗文化財	愛知県民俗地図	町内の民俗調査	愛知県教育委員会	昭54.3
民俗文化財	愛知の民謡	町内の民謡調査	愛知県教育委員会	昭56.3
民俗文化財	愛知の民俗芸能	町内の民俗芸能調査	愛知県教育委員会	平元.3
民俗文化財	愛知県の方言	町内の方言調査	愛知県教育委員会	平元.3
民俗文化財	愛知県沿岸地域海域の主要海藻の植生とその利用	三河湾海域における春～夏の主要な海藻の分布と利用状況	愛知県教育委員会	平元.3
民俗文化財	あいちの民俗芸能	神楽船(内海)、鯛まつり(豊浜)、豊浜・師崎・日間賀島の盆踊り	愛知県教育委員会	平3.1
民俗文化財	愛知県史民俗調査報告書1 篠島	篠島の民俗調査	愛知県	平10.7
民俗文化財	尾州内海廻船館所蔵品等調査業務報告書	旧内田家住宅所蔵品	南知多町	平12.3
民俗文化財	尾州内海廻船館所蔵品等調査業務報告書	旧内田家住宅所蔵品	南知多町	平13.3
民俗文化財	あいちの祭り行事	町内の祭礼	愛知県教育委員会	平13.3
民俗文化財	知多の絵馬調査報告書	町内の絵馬	半田市博物館	平22.2
民俗文化財	愛知県の民俗芸能	内海の棒の手	愛知県教育委員会	平26.3

民俗文化財	祭礼歳時記	町内の祭礼の映像記録	南知多町	平 29. 3
遺 跡	愛知縣史蹟名勝天然記念物調査報告第 10	篠島の遺跡	愛知県	昭 7. 3
遺 跡	愛知縣史蹟名勝天然記念物調査報告第 11	日間賀島の遺跡、つぶてヶ浦（内海）	愛知県	昭 8. 3
植 物	愛知縣史蹟名勝天然記念物調査報告第 12	羽豆神社の社叢（師崎）	愛知県	昭 9. 3
遺 跡	愛知県遺跡分布図	町内 100 か所の遺跡、天然記念物	愛知県教育委員会	昭 47. 3
遺 跡	内海鈴ヶ谷古窯調査報告	鈴ヶ谷古窯址群（内海）	愛知県教育委員会	昭 49. 3
遺 跡	清水ノ上貝塚	清水ノ上貝塚（内海）	南知多町教育委員会	昭 51. 3
遺 跡	日間賀島の古墳	北地 5 号墳・8 号墳（日間賀島）	南知多町教育委員会	昭 52. 3
遺 跡	日間賀島の古墳	北地第 11 号墳・14 号墳、上海第 2 号墳、新井浜貝塚日間賀島）	南知多町教育委員会	昭 54. 3
遺 跡	先苺貝塚	先苺貝塚、乙福谷遺跡（内海）	南知多町教育委員会	昭 55. 12
遺 跡	林ノ峰貝塚 I	林ノ峰貝塚（内海）	南知多町教育委員会	昭 58. 3
遺 跡	大井釜山古窯址群	釜山古窯址群（大井）	南知多町教育委員会	昭 61. 3
遺 跡	愛知県古窯跡群分布調査報告（VI）（常滑古窯跡群）	町内 7 か所の古窯	愛知県教育委員会	昭 63. 3
遺 跡	林ノ峰貝塚 II	林ノ峰貝塚（内海）出土の人骨	南知多町教育委員会	平元. 3
遺 跡	神明社貝塚	神明社貝塚（篠島）	南知多町教育委員会	平元. 3
遺 跡	愛知県歴史の道調査報告 VII-常滑街道・師崎街道-	両街道沿いの文化財	愛知県教育委員会	平 4. 3
遺 跡	愛知県遺跡地図（II）知多・西三河地区	町内 117 か所の遺跡、2 か所の記念物	愛知県教育委員会	平 7. 3
遺 跡	口田面遺跡・南風ヶ崎遺跡	口田面遺跡（師崎）、南風ヶ崎遺跡（篠島）	南知多町教育委員会	平 8. 3
遺 跡	愛知県中世城館跡調査報告 IV（知多地区）	町内 28 か所の中世城館跡等	愛知県教育委員会	平 10. 3
遺 跡	愛知県知多半島遺跡詳細分布調査報告書	町内 163 か所の遺跡	愛知県教育委員会	平 11. 3
動 物	愛知の野鳥	町内の野鳥	愛知県	昭 58. 3
植 物	天然記念物（植物）緊急調査報告	羽豆神社の社叢（師崎）、木島の常緑広葉樹林（篠島）	愛知県教育委員会	昭 43. 6

地質鉱物	日間賀島の化石	日間賀島の化石	南知多町教育委員会	昭 47. 3
地質鉱物	知多クジラの化石	豊浜で発見された原始クジラ化石	南知多町教育委員会	平 11. 3
その他	南知多の昔ばなし	町内に伝わる昔ばなし集	南知多町教育委員会	平 3. 6
その他	企画展「内海船と内田佐七家」	尾州廻船内海船と、その有力船主の一人である内田佐七家に関する企画展パンフレット	南知多町教育委員会	平 13. 10
その他	ガイドマップ－南知多町の文化財－	南知多町文化財地図（改訂版）	南知多町教育委員会	平 19. 3
その他	ガイドマップ（英語版）－南知多町の文化財－	南知多町文化財地図（英語版）	南知多町教育委員会	平 21. 3
その他	哲学のみち 梅原猛先生記念誌	名誉町民 梅原猛	南知多町	令 3. 3

民間団体、個人が発行した図書等

種別	書名	対象文化財	発行者、編者	発行年月
総合	郷土研究誌 みなみ	知多半島南部地域を中心とした郷土史研究	南知多郷土研究会	昭 41. 3～
建造物	愛知の民家－建築と生活－	内田恒助家住宅	愛知建築士会	昭 59. 4
建造物	内海の石造物調査	入見神社・高宮神社・山神社・熊野社の石造物	日本福祉大学現代GP	平 18. 3
美術工芸	愛知県の円空仏	如意輪寺・慈光寺・成願寺の円空仏	長谷川公茂	平 2. 12
美術工芸	尾張国知多郡内海えびす講文書目録	戎講組合文書	日本福祉大学知多半島総合研究所	平 3. 3
美術工芸	尾張国知多郡内海内田佐七家文書目録	内田佐七家文書	日本福祉大学知多半島総合研究所	平 5. 3
美術工芸	古文書類台帳	東端区（内海）の古文書	内海 東端区	平 11. 3
美術工芸	人文社会科学論叢	羽豆神社蔵紺紙金字法華経	弘前大学人文社会科学部	平 30. 8
民俗文化財	ひまかのうた	日間賀島の民謡・童謡等調査	斉田茂夫	昭 48. 3
民俗文化財	日間賀島・見島民俗誌	日間賀島の民俗調査	瀬川清子	昭 50. 1
民俗文化財	愛知県南知多方言集	町内の方言調査	鈴木規夫	昭 51. 5
民俗文化財	三河湾をめぐる海村地域の生活文化	町内の民俗調査	名古屋女子大学生生活科学研究所	昭 62. 7
民俗文化財	豊浜の鯛まつり	鯛まつりの記録	豊浜小学校	昭 63. 5

民俗文化財	なつかしい内海言葉	内海の方言	内田軌一、内田欣吾	平 2. 11
民俗文化財	愛知県南知多町日間賀島	日間賀島の民俗調査	筑波大学民俗学研究所	平 8. 3
民俗文化財	海と島の暮らし	日間賀島の民俗調査	小島孝夫、田中宣一	平 13. 3
民俗文化財	半島の暮らし	町内の民俗調査	小島孝夫、田中宣一	平 21. 3
民俗文化財	篠島 海こそすべて	篠島の民俗	山里文化研究所	平 21. 12
民俗文化財	師崎の民俗	師崎の民俗調査	成城大学文芸学部文化史学科	平 22. 3
民俗文化財	日本における漁業・漁民・漁村の総合的研究	町内各地区の民俗調査記録	研究代表者岩田みゆき	平 22. 3
民俗文化財	篠島の正月祭礼 大名行列祭	篠島の正月祭礼の記録映像	篠島まちづくり会	平 23. 3
民俗文化財	太一御用 御幣鯛奉納祭	篠島の御幣鯛奉納祭の記録映像	篠島まちづくり会	平 23. 3
民俗文化財	篠島の夏祭り 祇園祭・野島祭	篠島の祇園祭・野島祭の記録映像	篠島まちづくり会	平 24. 1
民俗文化財	漁師町に伝わる秋の祭礼～愛知県南知多町師崎の大名行列～	羽豆神社の大名行列（師崎）の映像記録	師崎まちづくり協議会	平 25. 3
民俗文化財	漁師町に伝わる伝統の盆踊り～愛知県南知多町師崎～	師崎の盆踊りの記録映像	師崎まちづくり協議会	平 25. 3
民俗文化財	師崎歴史めぐり～千賀様の足跡と文化財をたずねて～	師崎の史跡と文化財の紹介映像	師崎まちづくり協議会	平 26. 3
民俗文化財	江戸時代の栄華を今に伝える内海の祭礼	内海の祭礼の映像記録	内海文化遺産保存活用実行委員会	平 26. 3
民俗文化財	大漁を祈り、春を呼ぶ師崎 左義長まつり	師崎の左義長の記録映像	師崎まちづくり協議会	平 26. 3
民俗文化財	ハレの日々 南知多町十七の祭礼	町内の祭礼のガイドブック	南知多町文化遺産保存活用実行委員会	平 27. 3
民俗文化財	篠島千年以上続く歴史、伝統技術の伝承	篠島の伝統行事の記録映像	篠島まちづくり会	平 27. 10
民俗文化財	ぎおん祭り	日間賀島のぎおん祭りの記録映像	日間賀島西区	平 27. 11
民俗文化財	日間賀島東区お神楽	日間賀島東区の神楽の記録映像	日間賀島東区	平 29. 1
民俗文化財	聞き書 愛知の食事	大井・師崎の郷土食	社団法人農村漁村文化協会	平元. 8
遺 跡	知多古文化研究、伊勢灣考古	町内の遺跡	知多古文化研究会	昭59. 12～
遺 跡	内海谷の古道と史跡を巡る	内海の史跡の紹介映像	内海文化遺産保存活用実行委員会	平 25. 3

植 物	あいちの名木	八幡社（内海）のスギ	愛知県緑化推進委員会	平 3. 6
地質鉱物	師崎層群の化石	師崎層群深海生物化石	東海化石師崎層群刊行会	平 5. 4
地質鉱物	師崎層群深海生物化石発掘調査報告書	師崎層群深海生物化石	師崎層群深海生物化石発掘調査団	令 4. 3
その他	岩屋寺誌	岩屋寺の歴史、文化財他	岩屋寺	昭 55. 10
その他	煮干し物語・豊浜の志おり	豊浜の歴史に関する映像	内田敏夫	昭 29
その他	岩屋寺	岩屋寺に関する映像	内田敏夫	昭 32
その他	あいちの伝説	豊浜・篠島の伝説	田中玄次郎	昭 37. 9
その他	内海今昔	内海の歴史に関する映像	内田敏夫	昭 49
その他	愛知の文学散歩	町内の文学資料	社団法人愛知県観光協会	昭 54. 3
その他	知多のむかし話	町内の昔ばなし 10 話	河和中学校	昭 54. 3
その他	続 知多のむかし話	町内の昔ばなし 13 話	河和中学校	昭 55. 6
その他	続々 知多のむかし話	町内の昔ばなし 11 話	河和中学校	平元. 3
その他	内海船と幕藩制市場の解体	尾州廻船内海船の廻船経営に関する論文集	斎藤善之	平 6. 6
その他	知多半島文学散歩	町内の文学資料	吉田弘	平 17. 12
その他	南知多の礎を築いた4人の内田佐七	内田佐七家4代にわたる歴史の紹介映像	知多半島ケーブルネットワーク株式会社	平 18. 11
その他	東端区誌	東端区（内海）の歴史	東端区誌編纂委員会	平 22. 3
その他	内海大航海・文化をめぐる	尾州廻船内海船、関連史跡	内海文化遺産保存活用実行委員会	平 24. 3
その他	尾張藩御船奉行千賀様の話	千賀家の記録	師崎まちづくり協議会	平 25. 3
その他	南知多～海とともに生きる～	南知多と海の関わりの歴史に関する映像	南知多町文化遺産保存活用実行委員会	平 27. 3
その他	神明神社 八王子社社誌	神明神社、八王子社（篠島）	神明神社、八王子社	平 29. 1
その他	南知多に薫る江戸文化 吉原の面影	南知多と江戸・吉原の関係に関する映像	南知多町文化遺産保存活用実行委員会	平 30. 3
その他	篠島・日間賀島文化財紀行	両島の文化財の紹介映像	南知多町文化遺産保存活用実行委員会	平 30. 3

2. 地区ごとの文化財の把握調査の現状

本町はこれまで、町域全体を対象とした文化財に関する把握調査として、町誌編さんに伴う調査を始め各種の調査等を実施してきました。しかし、その時に把握できなかった文化財もあり、今後さらに確認する必要があります。本町における文化財の適切な保存・活用に向けては、未調査の文化財の把握のための調査の継続・充実が必須であるとともに、その価値づけのための調査研究も必要です。

種別・分類		調査状況					評価	
		内海・山海	豊浜・豊丘	大井・片名・師崎	篠島	日間賀島		
有形文化財	建造物	寺社	○	○	○	○	○	県調査・町誌編さん事業時の調査等により社寺建築・近代和風建築・石造物については概ね把握ができていますが、民家の把握調査が十分ではありません。
		民家	△	△	△	△	△	
		石造物	○	○	○	○	○	
	美術工芸品	絵画	○	○	○	○	○	町誌編さん事業時の調査等により概ね把握できています。
		彫刻	○	○	○	○	○	町誌編さん事業時の調査等により概ね把握できています。
		工芸品	○	○	○	○	○	町誌編さん事業時の調査等により概ね把握できています。
		書跡・典籍	○	○	○	○	○	町誌編さん事業時の調査等により概ね把握できています。
		古文書	△	△	△	△	△	町誌編さん事業時の調査等によりある程度把握できていますが、豊浜の天野兵左衛門家文書、師崎の神谷忠太夫家文書、篠島の辻三太夫家文書、日間賀島の鈴木五太夫家文書などについて十分に把握できていません。また、内海においては廻船主だった家の所有文書についてはある程度把握できているものの、さらに確認する必要があります。
		考古資料	○	○	○	○	○	発掘調査や表面採集等で得られた資料は、概ね教育委員会で一括管理して把握できています。
	歴史資料	△	△	△	△	△	町誌編さん事業時の調査等によりある程度把握できていますが、社寺や路傍に設置された記念碑や顕彰碑などについてさらに確認する必要があります。	
	無形文化財	×	×	×	×	×	技術保有者等の情報はなく、把握調査は未実施です。	

民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	△	△	△	絵馬については町誌編さん事業時の調査等により概ね把握できています。また、生活道具、生業道具などについても教育委員会が収集、管理していて概ね把握できています。祭礼用具をはじめ各地区が所蔵する資料の調査については内海、山海、師崎など一部の地区での実施にとどまっているため、さらに確認調査を行う必要があります。
	無形の民俗文化財	△	△	△	△	△	主な祭礼、伝統行事の把握は概ねできていますが、各区等における年間の伝統行事や各地区の食文化などについてさらに確認する必要があります。
記念物	遺 跡	○	○	○	○	○	県と町が合同で行った分布調査、中世城館跡調査等により概ね把握できています。
	名勝地	△	△	△	△	△	尾張名所図会に掲載された場所や内海十二景、内海八景、篠島八景といわれた場所などを把握していますが、さらに確認する必要があります。
	動物・植物・地質鉱物	△	△	△	△	△	各神社の社叢や古木、大木、化石などについては概ね把握していますが、動物についてさらに確認する必要があります。
	文化的景観	△	△	△	△	△	町誌編さん事業時の調査により把握したものの一部にとどまっており、今後さらに確認する必要があります。
	伝統的建造物群	×	×	×	×	×	内海東端区に廻船主の住居群がありましたが、具体的な調査を行う前に数軒が解体されました。把握調査は未実施です。
	その他大切なもの	△	△	△	△	△	町誌編さん事業時の調査等によりある程度把握できていますが、今後さらに確認する必要があります。

(凡例) ○：概ね調査ができている △：さらに調査が必要 ×：未調査

第5章 文化財の保存と活用に関する現状

1. 文化財の保存・管理に関する現状

(1) 調査・記録保存

本町においては、原始から近代にかけての文化財が多数残されていて、前章に記した調査活動で得られた成果のほか、住民や民間団体等が自ら得た調査結果や情報などを基に、郷土の歴史や民俗をはじめ各分野で調査・研究活動が進められています。

本町における住民や民間団体等による調査・研究活動の代表的なものは、南知多郷土研究会によるものです。南知多郷土研究会は、昭和40年(1965)に発刊した『南知多町誌』の編纂に当たった編集委員が主体となり、収集した資料の活用とさらなる研究をめざして発足しました。それから50年以上も活動が続けられ、郷土研究誌『みなみ』の発刊(年2回)と年1回の研修を軸に郷土研究活動をすすめています。『みなみ』に発表された成果は、昭和62年(1987)から開始した新しい南知多町誌編さん事業の基礎資料になったほか、内外からも注目され郷土研究誌として評価されています。『みなみ』は令和5年(2023)5月現在で第115号が刊行されています。



『みなみ』114号・115号の表紙

南知多郷土研究会以外では、南知多観光ボランティアガイドや老堂狸会、南知多梅原猛友の会、羽豆岬案内人の会、各地区のまちづくり協議会などの団体が文化財に関する調査・研究活動を行っています。

本町では、第4章でみた文化財調査や上記の調査・研究活動を行っています。これまでに調査・把握してきた町内の文化財については、それぞれの項目ごとにデジタルデータで一覧表にまとめて記録保存し、一部は紙媒体で保存しています。

(2) 整理・評価

これまでに調査・把握してきた町内の文化財これらの資料は、文化財指定や活用事業等を行う際の基礎資料となっていますが、体系的な整理やそれぞれの調査で得たデータを一元化していないことから、その管理や活用において有効に進めることができていない状況です。

(3) 継承のための保管・管理

①文化財建造物の管理

本町は、3軒の文化財建造物を所有しています。

尾州廻船内海船の有力船主であった内田佐七の家屋(旧内田家住宅)は平成17年度から24年度(2005～2012)に、また、内田佐七家の新家・内田佐平二の家屋(旧内田佐平二家住宅)は平成23年度から26年度(2011～2014)に、それぞれ修理工事を実施し、以後も破損個所の補修や庭木手入れなどの環境保全を行っています。また、平成31年(2019)に逝去した哲学者・梅原猛の養家・旧梅原半兵衛家(梅原邸)については、平成2年度(1990)に修理工事を行い、

南知多梅原猛友の会の活動拠点として使用されるとともに、破損個所の補修や庭木手入れなどの環境保全を行っています。しかし、これら本町が管理する文化財建造物については保存管理計画等の策定が未着手の現状にあります。

②文化財の収蔵、管理

文化財の管理は、本町および本町教育委員会、社寺、所有者、各民間団体等で各々行っています。このうち、本町および南知多郷土研究会が調査活動等で得た資料等については南知多町民会館図書室（古文書）、山海ふれあい会館（美術工芸品、民俗資料、考古資料等）、旧内田家住宅土蔵、旧梅原半兵衛家土蔵などに分散して収蔵しています。なお、指定等文化財の修理等は、き損等緊急時の対応が主となっています。

(4) 文化財指定等

本町においては、昭和9年（1934）に「羽豆神社の社叢」が国の天然記念物に指定されたのが最初の指定です。以後、国や県によって主なものが指定され、町が独自に文化財指定するようになったのは昭和56年（1981）からです。平成元年（1989）の「帝井」の町文化財指定以後少しの期間指定を行いませんでしたが、平成10年（1998）以降に積極的に町文化財を指定するようになり、令和元年（2019）までに本町は22件の町文化財指定を行いました。このうち1件（「旧内田家住宅」）は平成29年（2017）に重要文化財指定を受け、現在は、国の登録有形文化財「旧内田佐平二家住宅主屋」はじめ5件（平成30年（2018）登録）を含めて45件の指定文化財、登録文化財があります。平成10年（1998）以降の動きは、当時の文化財保護委員会の意向や第6次町総合計画に掲げた指定文化財の指定目標45件達成などの理由により行ったものです。このため、指定件数の達成が主目的となり、指定目的の明確化や地域バランスなどを考慮したうえでの指定が十分に行えていない状況です。



羽豆神社の社叢（師崎）

(5) 防災・防火・防犯対策

本町は、昭和時代に入ってからでも、昭和28年（1953）の台風13号、昭和34年（1959）の伊勢湾台風（台風15号）及び昭和49年（1974）の集中豪雨などの風水害のほか、昭和19年（1944）の東南海地震、昭和20年（1945）の三河地震などの大地震等で大きな被害を受けた歴史があります。この中でも特に伊勢湾台風（台風15号）の被害は甚大で、羽豆神社の社叢の損傷をはじめ、各地区の山車や古文書などが失われました。現在も本町の文化財の中には、大きな台風や地震等に伴う風水害時浸水被害箇所・土砂災害警戒区域・津波災害警戒区域等に所在するものが多くあります。また、本町内に社寺をはじめ地



伊勢湾台風の被害状況（日間賀島）

域の歴史を感じることでできる文化財が数多くありますが、火災等による文化財の滅失や、盗難等に遭う危険性は常にあります。

「南知多町地域防災計画」(令和5年(2023)3月修正)では、防災思想の普及や、管理者に対する指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺の環境整備などを通じて文化財の保全を図ることとし、平常時からの対策として国・県指定文化財の所有者ごとに「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えることとしています。また、応急的な対策として、被害発生時の現場保存や緊急的保存措置の指導を行い、火災・散逸などの二次災害防止に努めることとしています。その他、災害時の対応として被害状況の把握・報告、事後措置の指示・伝達を行うこととしています。

本町では、町内に所在する国・県・町指定文化財の防火対策として、防火施設の点検を行うとともに、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせ、所有者・管理者・近隣住民対象の文化財防火訓練を実施しています。また、国・県指定文化財については、愛知県の指導の下で平成9年(1997)に防火台帳を作成し、文化財を保管している建物の防火設備等を把握しています。

2. 文化財の活用に関する現状

(1) 情報発信

文化財に関する情報は、昭和44年(1969)から町広報紙に特集記事として連載し、その後もガイドマップの作成やホームページをとおして周知してきました。また、近年では文化財紹介アプリや紹介映像の作成、文化遺産カードの発行などに加え、ケーブルテレビ、地域情報誌など民間企業に取材、掲載を依頼し、情報発信に取り組んでいます。しかし、本町の歴史文化の価値や魅力、特徴などについて住民や来訪者等に十分に周知できていない状況です。本計画作成に当り実施した住民意識調査結果を見ても、本町に必要な取り組みとして情報発信を求める回答が最も多くありました。



「文化遺産ナビ」リーフレット



文化遺産カード

(2) 案内看板や便益施設

各地区の指定等文化財所在地や主要な埋蔵文化財包蔵地等に案内看板を設置し、周知に努めています(指定等文化財所在地には英語併記の看板を設置)。しかし、町内に所在する指定等

文化財や主要な埋蔵文化財包蔵地に設置した案内看板については、一部に看板面の老朽化や古い情報が掲載したままになっているため、価値や魅力を十分に伝えられていないものがあります。

(3) 活用イベント

本町が所有する3つの建造物においては、公開事業に加え、町や文化団体主催による各種イベント（茶会、アート展示、体験講座、コンサート等）の実施などにより普及活動を行っています。また、町内に所在する文化財については、古文書や山車、遺跡、動植物、化石など文化財の種別ごとの講座を行ったり、散策イベントなどを実施しています。これらの中には継続して実施しているものがある一方で、事業実施における人的、財政的負担が大きく一過性になりがちなものもあります。



町文化協会による茶会（旧内田家住宅）



クラシックコンサート（旧内田家住宅）

(4) 文化財を総合的に学ぶ場所・機会

本町においては、町誌編さん事業をはじめ各種の文化財調査の中で収集した郷土資料・民俗資料を保存展示するために、愛知県から旧内海高等学校特別校舎の建物を借用して、昭和52年度（1977）に南知多町郷土資料館を開館し、文化財を総合的に学べる場所として位置づけてきましたが、建物老朽化に伴い平成29年度（2017）に収蔵資料を山海ふれあい会館に移転した上で解体工事を行いました。このため、小学校の郷土学習として行う旧内田家住宅、旧内田佐平二家住宅、山海ふれあい会館の見学などが、学校教育を通じて地域の文化財について学習し体験する機会になっています。しかし、対象が一定の地域や個別の文化財に限定されることで、文化財を活かした地域学習などの効果が不十分になることが想定されます。また、学校や教員への働きかけについては、新任教職員を対象とした「郷土めぐり」などをおして、教員の文化財に対する理解を深め、教育活動の様々な場面で、教員と文化財関係者とが協働できる環境の整備に努めています。

(5) 文化財のまちづくりへの活用状況

南知多観光ボランティアガイドや羽豆岬案内人の会などが町内の文化財案内活動を展開しています。また、内海・豊浜・大井・師崎・篠島・日間賀島各地区の有志らを中心に、文化庁の文化遺産総合活用推進事業等の補助金を活用し、文化財の情報を発信する取り組み（情報映像公開、文化遺産ナビ、文化財紹介ホームページによる紹介、文化財を活用した伝統文化体験

事業等)を実施しています。町内各地区のまちづくり協議会においては、町のまちづくり事業補助金を活用し、独自の文化財活用事業を実施しています。しかし、少子高齢化等による人口減少、生活様式の変化等を起因とした古民家を含めた町内の空き家の増加など、地域活力の低下や、活用を担うまちづくり関係団体の高齢化や人材不足等に伴う活動力の低下が危惧されています。



ボランティアガイドによる案内風景(内海)



まちづくり団体が設置した案内看板(豊浜)

3. 文化財の継承に関する現状

(1) 担い手の確保・育成

少子高齢化、町外への流出により本町の人口は年々減少していることに伴い、文化財の所有者、地域の伝統行事等の継承の中心的な役割を担ってきた世代が減少しています。このため、例えば師崎地区では、毎年行われる左義長(1月)、羽豆神社の大名行列(10月)の内容を一部変更することにより存続を図ることを余儀なくされています。そのほかの地区でも同様の状況で、さらに、近年の新型コロナウイルス感染症の影響で本来の形での祭礼を行えなかったことから、地域住民、とりわけ若い世代の歴史文化に対する関心の低下が目立ちつつあり、継承者不足の原因のひとつになっています。また、地縁的なつながりが薄れることで、町外からの転入者や次代を担う子どもたちが、伝統行事や食文化など日常的に歴史文化に触れる機会が減少することも予想されています。

(2) 保存・活用の組織・体制づくりの現状

本町では、文化財保護行政を担う専門機関はなく、社会教育課が担当課となって各種の文化財保存・活用事業を実施しています。社会教育課職員は一般職採用扱いであり、人事異動で文化財保護行政の経験がない職員に交代した場合、文化財保護に対する考え方や技術の継承などを十分に行うことができない状況にあります。また、文化財に関して一定の予算はあるものの、所管している旧内田家住宅をはじめ文化財建造物の維持修理に関する予算が十分ではないことに加え、本町が所蔵する文化財資料の収蔵施設に関しても専用の施設がなく、十分な環境下にあるとはいえない状況です。

以上のような状況の中、文化財担当職員が文化財の概要を把握しにくく、個々の事務に追われ十分な時間が取れない状況にあり、行政・社寺・所有者・住民・住民団体・専門家等との連携もうまくできていない状況にあります。

第6章 文化財の保存と活用に関する将来像・課題・方針

1. 文化財の保存と活用に関する将来像

本計画では、文化財の総合的な把握、整理や、行政と住民、文化財所有者等が行う計画的な保存・活用を通じて、祖先から受け継がれてきた住民の大切な財産である文化財を、指定、未指定に関わらず、調査、研究し、それらの成果を住民に発信することにより、その価値を住民に認識してもらい、さらに活用を通して地域活性化につなげるとともに、後世に継承していくことを目的としています。

本町の人々は、古くから海や緑に囲まれた自然環境と密接に関わり、各々の生業をとおして生活してきました。また、海上交通の要衝にあたることから、様々な文化や文物が流入し、本町における文化向上につながってきました。海を生業の場所として活動した先人たちは漁労活動や海運活動を発展させ、近世後期には当時の経済活動にも大きな影響を与えた本町独自の廻船業が行われ、さらに廻船業で得られた財力を背景に観光開発が行われるなど、本町の人々は海を中心に活発に活動してきました。

各地域に受け継がれてきた南知多町の成り立ちや歴史文化を今に伝える様々な文化財は、本町の大切な宝であります。これら、先人が残してくれた貴重な文化財を本町民の共有財産として大切に守り、その価値を理解したり活かしたりしながら未来へ継承していくことで、住民一人一人の地域への愛着と誇りに思う気持ちを高めることにつながり、さらに、町総合計画における将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち」の実現につながるものと考えます。

これらを踏まえ、本町が目指す文化財の保存と活用に関する将来像を次のとおり定めます。

<南知多町の文化財の保存と活用に関する将来像>

「愛着と誇りをもてる歴史文化があるまち 南知多」

2. 文化財の保存と活用の基本目標

上記のようなまちの実現に向けて、本町が抱える文化財に関わる現状の問題点を解決し、保存と活用に関する将来像を実現するための基本目標を次のように定めます。

(1) 基本目標1 「基礎をつくる」

「基礎をつくる」とは、文化財を把握・整理・保存していくことです。

本町の文化財を総合的、計画的に保存・活用していく第1段階として、町内各所に所在する文化財を把握し、それらがどのような価値と魅力をもっているかを整理します。そして、必要に応じて文化財指定や登録をして保存につなげるとともに、防災・防火・防犯対策を行政・所有者・住民・住民団体・専門家等の連携の下で進めていきます。

(2) 基本目標2 「応用する」

「応用する」とは、把握・整理、保存した文化財の価値や魅力を、住民をはじめ多くの人々

に知ってもらい、文化財自体の価値や魅力をより高めるとともに、住民等の地域への愛着と誇りを育み、豊かな暮らしの実現につなげていくことです。

そのため、本町の文化財に関わる情報発信を一層強化・充実するとともに、文化財に触れる人たちに価値や魅力を十分に伝えられるような案内看板等の整備や、活用イベントを開催できる場所や機会の確保など、文化財を活用した方策をソフト・ハード両面から取り組んでいきます。また、文化財を活用したまちづくりを行い、地域の活性化に寄与していきます。

(3) 基本目標3「未来につなげる」

「未来につなげる」とは、文化財の活用をとおして、本町の歴史文化に愛着や誇りを感じ、その継承と振興を担う人材を確保・育成していくことです。

少子高齢化の進行や生活様式の変化等の影響により、歴史文化を受け継ぐ担い手や後継者が減少しているため、行政・所有者・住民・住民団体・専門家らが連携して保存・活用を担う仕組みづくりに取り組むとともに、それらを支える組織や財政面の支援などの持続可能な体制の構築を図ります。

3. 文化財の保存と活用に関する課題

本町の歴史文化を取り巻く現状およびこれまでの主な取り組み等を踏まえ、次の項目が文化財の保存と活用に関する主な課題として挙げられます。

(1) 「基礎をつくる」に関する課題

①調査・記録保存が不足

- ・これまで把握してきた文化財情報の消失や滅失、文化財のき損・所有者変更などの有無等に関する再調査や記録保存を行う必要があります。
- ・建造物の民家や古文書、歴史資料、有形・無形の民俗文化財、記念物などの調査・記録保存が十分とは言えない状況です。
- ・町内各所に所在する未指定文化財の把握に向けた新たな手法を講ずる必要があります。

②整理・評価が不足

- ・調査等で得られた成果、情報の整理・保管、体系的にまとめたデータの作成ができていません。
- ・各文化財が本町の歴史文化の中でどのように位置づけられるか、価値づけられるかという評価が十分にできていません。

③保管・管理が必要

- ・文化財の保管や管理について、財政的・人的に不足しているなど、文化財の現況に応じた計画的な保存・管理の推進に継続して取り組む必要があります。
- ・計画的な保存・管理のための体制や仕組みづくり、所有者への支援を行っていく必要があります。
- ・重要文化財の「旧内田家住宅」を中心にした内海船関連施設の保存を継続的に実施していく必要があります。
- ・専用の文化財収蔵・研究・公開施設がありません。

④文化財指定等が不足

- ・文化財指定等による保存・継承を積極的に行っていく必要があります。
- ・文化財指定等に至らない場合にあっても、町民にとって大切なものが失われないような対策を施していく必要があります。

⑤防災・防火・防犯対策が必要

- ・風水害や地震等の自然災害や人為的災害に対する文化財の防災対策が十分ではありません。
- ・災害発生時の対応について検討する必要があります
- ・建造物の耐震化や防災施設の設置・更新等による被害を最小限にとどめるための対策を講ずる必要があります。
- ・文化財の盗難や汚損、火災等によるき損の危険に対する事前対策を講ずる必要があります。
- ・文化財の防災・防火・防犯に対する住民意識を向上していく必要があります。
- ・行政および所有者、住民等による災害の危険性に対する意識の共有や連携体制が十分ではありません。
- ・安全で確実に文化財を保存できる施設がありません。

(2) 基本目標2「応用する」に関する課題

①情報発信が不足

- ・住民や来訪者に対する情報発信が十分ではありません。
- ・住民や住民団体等が地域の文化財を身近に感じ、価値や特性を正しく認識することができるような多様な情報発信が十分ではありません。

②案内看板や便益施設が不足

- ・老朽化した案内看板が見られます。
- ・駐車場や駐輪場、トイレなどの便益施設が少ない状況です。
- ・インバウンド対応としてのサインや案内の多言語化、先端技術を用いた再現や展示公開などにおいて、文化財の価値を損なわないことを前提とした来訪者等の満足度や利便性向上のための環境が十分ではありません。

③継続性のある活用イベントが不足

- ・活用イベントが一過性のものになりがちで、継続性のある形での実施に至っていません。
- ・住民や住民団体等が文化財を活用した活動ができるような機会や場所が不足しています。
- ・住民や住民団体等が文化財を活用した活動を行っていくにあたり、財政的・人的に不足しています。

④文化財を総合的に学ぶ場所・機会が不足

- ・住民や来訪者等が本町の歴史文化を学んだり体験できる場所や機会が不足しています。
- ・子どもたちを含む住民や来訪者等に本町の歴史文化を理解してもらいやすい方法を考える必要があります。
- ・住民や来訪者等が本町の歴史文化を総体的に体感できる施設がありません。

⑤文化財のまちづくりへの活用が不足

- ・地域の歴史文化や成り立ちを表す文化財の保存のほか、地域活性化やまちづくりのための活用方法を考える必要があります。
- ・高齢化などにより、活用を担うまちづくり団体等の存続が危ぶまれています。

(3) 基本目標3「未来につなげる」に関する課題

①担い手の確保・育成が必要

- ・住民の高齢化、人口減少等により、担い手の確保・育成への取り組みを進めていく必要があります。
- ・学校教育現場において、文化財に触れる機会が不足しています。
- ・子どもたちにとって、自分の住む地域の文化財を知る機会が少ないため、地域への愛着心や誇りに思う気持ちを十分にもてていない状況です。

②保存・活用の組織・体制づくりが必要

- ・文化財の保存・活用に関わる専門知識をもった職員が不足しています。
- ・文化財保護行政に係る予算が十分とは言えない状況です。
- ・文化財の保存や防災・防火・防犯対策を下支えする組織づくりと資金確保などに関する持続可能な体制や方策を検討していく必要があります。
- ・行政・所有者・住民・住民団体・専門家等が単独で行う取組みの重複や、それぞれの文化財に対する認識が異なっていることから生ずる価値基準の相違などにより、統一的な文化財保護対応策が不十分な状況です。
- ・核となって文化財保存・活用を実施する団体を確保する必要があります。

4. 文化財の保存と活用の方針

上記のような将来像と基本目標に向けて、本町が抱える文化財に関わる課題を解決し、保存と活用に関する方針を次のように定めます。

(1) 基本目標1「基礎をつくる」に関する方針

方針1-① 調査・記録保存の強化・充実

- ・建造物の民家や古文書、歴史資料、有形・無形の民俗文化財、記念物など調査が不十分な文化財や、把握調査から長い期間を経た文化財等について、文化財保護法が規定する文化財類型ならびに地域のバランスも考慮しながら、計画的な把握調査を推進し、継続的な調査成果の更新に努めます。
- ・町内各所に所在する未指定文化財の把握について、住民や住民団体、専門家等と連携し、調査を進めます。

方針1-② 整理・評価の推進

- ・調査等で得られた成果を継続的に保存・活用に活かすとともに、後世へと確実に受け継いでいくため、現物保存はもちろん、体系的な整理を行い一元的データベース化等の対応を進めます。

- ・調査等で把握した文化財の評価について、必要に応じて専門家の協力や意見を求めます。

方針1-③ 保管・管理の推進

- ・個別の文化財の長期的かつ計画的な保管・管理を行うにあたり、行政と所有者の連携を密にして継続的な支援を行うとともに、必要に応じて保存管理計画等の作成・更新についても支援します。
- ・所有者等が実施する文化財の保存整備事業について、国・県・町の補助制度及び民間団体の助成制度を活用し支援します。
- ・町が所有する重要文化財「旧内田家住宅」、国の登録有形文化財「旧内田佐平二家住宅」などの建造物を後世に残していくため、維持管理・修繕事業を継続して実施していきます。
- ・町内に残る文化財、調査記録類等を適切に保管・管理し、研究したり展示するための拠点となる施設の整備に努めます。

方針1-④ 文化財指定等の推進

- ・未指定文化財のうち、指定や登録する価値があると考えられるものについては、必要に応じて専門家の協力を得ながら調査研究を行い、指定目的を明確にしたうえで文化財保護委員会への諮問を経て、新たに文化財指定するなどの措置を講じます。また、指定等に至らないものについても適切に保存できるような措置を講じます。
- ・県指定以上の指定に相当すると考えられるものについて、愛知県県民文化局文化芸術課文化財室と協議し、国・県指定、登録に向けて価値を明らかにする調査を行います。

方針1-⑤ 防災・防火・防犯対策の推進

- ・愛知県が平成11年（1999）に刊行した『文化財の防災の手引き』をもとに、文化財の防災対策を進めるとともに、所有者等に周知することにより、防災意識の向上を図ります。
- ・地震や風水害による文化財の対応については「南知多町地域防災計画」（令和5年（2023）3月修正）に基づき、防災思想の普及や、管理者に対する指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ります。また、すでに把握している国・県指定の文化財については、所有者ごとに「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えることとします。また、応急的な対策として、被害発生時の現場保存や緊急的保存措置の指導を行い、火災・散逸などの二次災害防止に努めることとします。その他、災害時の対応として被害状況の把握・報告、事後措置の指示・伝達を行うこととしています。
- ・町内各地域で想定される風水害や地震等に対する備えとして、指定等文化財建造物の整備工事など必要な対策を検討するとともに、対策マニュアル等の作成を行うなど、平時からの文化財防災・防火の取り組みを推進します。
- ・各寺院などに安置されている仏像等の盗難、遺跡の崩壊や天然記念物の枯死などを防ぐため、定期的な見回りや写真撮影などを進めるよう広報等で周知するとともに防災・防火・防犯意識の向上に努めます。
- ・各地区やそれぞれの文化財所有者等の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化に努めます。

- ・所有者・地域住民等を対象として、文化財の防災・防火・防犯意識の高揚を図るため、継続的に訓練等を実施します。
- ・風水害や地震等の自然災害、盗難や火災等の人為的災害等の被害を防ぐため、貴重な文化財を適切に保存、収蔵できる施設を標高の高い場所や、津波・土砂・高潮などの自然災害が予測されていない場所に整備することを検討します。

(2) 基本目標2「応用する」に関する方針

方針2-① 情報発信の強化・充実

- ・広報紙はもちろん、ホームページやSNS、文化財アプリ等で本町の歴史文化の価値や魅力を発信するとともに、住民等に文化財に関する新たな情報提供を呼びかけます。
- ・地元ケーブルテレビなどの情報機関や地域情報誌、プレスリリースなどを積極的に利用して、より多くの情報を外部に発信していくよう努めます。
- ・地域の歴史文化とともに歩んできた社寺や受け継がれてきた文化財の魅力を再発見し、その発信を通じて住民等により身近に感じてもらう取り組みを推進します。

方針2-② 案内看板や便益施設の充実

- ・指定、未指定等を問わず主要な文化財の案内看板の新設・更新、ウォーキングコースの設定や歴史的建造物の公開、所蔵資料の展示など、本町の歴史文化の価値や魅力を伝えられるような方策を施します。
- ・駐車場や駐輪場、トイレなどの便益施設の整備を進めます。
- ・インバウンド対応としてのサインや案内の多言語化、先端技術を用いた再現や展示公開など文化財の価値を損なわないことを前提とした来訪者等の満足度や利便性向上のための環境整備を進めます。

方針2-③ 継続性のある活用イベントの実施

- ・文化財を使った各種イベントを開催します。参加する住民や来訪者が受け身にならないよう体験型のイベントも取り入れていきます。また、活用イベントが一過性のものにならないよう、将来的な人材・資金確保等も見据えた持続可能な形で活用していくための手法や体制を整えていきます。
- ・住民や住民団体等が文化財を活用した活動ができるような機会や場所を創出します。
- ・住民や住民団体等が文化財を活用した活動をスムーズに行えるよう、国・県・町の補助制度及び民間団体の助成制度を活用し財政的な支援を行うとともに、講師派遣等の人的な支援を行います。

方針2-④ 文化財を総合的に学ぶ場所・機会の創出

- ・住民や来訪者等が本町の歴史文化を感じられるよう、町主催の講演会や講座などを継続的に開催し、地域の歴史文化や文化財など、祖先から受け継がれてきたものを学ぶ機会を提供し、地域の歴史文化の価値や魅力を知ってもらったり、再発見できるよう努めます。
- ・学校教育において、児童生徒及び教職員が地域の歴史文化にふれる機会を増やし、地域の歴史文化を理解したり、地域への愛着心を育てることができるよう取り組みます。また、子どもたちが本町の歴史文化を理解しやすいような教材を作成します。

- ・住民や来訪者等が本町の歴史文化を総合的に体感できるような施設の整備を検討します。
- 方針 2-⑤ 文化財のまちづくりへの活用の推進
- ・住民が本町の歴史文化を学び、地域活性化やまちづくりに活かせるよう取り組みます。また、町内各区やまちづくり関係団体等が主催して開催する講座等の事業を支援するため、講師を派遣・斡旋します。
 - ・活用を担うまちづくり関係団体等が存続できるよう、各団体への助成を継続していきます。

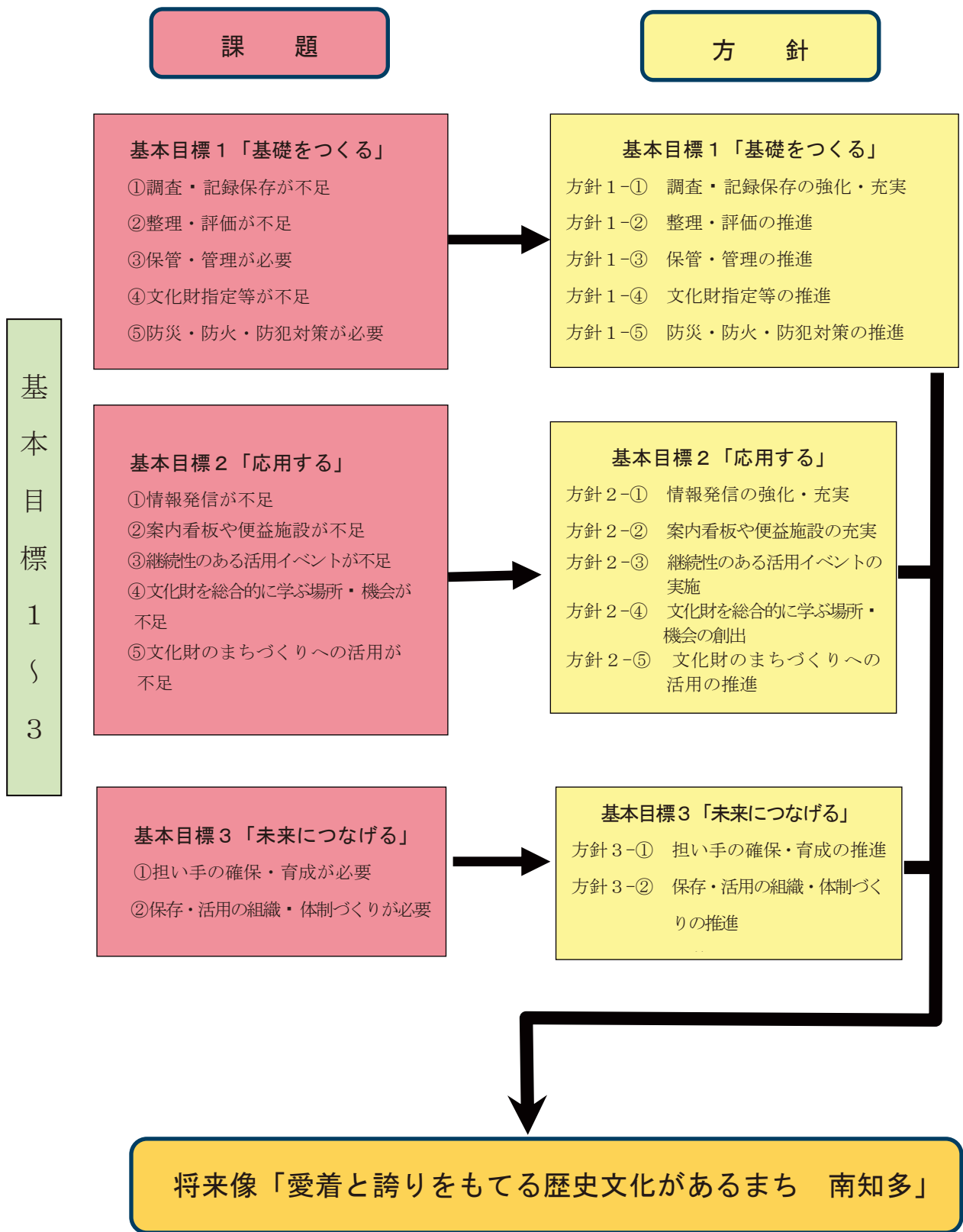
(3) 基本目標 3 「未来につなげる」に関する方針

方針 3-① 担い手の確保・育成の推進

- ・若い世代が文化財に携わる機会を継続的に維持・創出し、文化財の保存・活用の担い手を確保する取り組みを推進します。
- ・少子高齢化や新型コロナウイルス感染症などの影響を受けて祭礼や伝統行事の継承が危機的な状況にある場合は、学術研究機関と連携を取り、各地区の祭礼・伝統文化が良い形で継承されていくような対策を講じていきます。
- ・学校教育現場での文化財の活用を推進し、多様な世代の住民等が本町の歴史文化に愛着と誇りを持つ機会を継続的に創出します。
- ・小中学生を対象にした各地区の文化財ガイドマップ等の製作をすすめるとともに、来訪者等を案内できるガイドを育成していきます。そして、この事業を通じて子どもたちの地域への愛着心や誇りに思う気持ちを育てるとともに新たな担い手となるよう育成に努めます。

方針 3-② 保存・活用の組織・体制づくりの推進

- ・文化財保護行政担当課の体制を整え、文化財の保存・活用を推進するために、専門職員を確保したうえで、庁舎内各課室・各種団体との連携を強化し、文化財の保存・活用を図ります。
- ・文化財の保存と活用に伴う財源確保を着実にを行うとともに、新たな資金調達のあり方についても検討します。
- ・文化財担当課のみならず関係部署と連携・協力して事業を進めることで、多方面での予算確保に努めます。
- ・少子高齢化等により人口減少が進んでいる本町においても、他市町村同様に一部の決まった人に地域の役職が集中する傾向があり、歴史文化の保存や継承を担う上でも負担となっているため、個々の人の負担を増やさぬよう、本町の文化財・伝統行事などに関わって活動する団体のネットワーク化について検討します。また、文化財保存・活用に核となって取り組む団体を育成し、文化財保存活用支援団体の指定について取り組みます。



第7章 文化財の保存と活用に関する措置

本町の歴史文化の特徴、文化財の保存と活用に関する課題と方針を踏まえ、保存と活用に関する将来像の実現を目指し、本計画の計画期間である今後9年間で実施する措置（取り組み）を以下のおり設定します。そして、前章で示した保存と活用の3つの基本目標に対応するそれぞれの方針について、本町の文化財全般を対象とした措置を講じるとともに個別の措置を講じます。

これらの計画期間内に取り組む措置のうち、保存のため緊急性を要するもの、観光や地域振興など他分野と関連し取り組みの相乗効果等が期待できるもの、保存・活用を今後推進していくための土台づくりに資するもの等については、本計画における重点的措置として位置づけ、前期から取り組んでいきます。また、比較的緊急度の低い措置や他機関との調整が必要な措置については中期以降に実施することを検討します。なお、前期は令和6年度～8年度（2024～2026）、中期は令和9年度～11年度（2027～2029）、後期は令和12年度～14年度（2030～2032）とします。各措置の財源としては、町及び文化財所有者の自己資金のほか、国の各種補助金（文化庁補助金・デジタル田園都市国家構想交付金等）及び県の各種補助金を活用します。また、各種団体や企業等による補助金や寄付金等の民間資金等も活用しながら進めていく場合もあります。

取組主体のうち、「行政」は本町教育委員会社会教育課および関連課室を示します。「所有者」は、文化財の所有者および管理者を示します。「住民」は、当該地区住民とともに各区を示します。「住民団体」は、本町内の各地区まちづくり団体や観光ボランティアを含む、歴史文化に関する活動に関わる各種団体を示します。「学校」は学校の教職員、児童生徒、PTAなど学校教育に関わる全ての人を示します。「民間」は町内外の民間企業や関連団体等を示します。「専門家」は大学等研究機関のほか、公立私立の美術館、博物館等に所属する研究者等を示します。

1. 基本目標1「基礎をつくる」に関する措置

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
方針1-① 調査・記録保存の強化・充実						
1	調査・記録保存の実施	地域に所在する未調査の文化財や、把握調査後長期間を経た文化財等について調査し、記録保存していきます。	行政 所有者 住民団体 専門家	●	●	●
方針1-② 整理・評価の推進						
2	文化財の体系的な整理、データベースの構築・更新	文化財の調査成果を始めとする各種情報のデジタル化を行い、一元的なデータベースの構築・更新を行います。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	●
3	文化財の評価	総合的な観点で整理した文化財の評価や意義づけについて、必要に応じて専門家の協力や意見を求めながら進めます。	行政、 所有者 専門家		●	●

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
方針1-③ 保管・管理の推進						
4	文化財の保管における所有者等への人的支援	個別の文化財の長期的かつ計画的な保存・管理を行うにあたり、行政と所有者の連携を密にして継続的な支援を行うとともに、必要に応じて保存管理計画や保存活用計画等の作成・更新を支援します。	行政 所有者 専門家		●	●
5	文化財の保存における所有者等への財政的支援	所有者等が実施する文化財の保存整備事業について、国・県・町の補助制度及び民間団体の助成制度等を活用し支援します。	行政 所有者 民間 専門家	●	●	●
6	重要文化財「旧内田家住宅」、登録有形文化財「旧内田佐平二家住宅」の継続的な維持管理、修繕	文化財建造物を後世に残していくための維持管理・修繕等の事業を継続して実施していきます。旧内田家住宅や旧内田佐平二家住宅の修理にあたっては、地域文化財総合活用推進事業（地域のシンボル整備等）補助金等を活用して実施します。	行政 住民団体 専門家	●	●	●
7	文化財、調査記録類等の保管・研究拠点の整備の検討	町の歴史や文化に関する史資料や、記録を保存したり研究したりするための拠点となる施設の整備について検討します。	行政 所有者 住民 住民団体 民間 専門家			●
方針1-④ 文化財指定等の推進						
8	新たな文化財の指定等の推進	保存・活用のため新たに指定等が必要と判断される文化財について、文化財保護委員会の答申を受けて指定等（町指定）の措置を講じます。また、県以上の指定に相当すると考えるものについて、調査報告書を作成するなど価値を明らかにしたうえで、愛知県と協議していきます。	行政 所有者 専門家	●	●	●
9	指定等に至らない文化財の保存に関する方策の検討	文化財指定等には至らないまでも、本町の歴史文化の中で重要な文化財をリスト化し、散逸・消失しないような措置を施します。	行政 所有者 専門家		●	●
方針1-⑤ 防災・防火・防犯対策の推進						
10	文化財の防災・防火・防犯対策推進	愛知県が平成11年(1999)に刊行した『文化財の防災の手引き』をもとに、文化財の防犯・防火・防災対策を進めるとともに、所有者等に周知することにより、防災・防火・防犯意識の向上を図ります。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	●
11	「南知多町地域防災計画」に基づく文化財の保存・管理	所有者や管理者等に対する防災思想の普及や指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ります。また「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えます。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	●

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
12	防災・防火・防犯対策マニュアルの作成	想定される風水害や地震等に対する備えとして、指定等文化財建造物の補修工事や防災設備の設置など必要な対策を講ずるとともに、対策マニュアル等の作成を行うなど、平時からの文化財の防災・防火・防犯の取り組みを推進します。	行政 所有者 専門家	●	●	
13	定期的な文化財パトロールや写真撮影等による文化財被害の防止	文化財の盗難や遺跡の崩壊、天然記念物の枯死、所有者の諸事情による文化財の散逸などを防ぐため、定期的な見回りや写真撮影などを行うとともに、所有者、住民等の防犯・防災・防犯意識の向上に努めます。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
14	所有者の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化	各地区や所有者の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化に努めます。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
15	文化財防火等の訓練を通じた防災・防火・防犯意識の呼びかけ	所有者・住民等を対象として、文化財の防災・防火・防犯意識の高揚を図るため、継続的に訓練等を実施します。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
16	文化財保管・収蔵場所の確保	風水害や地震等の自然災害、盗難や火災等の人為的災害等の被害を防ぐため、貴重な文化財を適切に保管・収蔵できる施設を標高の高い場所や、津波・土砂・高潮などの自然災害が予測されていない場所に整備することを検討します。また、施設の整備ができるまでは、特に重要な文化財を町総合体育館内にて保管していきます。	行政 所有者 民間 専門家			●

2. 基本目標2「応用する」に関する措置

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
方針2-① 情報発信の強化・充実						
17	ホームページ、SNS等による歴史文化に関する情報発信	広報紙はもちろん、ホームページやSNS、文化財アプリ等で本町の歴史文化の価値や魅力を発信するとともに、住民等に文化財に関する新たな情報提供を呼びかけます。	行政 所有者 住民団体	●	●	●
18	民間企業等による歴史文化に関する情報発信	地元ケーブルテレビなどの情報機関や地域情報誌、プレスリリースなどを積極的に利用して、より多くの情報を外部に発信していきます。	行政 所有者 住民団体 民間	●	●	●

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
19	文化財保護への理解を深める講座や情報発信事業等の実施	地域の歴史文化とともに歩んできた社寺や受け継がれてきた文化財の魅力を再発見し、住民等により身近に感じてもらえるよう、講座の実施や印刷物・SNS・文化財アプリ等による情報発信に努めます。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家	●	●	●
方針2-②案内看板や便益施設の充実						
20	主要な文化財の案内看板の新設・更新	指定等文化財を中心に、来訪者が文化財について知ったり理解を深めたりすることができる案内看板を設置していきます。	行政 所有者	●	●	●
21	ウォーキングコースの設定、歴史的建造物や所蔵資料の公開等の実施と案内看板の設置	ウォーキングコースの設定や歴史的建造物の公開、所蔵資料の展示など、本町の歴史文化を体験したり身近に感じられるような方策を施します。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家	●	●	●
22	来訪者等の満足度や利便性向上のための環境整備	駐車場・駐輪場・トイレなどの便益施設のほか、インバウンド対応としてのサインや案内看板等の多言語化、先端技術を用いた再現や展示公開など、文化財の価値を損なわないことを前提とした来訪者等の満足度や利便性向上のための環境整備を進めます。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家		●	●
方針2-③ 継続性のある活用イベントの実施						
23	特色ある文化財活用イベント等の継続実施	文化財を活用して、本町の歴史文化の価値や魅力を知ってもらえる各種イベントを実施します。また、一過性のものにならないような方策を講じます。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家	●	●	●
24	文化財の活用場所の確保、機会の創出	行政・所有者・住民等の協力を得て、使っていない施設や空き家などを確保し、住民や住民団体等が文化財を活用して各種の活動ができるようにします。	行政 所有者 住民 住民団体 民間 専門家		●	●
25	所有者・住民団体等による文化財活用事業への人的支援	所有者や町内各区、各種団体が主催して開催する文化財活用イベント等の事業を支援するため、講師を派遣・斡旋するなどの人的支援を施します。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家	●	●	●
26	所有者・住民団体等による文化財活用事業への財政的支援	所有者や町内各区・各種団体が主催して開催する文化財活用イベント等の事業について、国・県・町の補助制度及び民間団体の助成制度を活用できるよう支援します。	行政 所有者 住民団体 民間 専門家	●	●	●

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
方針2-④ 文化財を総合的に学ぶ場所・機会の創出						
27	文化財について学んだり体験できる場所・機会の創出	住民や来訪者等が本町の歴史文化を身近に感じられるよう、文化財に触れられる場所や機会を継続的に提供します。	行政 所有者 住民団体	●	●	●
28	特色ある文化財活用講座・講演会等の開催	複数の文化財に触れることができる体験型の講座や講演会などを継続的に開催し、住民が地域の歴史文化や文化財など、祖先から受け継がれてきたものを学ぶ機会を提供します。	行政 所有者 民間 専門家	●	●	●
29	学校教育現場における文化財活用事業支援	児童生徒と教職員を対象にした郷土めぐりや研修会などを継続して実施していきます。	行政 所有者 学校 専門家	●	●	●
30	子ども向け教材の作成	子どもたちが本町の歴史文化を理解しやすいように、イラストや漫画等を用いた子ども向けパンフレット等の教材を作成します。	行政 所有者 学校 民間 専門家	●	●	
31	住民・来訪者等が本町の歴史文化を総体的に体験できる施設整備の検討	住民・来訪者等が地域の歴史文化や文化財など、祖先から受け継がれてきたものを学ぶ機会を提供し、地域の歴史文化の価値や魅力を知ってもらったり、再発見できる施設の整備を検討します。	行政 所有者 民間 専門家			●
方針2-⑤ 文化財のまちづくりへの活用の推進						
32	町内各区やまちづくり関係団体等の主催事業に対する人的支援	地域活性化やまちづくりを目的に町内各区やまちづくり関係団体等が主催して開催する講座等の事業を支援するため、講師を派遣・斡旋します。	行政 住民団体 民間 専門家	●	●	●
33	まちづくり関係団体の活動に対する財政的支援の継続	活用を担うまちづくり関係団体が存続できるように、各団体への助成を継続していきます。	行政 住民団体	●	●	●

3. 基本目標3「未来につなげる」に関する措置

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
方針3-① 担い手の確保・育成の推進						
34	文化財保存・活用の担い手確保の取り組み推進	若い世代が文化財に携わる機会を継続的に維持・創出し、文化財の保存・活用の担い手を確保できるよう取り組んでいきます。	行政 住民 住民団体 民間 専門家	●	●	●
35	住民団体等との連携による担い手の育成	各地区住民と専門家との連携により、失われる可能性のある伝統行事や伝統文化の記録保存・復元や参加者の減少が目立つ行事支援など、各地区の祭礼・伝統文化が良い形で継承されていくような対策を講じていきます。	行政 住民 住民団体 民間 専門家	●	●	●
36	学校現場における文化財を教材とする取組推進	学校教育現場での歴史教育や現地学習を通して郷土の歴史文化に触れる機会を継続的に創出します。	行政 所有者 住民 住民団体 学校		●	●
37	子どもガイド育成事業の推進	小中学生を対象に、町内の文化財を巡る事業を開催し、自分が住む地域への理解を深めるとともに、来訪者等を案内できるガイドを育成します。	行政 所有者 住民団体 学校 民間 専門家		●	●
方針3-② 保存・活用の組織・体制づくりの推進						
38	文化財専門職員の拡充・人材確保	文化財保護行政担当課の体制を整え、文化財の保存・活用を推進するために、専門職員を計画的に確保していきます。	行政	●	●	●
39	横断的な庁内体制の構築	文化財の保存・活用の取り組みを全庁的に推進すべく、文化財保護担当課および関係部署を交えた、庁内横断的な推進体制を構築します。また、職員対象の文化財に関する研修会を実施します。	行政	●	●	●
40	財源確保のための取組推進	各種補助金制度はもちろんのこと、クラウドファンディングの活用や民間企業との協働などにより文化財の保存・活用のための財源確保に努めます。	行政 所有者 民間		●	●
41	住民団体のネットワーク化推進	歴史文化の保存や継承において個々の人の負担を増やさぬよう、本町の文化財に関わって活動する団体のネットワーク化を図ります。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	
42	文化財保存活用支援団体指定の推進	多様な主体による文化財の保存・活用の取り組みを推進するため、支援団体となりうる団体の育成支援を行い、必要に応じて、文化財保護法第192条の2に定める「文化財保存活用支援団体」に指定します。	行政 住民団体 民間 専門家		●	●

第8章 文化財の防災・防犯

1. 災害の歴史

(1) 自然災害

本町においては、これまで大地震や台風等により大きな被害を受けていたことがわかっています。

地震被害では、安政元年（1854）11月に発生した安政大地震はマグニチュード8.4の大きなもので、本町にも1mを超す津波が押し寄せ、内海地区においては家屋の全壊や半壊が60戸以上に及んだといわれています。明治24年（1891）10月の濃尾地震もマグニチュード8.4の大きなものでした。本町における震度は6～7で、死者2人、全・半壊の家屋が300戸を超す被害がありました。昭和19年（1944）、20年（1945）には東南海地震（マグニチュード8.0）、三河地震（マグニチュード7.8）が立て続けに発生しました。本町における震度は5～6で0.4～0.9mの津波もあり、死者1人、全壊家屋等100戸以上、半壊家屋等約250戸の大きな被害がありました。

風水害の被害では、昭和28年（1953）の台風13号、昭和34年（1959）の伊勢湾台風（台風15号）による被害は特に大きなものでした。暴風と高さ2～3mの高潮により、台風13号では500戸以上の家屋が、伊勢湾台風（台風15号）では1,400戸以上の家屋が流出、全・半壊し、それぞれの台風で2,000戸以上の家屋が床上・床下浸水の被害に遭いました。文化財被害は、伊勢湾台風（台風15号）により、国指定天然



台風13号（昭和28年（1953））の被害状況（山海）

記念物の羽豆神社の社叢をはじめ、多くの文化財が被害を受けました。羽豆神社の社叢の被害はかなりひどく、社叢全体が壊滅的な被害を受け、暖地性照葉樹林の多くが失われました。その後少しずつ回復し、今ではウバメガシを中心に元に近い姿に回復しています。内海では、国指定文化財の旧内田家住宅の近隣家屋では胸くらいの高さまで浸水しましたが、旧内田家住宅では大きな被害を免れました。一方、内海の吹越をはじめ多くの地区で山車蔵や山車が被害に遭い、しばらくの間祭礼が中止されていましたが、昭和50年代以降徐々に再開されるようになりました。

災害の記録

書名	主な内容	発行者、編者	発行年月
昭和28年13号台風 海岸復興誌	台風被害状況及び復興の記録	愛知県	昭32.3
伊勢湾台風災害史	台風被害状況及び復興の記録	社団法人全国 防災協会	昭37.8
愛知県災害誌	県内の気象災害、地震、火災等	愛知県	昭45.3

(2) 火災被害

本町における指定文化財の火災被害は次の2件があります。

ア. 豊受神社（大井）の絵馬

昭和60年（1985）9月1日に発生した火災により、町指定文化財「絵馬」が掛けられていた拝殿の一部が焼損しました。当時拝殿は施錠されていましたが、拝殿北東隅の床下から出火し、絵馬が焼失しました。本町教育委員会は、報告を受けた後に絵馬の消失を確認し、指定解除を行いました。

イ. 正法寺（豊丘）の大般若経

平成9年（1997）12月24日に発生した火災により、町指定文化財「大般若経」が納められていた弘法堂が全焼しました。当時大般若経は唐櫃からびつに納められていて、消火のために放水された水をかぶったため、唐櫃は失いましたが、大般若経は一部を焼損したものの大部分は損傷を免れた状態で発見されました。本町教育委員会は、消火後すぐに焼け残った大般若経を町郷土資料館内に搬入し、乾いて紙同士が張り付いてしまう前に、館内の日が当たりにくい場所で広げ、日陰干しと泥落としの応急処置を施しました。その後、所有者である正法寺住職と幾度も協議を重ね、文化財指定内容を一部変更したうえで、愛知県と本町の補助金交付により復原することができました。



弘法堂の被害状況



焼損した大般若経

2. 文化財の防災・防犯に関する現状と想定されるリスク・課題

(1) 現状

本町内には社寺をはじめ地域の歴史を感じることでできる文化財が数多くありますが、無人となる時間帯もあり、安置されている仏像などが盗難等に遭う危険性は常にありま

す。また、我が国は、常に台風や地震といった自然災害の脅威にさらされていて、本町においても大きな台風の襲来や南海トラフ地震等の大地震により大きな被害を被る可能性があります。

「南知多町地域防災計画」（令和5年（2023）3月修正）では、所有者や管理者等に対する防災思想の普及や指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ることとし、平常時からの対策として国・県指定文化財の所有者ごとに「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不



文化財防火訓練（山海 岩屋寺）

意の災害時に備えることとしています。また、応急的な対策として、被害発生時の現場保存や緊急的保存措置の指導を行い、火災・散逸などの二次災害防止に努めることとしています。その他、災害時の対応として被害状況の把握・報告、事後措置の指示・伝達を行うこととしています。

本町では、町内に所在する国・県・町指定文化財の防火対策として、防火施設の点検を行うとともに、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて、所有者、管理者、近隣住民対象の文化財防火訓練を実施しています。なお、国・県指定文化財については、愛知県の指導の下で平成9年（1997）に防火台帳を作成し、文化財が保存されている建物の防火設備等を把握しています。

（2）今後想定される災害リスク

本町においては、多くの地点が土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域・高潮浸水想定区域に指定されていて、伊勢湾台風級の台風の襲来時などにおける被害が甚大なことが予測されています。また、津波災害警戒区域にも指定されており、町内の大部分の地点において震度7の揺れが想定される南海トラフ地震発生時には、沿岸部や川沿いの低地等において津波被害の危険性が認められています。平成26年（2014）に愛知県が公表した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」における理論上最大想定モデルの被害予測では、この地震における津波により1cm以上浸水する面積は最大で416haと想定しています。

一方、近年の火災については、平成30年度（2018）は14件、令和3年度（2021）は13件と多かったものの、他の年度は10件前後で推移しています。令和4年度（2022）の火災は6件あり、建物火災は4件でした。

近年、大きな台風や地震、火災による文化財の被害はありませんが、いずれもいつ発生してもおかしくない状況です。

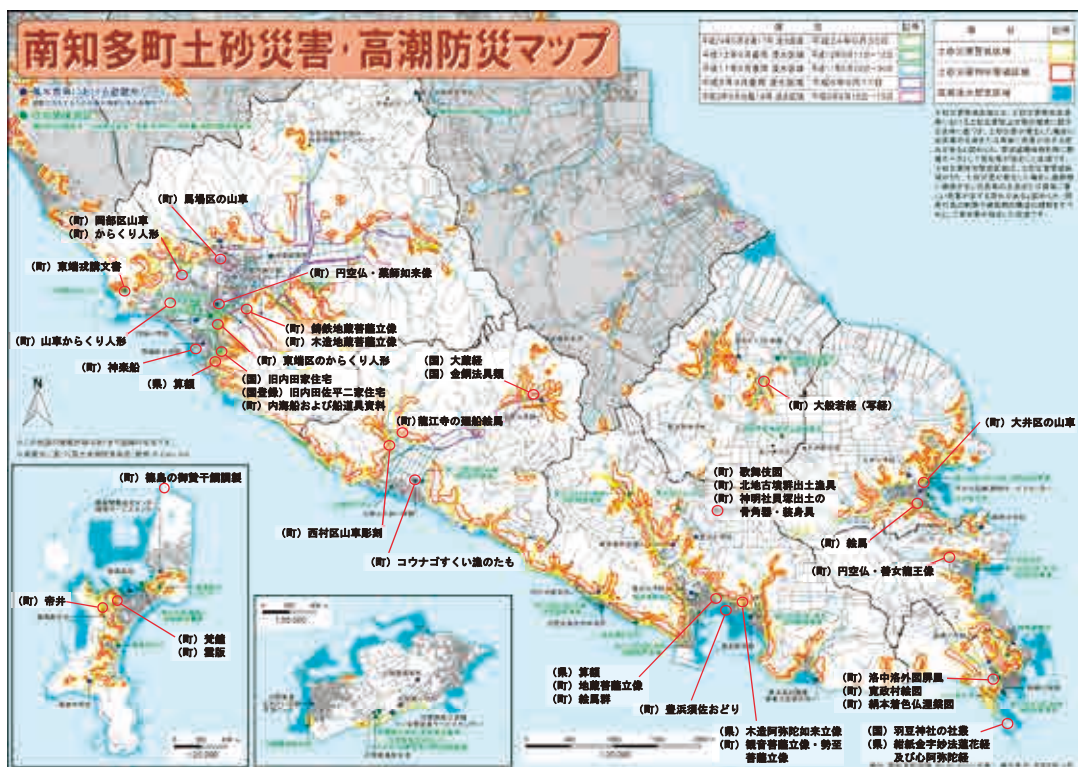
(3) 文化財の防災・防犯に関する課題

本町の指定文化財の中には、大きな台風や地震等に伴う風水害時浸水被害個所、土砂災害警戒区域、津波被害計画区域等に存在するものが多くあります。また、常に火災や盗難の危険があります。

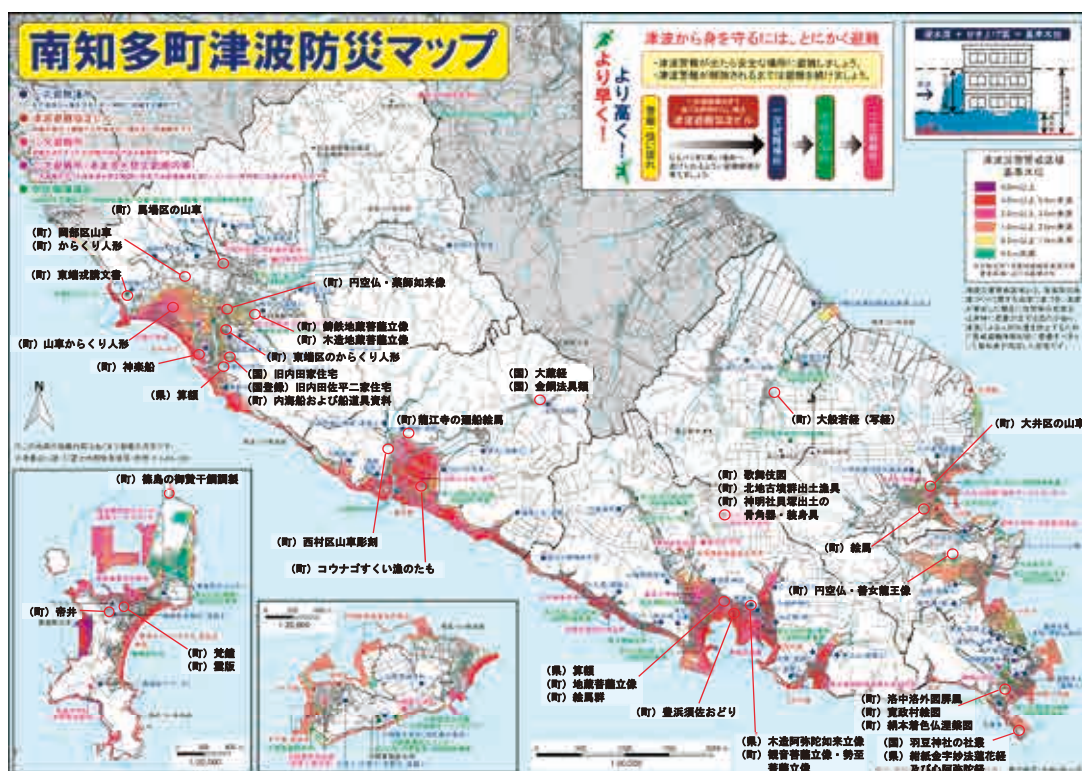
本町は、昭和時代に入ってからでも、台風や集中豪雨を始めとした風水害のほか、東南海地震・三河地震などの大地震等で大きな被害を受けた歴史があります。

近年、世界規模で異常気象や自然災害が頻発化・甚大化する傾向にあることから、今後も風水害の被害を受ける可能性は大きく、また、南海トラフ地震では、人口に占める死者の割合が県内でも突出しているなど、極めて甚大な建物被害・人的被害が予測されています。さらに、不意に起こる火災や危険物の爆発等による災害についても想定しておく必要があります。このため、これらの風水害や地震等の自然災害や人為的災害に対する文化財の防災対策の充実が求められる一方で、被害を最小限にとどめるために実施する建造物の耐震化や防災施設の設置・更新等は十分でなく、災害発生時の対応についても予め十分な対策を講じ切れていない状況です。また、近年日本各地で仏像を始めとした文化財の盗難や汚損、火災等によるき損の危険性は高まっていて、本町においてもいつ被害を受けるかはわかりません。

文化財の防災・防火・防犯に対する住民意識の向上や、地域において守るべき文化財を、地域住民が把握できていないという状況もあり、地域総がかりで防災・防火・防犯



南知多町土砂災害・高潮防災マップ (○は指定等文化財の現在の所在地)



南知多町津波防災マップ（○は指定等文化財の現在の所在地）

に取り組むためには、行政および所有者・住民等が災害の危険性を共有し、連携して対策に取り組む体制を確立していく必要があります。また、近年オークション等で、仏像など本来寺院が所有しているものが出品されている例が散見されるため、本町の歴史文化を知る上で重要な文化財が散逸しないような対策を講じておくことも必要です。

3. 文化財の防災・防犯に関する方針

文部科学省・文化庁では、これまで文化財防火運動の展開（文化財防火デー）や、建造物防災対策重点強化事業、美術工芸品防災施設事業などを通じて、国宝・重要文化財の防火などの対策を講じてきています。そして、平成31年（2019）に発生したフランスのノートルダム大聖堂の火災や、沖縄の首里城跡での火災を受けて、あらためて「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」（令和元年（2019）12月23日）を策定しました。これは、令和元年（2019）の「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」（令和2年（2020）12月改訂）、及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に点検結果を勘案したものです。愛知県においては、令和2年（2020）策定の「愛知県文化財保存活用大綱」で防犯・防災及び災害発生時の対応として、方針や具体的な取り組みを示しています。

以上を受け、本町では「南知多町地域防災計画」（令和5年（2023）3月修正）に基づき、本計画の「第5章 文化財の保存活用に関する現状」と「第6章 文化財の保存と活用に関する将来像・課題・方針」に以下のように記しています。（以下、再掲）

方針1－⑤ 防災・防火・防犯対策の推進

- ・愛知県が平成11年（1999）に刊行した『文化財の防災の手引き』をもとに、文化財の防災対策を進めるとともに、所有者等に周知することにより、防災意識の向上を図ります。
- ・地震や風水害による文化財の対応については「南知多町地域防災計画」（令和5年（2023）3月修正）に基づき、防災思想の普及や、管理者に対する指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ります。また、すでに把握している国・県指定の文化財については、所有者ごとに「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えることとします。また、応急的な対策として、被害発生時の現場保存や緊急的保存措置の指導を行い、火災・散逸などの二次災害防止に努めることとします。その他、災害時の対応として被害状況の把握・報告、事後措置の指示・伝達を行うこととしています。
- ・町内各地域で想定される風水害や地震等に対する備えとして、指定等文化財建造物の整備工事など必要な対策を検討するとともに、対策マニュアル等の作成を行うなど、平時からの文化財防災・防火の取り組みを推進します。
- ・各寺院などに安置されている仏像等の盗難、遺跡の崩壊や天然記念物の枯死などを防ぐため、定期的な見回りや写真撮影などを進めるよう広報等で周知するとともに防災・防火・防犯意識の向上に努めます。
- ・各地区やそれぞれの文化財所有者等の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化に努めます。
- ・所有者、地域住民等を対象として、文化財の防災・防火・防犯意識の高揚を図るため、継続的に訓練等を実施します。
- ・風水害や地震等の自然災害、盗難や火災等の人為的災害等の被害を防ぐため、貴重な文化財を適切に保存・収蔵できる施設を標高の高い場所や、津波・土砂・高潮などの自然災害が予測されていない場所に整備することを検討します。

4. 文化財の防災・防犯に関する措置（再掲）

No.	事業名	事業内容	取組主体	実施期間		
				前期	中期	後期
10	文化財の防災・防火・防犯対策推進	愛知県が平成 11 年（1999）に刊行した『文化財の防災の手引き』をもとに、文化財の防犯・防火・防災対策を進めるとともに、所有者等に周知することにより、防災・防火・防犯意識の向上を図ります。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	●
11	「南知多町地域防災計画」に基づく文化財の保存・管理	所有者や管理者等に対する防災思想の普及や指導・助言、防火・消防施設等の設置、文化財及び周辺環境整備などを通じて文化財の保全を図ります。また「文化財レスキュー台帳」を作成し、状況把握に努めるとともに情報を共有し不意の災害時に備えます。	行政 所有者 住民 住民団体 専門家	●	●	●
12	防災・防火・防犯対策マニュアルの作成	想定される風水害や地震等に対する備えとして、指定等文化財建造物の補修工事や防災設備の設置など必要な対策を講ずるとともに、対策マニュアル等の作成を行うなど、平時からの文化財の防災・防火・防犯の取り組みを推進します。	行政 所有者 専門家	●	●	
13	定期的な文化財パトロールや写真撮影等による文化財被害の防止	文化財の盗難や遺跡の崩壊、天然記念物の枯死、所有者の諸事情による文化財の散逸などを防ぐため、定期的な見回りや写真撮影などを行うとともに、所有者、住民等の防犯・防災・防犯意識の向上に努めます。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
14	所有者の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化	各地区や所有者の課題に応じた防災・防火・防犯体制の強化に努めます。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
15	文化財防火等の訓練を通じた防災・防火・防犯意識の呼びかけ	所有者・住民等を対象として、文化財の防災・防火・防犯意識の高揚を図るため、継続的に訓練等を実施します。	行政 所有者 住民 住民団体	●	●	●
16	文化財保管・収蔵場所の確保	風水害や地震等の自然災害、盗難や火災等の人為的災害等の被害を防ぐため、貴重な文化財を適切に保管・収蔵できる施設を標高の高い場所や、津波・土砂・高潮などの自然災害が予測されていない場所に整備することを検討します。また、施設の整備ができるまでは、特に重要な文化財を町総合体育館内にて保管していきます。	行政 所有者 民間 専門家			●

5. 文化財の防災・防犯の推進体制と体制整備

文化財の損失を未然に防ぐ対策とともに、災害発生時における迅速な対応がより重要であることから、本町においては、文化財保護担当課に該当する社会教育課が主体となって、所有者・住民・住民団体のほか、知多南部消防組合・各地区自主防災組織・役場関係課室等とともに防災・防火・防犯対策を進めていきます。

そして、災害被害発生時のみならず、所有者の意識高揚のため、平時より、共同訓練等の定期実施などを通じて、これら関係機関等との連携の構築および強化を図り、防災・防火・防犯対策を一層推進していきます。

また、本町に存在する文化財について、自然災害や火災、盗難等が発生した場合には、以下の手順、内容で迅速な対応にあたることとします。また、必要に応じて半田警察署等へ届け出るとともに、国・県指定文化財および国の登録文化財にあつては文化庁および愛知県へ報告し、その指示・助言を仰ぐこととします。なお、被害が特に甚大で緊急性があると認められるときは、愛知県を通じて文化財防災センターに文化財レスキューや文化財ドクターの派遣を要請し、被災した文化財の一時避難や応急処置、状況調査や復旧等に努めていきます。

★災害・被害発生

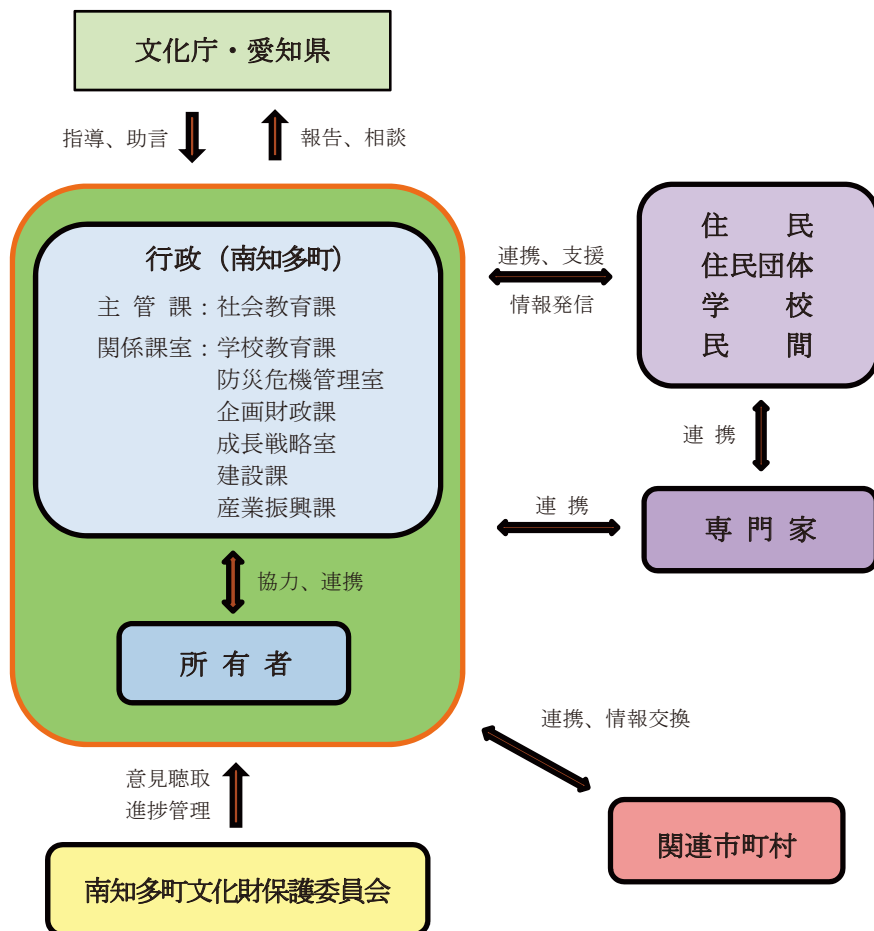
- ①発見者（所有者・住民等）から半田警察署・知多南部消防組合等へ通報
- ②町教育委員会による状況確認（現場確認、所有者等の聞き取りなど）
- ③半田警察署・知多南部消防組合等へ被害報告（必要に応じて）
- ④文化庁・愛知県文化芸術課文化財室へ報告およびき損届の提出（国・県指定等文化財の場合。指示・助言等を受ける）
- ⑤所有者と修復等に関する協議
- ⑥修復等に関し専門家に指導を受ける
- ⑦文化庁、愛知県文化芸術課文化財室へ現状変更許可申請書の提出（国・県指定等文化財の場合）
- ⑧修復作業
- ⑨文化庁・愛知県文化芸術課文化財室へ現状変更終了届の提出（国・県指定等文化財の場合）

第9章 文化財の保存・活用の推進体制

1. 文化財の保存・活用の推進体制

本計画で定める歴史や文化財の保存・活用に関する措置は、文化財保護の担当課である社会教育課が中心となり、文化財保護事業の企画・立案・運営を行っていきます。なお、事業の企画・立案については、南知多町文化財保護委員会の意見を聴取し、行っていくこととします。また、文化財を活用して行う様々な施策については庁内関係課室と情報を共有し、課室をまたいだ意見交換や検討を行うなど、本計画の推進についても関係課室間の連携を密にした取組みを進めていくこととします。

庁内における以上のような取り組みの中、社会教育課は文化財の「所有者」（文化財の所有者及び管理者）と連携、協力し合い、保存・活用に努めていくこととします。そして、保存・活用の推進に当たり、「住民」や「住民団体」（南知多郷土研究会、みなみちた観光ボランティアガイド、各地区まちづくり団体等の町内住民団体）のほか、「学校」（学校教職員、児童生徒、PTA等）、「民間」（民間企業・民間団体等）、「専門家」（大学等研究機関、美術館・博物館等に所属する研究者等）などの他機関と連携をとり進めて



南知多町の文化財保存・活用の体制図（令和5年4月現在）

いくこととします。なお、措置の実施にあたっては、南知多町文化財保護委員会による進捗管理の下で意見を求めながら進めることとし、文化庁及び愛知県の指導や助言の下で進めていくこととします。

南知多町役場における文化財の保存・活用に関する体制・組織

(令和5年(2023)4月現在)

南知多町役場			
部	課室	専門職員数(人)	文化財関係事務分掌
教育委員会	社会教育課	0	文化財の保存・調査研究・活用に関すること
	学校教育課	0	小中学校における文化財に関する学習に関すること
総務部	防災危機管理室	0	文化財の防災・防火・防犯に関すること
	企画財政課	0	総合計画に関すること、文化財保護の予算に関すること
	成長戦略室	0	文化財を活用した地域活性化、まちづくりに関すること
建設経済部	建設課	0	都市計画・都市景観に関すること
	産業振興課	0	文化財を活用した産業振興・観光振興に関すること
附属機関			
南知多町文化財保護委員会		—	町の文化財保護施策に対する指導・助言、本計画の進捗管理に関すること

2. 体制整備の課題・方針

本町は小規模な自治体で、学芸員資格を有し文化財に対する専門知識を持った職員はいるものの一般職採用で、財政上の理由から専門職員の確保が非常に難しい現状があります。このことが、貴重な地域の文化財の現状把握や、郷土資料の整理・データ化等をすすめられない状況に繋がっているともいえます。

このような状況の中、本計画を推進していくためには、専門知識を有した職員の雇用、ないしは人材育成が望ましいと思われませんが、それまでの間は住民団体や専門家、愛知県等との連携を深め、専門的知見による指導や、調査研究の実施を進めていく中で、担当職員が文化財保護に関する見識を深めていく機会を増やすなど、一般行政職員であったとしても、必要なアドバイスを外部から得られる体制を作り、その体制を継続していく必要があります。

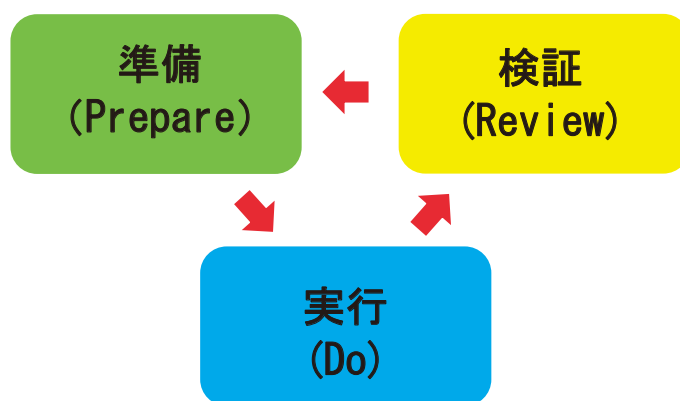
また、庁内関係課室の体制については、町総合計画の下、各種関連計画の作成など、横断的な情報共有、協議を積極的に進めていく方針の下で、文化財の保存・活用に関する諸施策についても、関係課室間での協議を進め、協力し合いながら進めていくこととします。

そして、このような体制を通じて、庁内の様々な課室で行う歴史や文化財に関連する事業について、関係職員が同じ目的・意識をもって取り組んでいくことが可能となり、他課室の担当者に歴史や文化財に対する関心や理解を浸透させていくことが期待できるものと考えています。

そして、庁外においては、庁内で検討した文化財の保存と活用に関する事業について、所有者の理解と協力の下、関係する住民や住民団体・民間企業・民間団体等と連絡を密にし、本町の歴史や文化財をめぐる諸施策に様々な面での協力を求め、ともに取り組む体制を継続していくことが必要と考えています。

3. 進捗管理と評価の方法

地域計画の進捗管理と評価にあたっては、計画や各事業について準備 (Prepare)、実行 (Do)、検証 (Review) からなる P D R サイクルによる継続的改善を図り、本計画に掲げる将来像の実現に努めます。



(1) 準備

本計画に基づく文化財の保存と活用に関する措置を実行するにあたり、文化財担当課である社会教育課は何を目的に行うかを明確にした上で、事前に行っておくべき手続きや打合せを行い、具体的な手順の確認や必要な物品等を準備します。

(2) 実施

社会教育課は、各事業の実施にあたり必要に応じて庁内関連課室や住民・専門家などと連携をとって、あらかじめ決めておいた手順に従って事業を実施していきます。

(3) 検証

社会教育課は、事業実施当該年度において各事業について実施した結果を振り返ります。そして当該年度における各事業の実施結果を南知多町文化財保護委員会に報告し、意見を求めます。社会教育課は文化財保護委員会の意見を踏まえ、次の事業を確実にを行うための準備を行っていきます。

4. 関連市町村との連携

現在、本町は知多地方文化財保護委員会連絡協議会や愛知県史跡整備市町村協議会に加盟し、知多地区5市4町など加盟する市町村と情報交換・事業協力等を行っています。知多地区の市町を始めとする近隣市町においては歴史文化が共通する部分もあり、この連携体制は本町にとって事業効果を高めています。

本町は、伊勢湾と三河湾の海上交通の要衝に位置していることから、海の道で他地区とつながってきた歴史があります。このようなつながりの中で、統一的なテーマによる文化財公開事業や講演会、現地見学会等を実施し、広域的な観点で文化財の魅力や価値を発信し、地域振興・観光振興に結びつけていくことを促進していきます。

南知多町文化財保存活用地域計画（資料編）

1. アンケート調査結果
 - （1）住民アンケート集計（令和3年度）
 - （2）説明会参加者アンケート集計（令和3年度、令和4年度）
2. 未指定文化財一覧

令和5年12月

愛知県知多郡南知多町

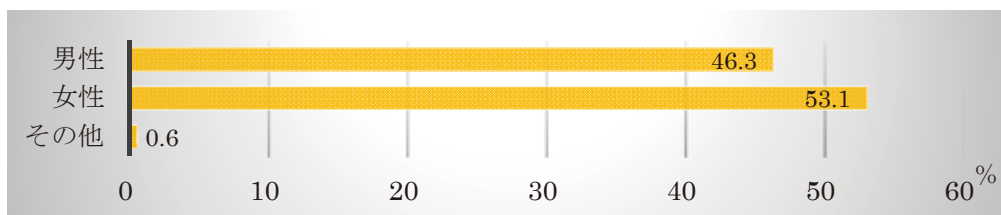
文化財保存活用地域計画 住民アンケート集計

実施期間 令和3年11月～12月

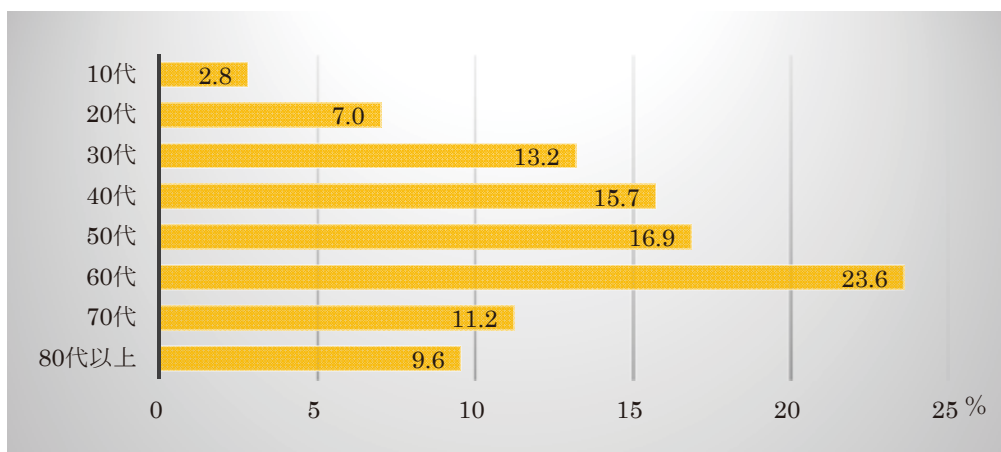
調査方法 1,200名（各年代別200名を無作為抽出）へのアンケート調査

回答結果 回答者356名（29.7%）

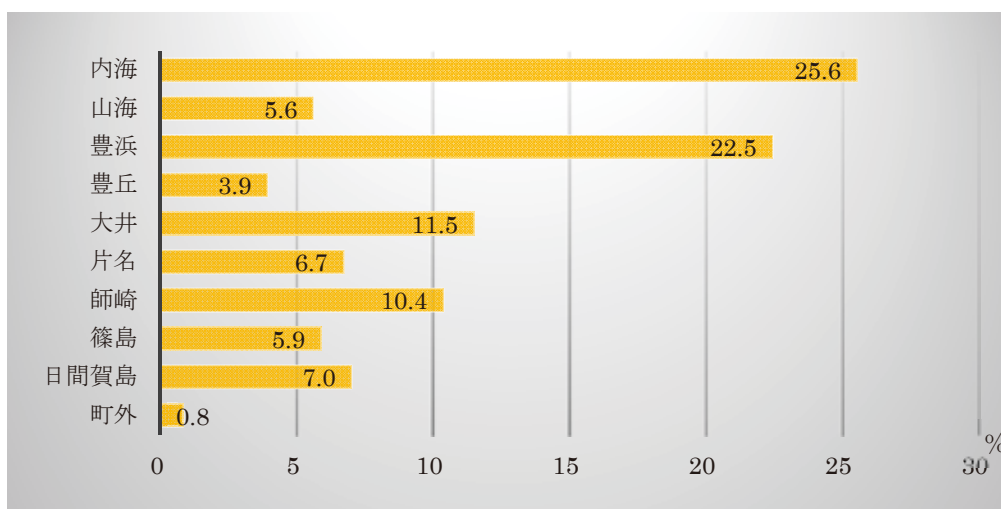
【問1】あなたの性別について（回答は1つ）



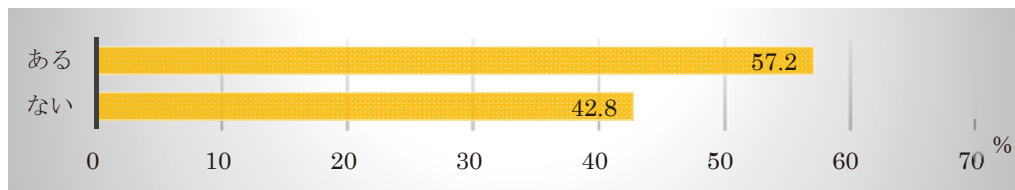
【問2】あなたの年齢について（回答は1つ）



【問3】あなたのお住まいの地域（実際に生活されている地域）はどちらですか。（回答は1つ）

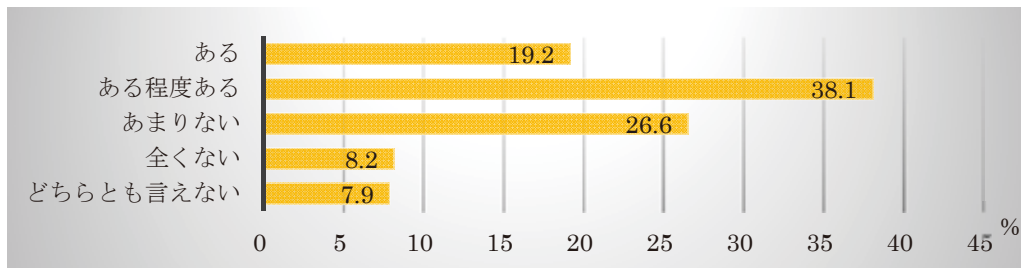


【問4】あなたは、南知多町以外での居住経験がありますか。ある場合は通算年数も教えてください。 (回答は1つ)



居住年数	5年以下	6～10年	11～15年	16～20年	20～25年	26～30年	30年以上
人数(人)	72	30	5	15	23	28	19

【問5】あなたは、南知多町の歴史や自分たちの祖先の暮らし、祖先から受け継がれてきたものに興味や関心がありますか。 (回答は1つ)



【問6】南知多町の歴史や文化、自分たちの祖先の暮らし、祖先から受け継がれてきたもののなかで、あなたが大切に思っていたり、失いたくないと思うものがあれば教えてください。

主な回答

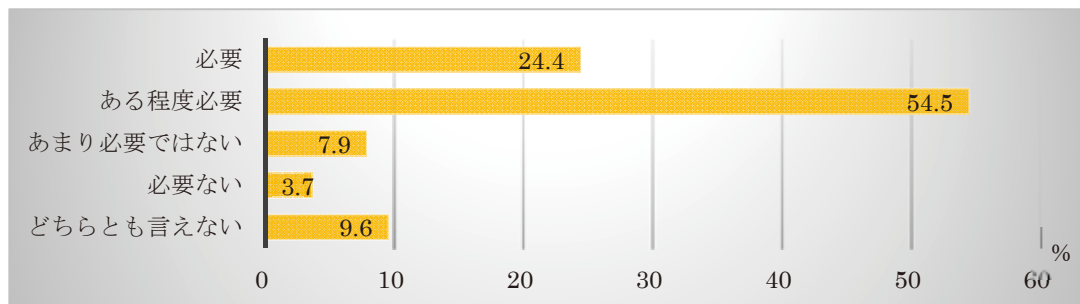
項目	具体例
自然・景色	海、海岸線、砂浜、岩場、千鳥ヶ浜、前浜、つぶてヶ浦、山々、羽豆岬、松島、島の自然、貝がら公園、朝日・夕陽、田園風景、里山 など
社寺・信仰	羽豆神社、入見神社、神明神社、八王子社、日間賀神社、熊野神社、豊受神社、林若子神社、秋葉神社、土御前社、中洲神社、白菊稲荷、岩屋寺、奥之院、神護寺、極楽寺、正衆寺、浄土寺、長心寺、妙音寺、知多四国霊場、墓など
祭礼・伝統行事	鯛まつり、羽豆神社の大名行列、春の祭礼(内海、豊丘)、左義長、篠島の祭礼、御幣鯛、伊勢音頭、須佐おどり、盆踊り、師崎音頭、ほうろく流し、神楽船、ぎおん祭り、28社めぐり、大井の夏祭り など
遺跡	つぶてヶ浦、大井烽火台、日間賀島の古墳群、先苺貝塚、帝井、清正の枕石、千賀家、内田佐七家、内海の四天王、大石様、羽豆崎城跡、唐人お吉像、内海の旧道、石碑、聖崎公園 など
その他	方言、食文化、船・漁法、魚市場、漁港、魚介類、伝説、師崎層群、花火大会、イルミネーション、餅まき、町民の大らかさ・勢い など

【問7】あなたが普段食べている料理の中で、ご自分がお住まいの地域にしかないと思うものや他の地域の人に教えてあげたいと思うものを教えてください。

主な回答

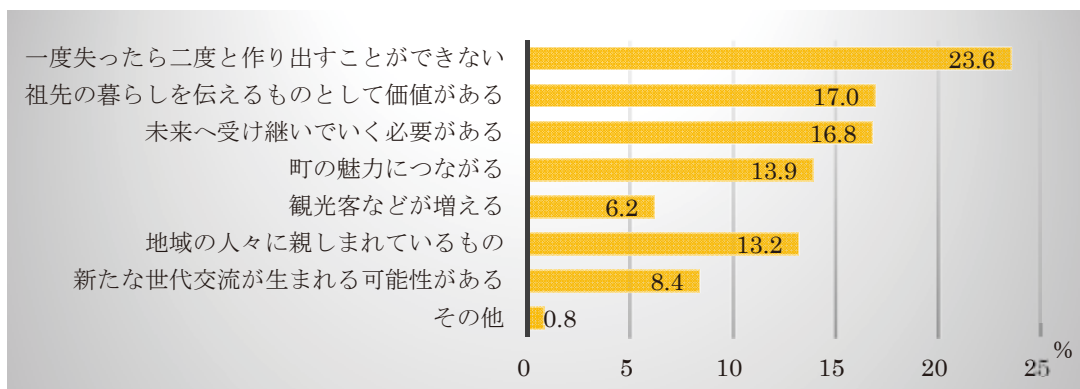
項目	具体例
味噌料理	みそ焼き、みそ煮、みそしゃぶ、みそ汁、わかめみそ など
えび料理	アカシャエビのからあげ、エビフライ など
かに料理	ワタリガニの素麺、ワタリガニの醤油煮、ワタリガニの佃煮 など
シラス・コウナゴ料理	シラスのくぎ煮、コウナゴのくぎ煮、シラスみそ、コウナゴみそ、シラスの天ぷら、シラスのみそ煮、釜揚げシラス、シラス丼、生シラス など
イワシ料理	イワシの刺身、イワシの干物、イワシのみそ汁、イワシのぬた など
ワカメ料理	ワカメみそ、ねかぶ汁、ワカメのみそしゃぶ、ワカメのみそ汁、ワカメの茎の天ぷら など
海鼠腸	海鼠腸、海鼠腸汁
もずく	もずく汁、もずくのみそ煮、もずくみそ など
その他	ちから煮、大あさり、めじろ、島のり、干物、にし汁、たこ料理、ふぐ料理、しゃこえび、ところ天、わけぎ煮みそ、和菓子 など

【問8】あなたは祖先から受け継がれてきたものを保存し次世代に継承していくことは必要だと思いますか。(回答は1つ)

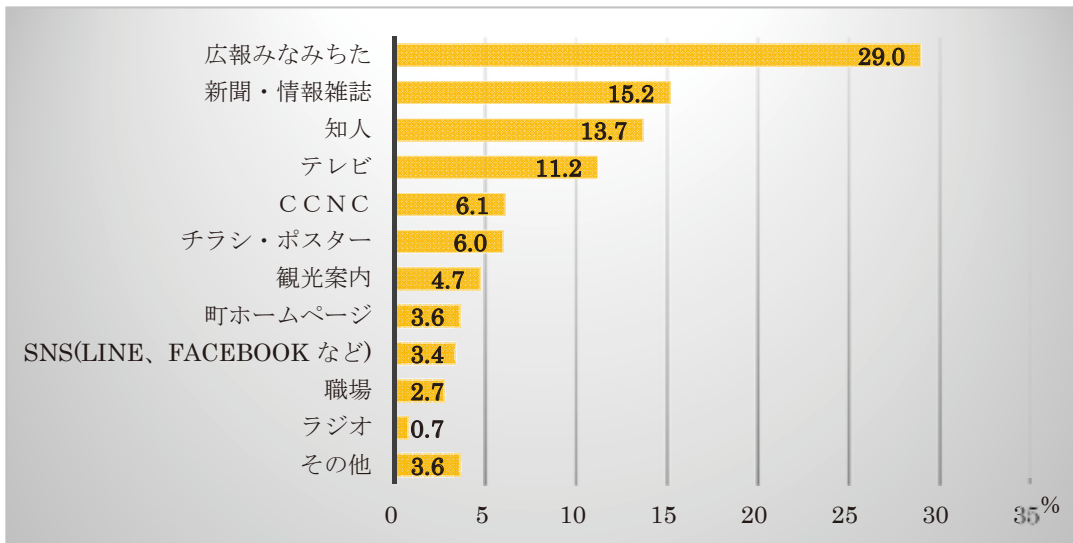


【問9】問8で「必要」「ある程度必要」と答えた方にお聞きします。

そう考える理由を次から選んでください。(回答は3つまで)



【問10】あなたは、町の歴史や文化、祖先から受け継がれてきたものなどに関する情報をどこで見たり、聞いたりすることが多いですか。（回答は3つまで）



【問11】本町教育委員会では、町の歴史や文化、祖先から受け継がれてきたものなど歴史的資産を活用していくため、下記のような取り組みを行っています。これらの取り組みについてどう思いますか。（回答は1つ）



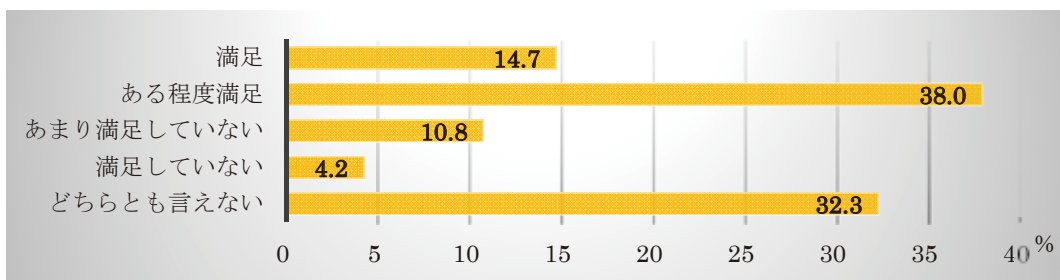
▲南知多文化遺産ナビ、QRコード



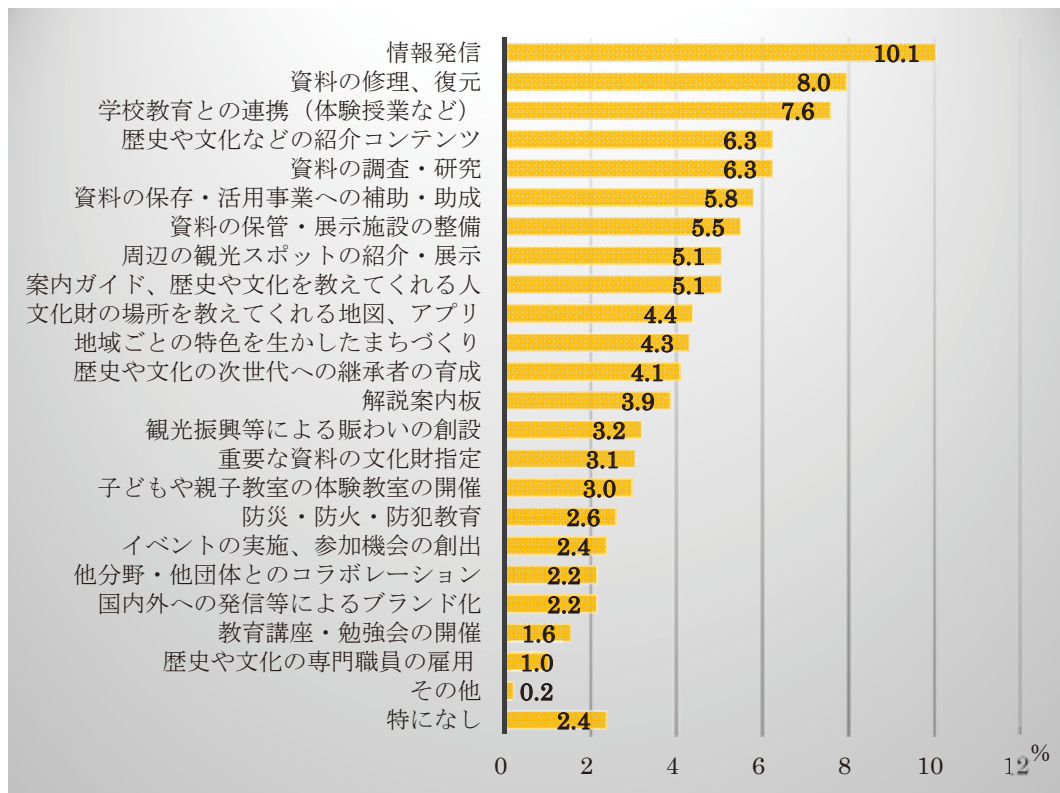
▲重要文化財「旧内田家住宅」(内海)



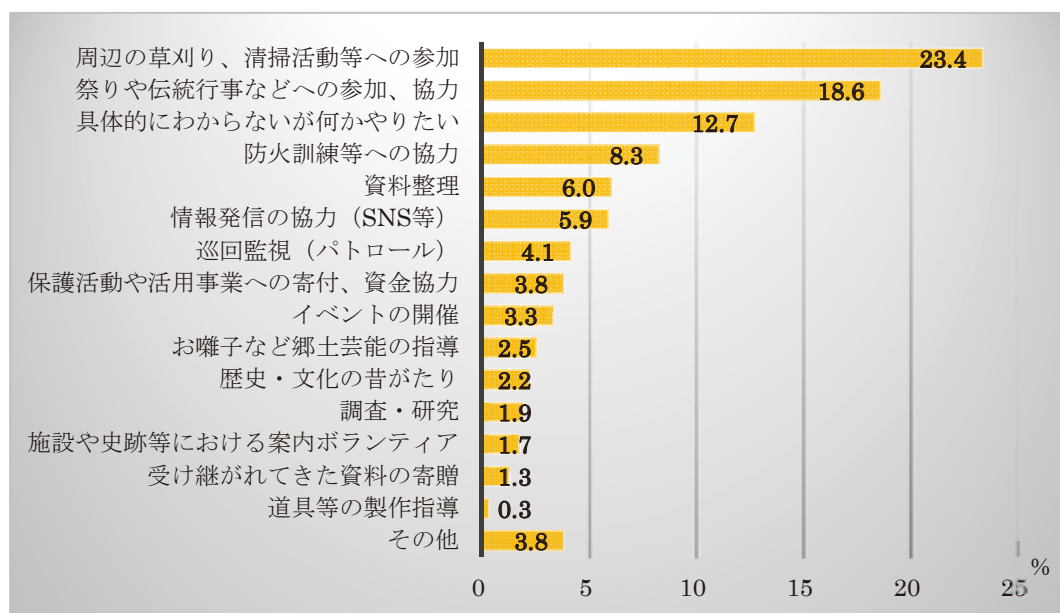
▲文化遺産カード(神護寺)



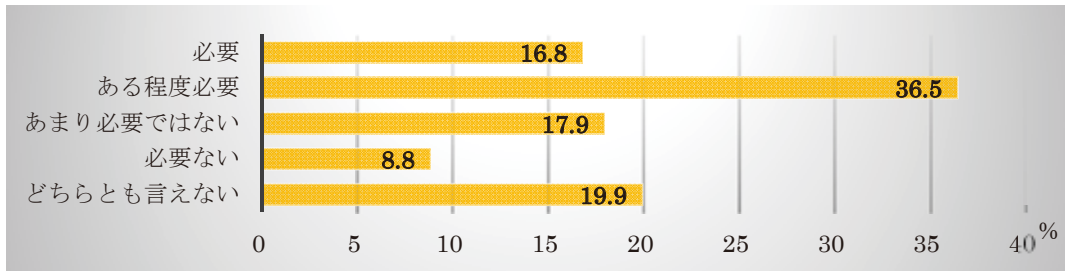
【問12】 今後、町の歴史や文化、祖先の暮らしなどに関する資料を保存し、活用していくにあたり何が必要と思いますか。(回答は5つまで)



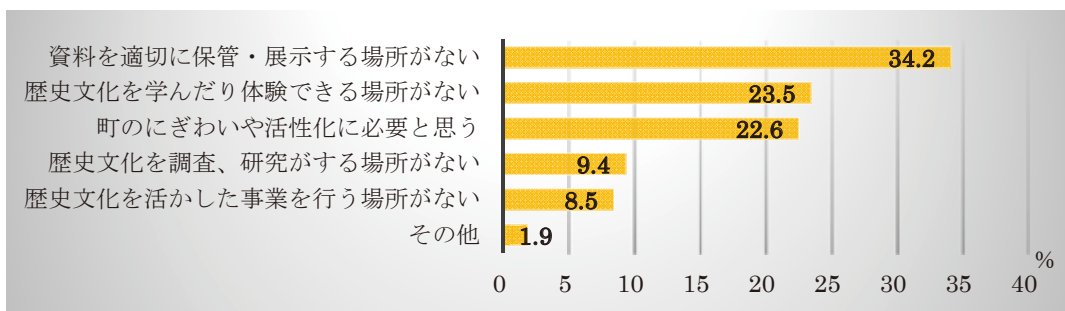
【問13】 祖先から受け継いできたものを保存し、次世代に適切に継承していくために、次の中であなたが協力できることがありますか。(回答は3つまで)



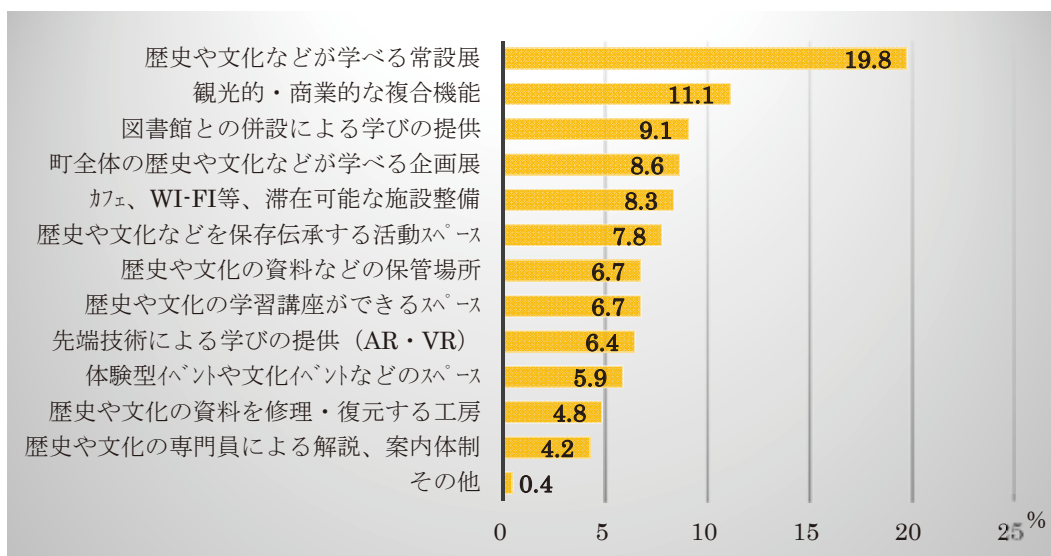
【問 1 4】 祖先から受け継がれてきた各種資料を保管、展示していた南知多町郷土資料館（昭和 39 年建設）については、建物老朽化のため平成 29 年度に取り壊し、現在は山海ふれあい会館で資料を保管しています。今後、町全体の歴史や文化の学習の場となり、まちのにぎわいや活性化への活用が期待される新たな施設整備について必要であると思いますか。（回答は 1 つ）



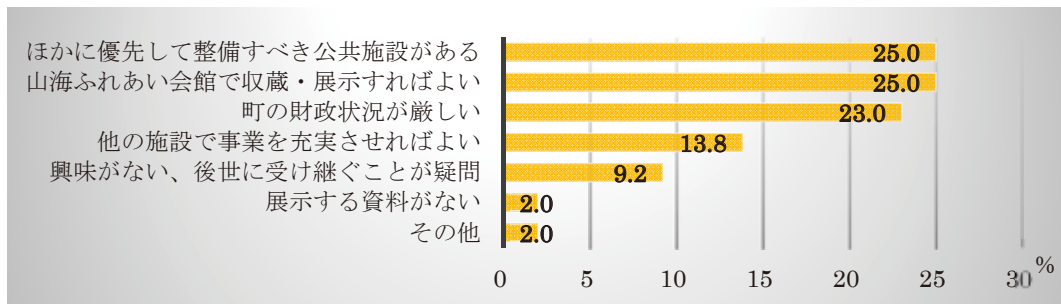
【問 1 5】 問 1 4 で「必要」「ある程度必要」と答えた人に聞きます。その理由を教えてください。（回答は 2 つまで）



【問 1 6】 問 1 5 で「必要」「ある程度必要」と答えた方に聞きます。新たな施設に必要なと思う機能について教えてください（回答は 5 つまで）



【問17】問14で「必要ではない」「あまり必要ではない」と答えた人に聞きます。その理由を教えてください。(回答は2つまで)



【問18】町の歴史や文化、祖先から受け継がれてきたものなどを次世代に受け継いでいくことについて、あなたが不安に思っていることがあれば、ご自由にお書きください。

主な意見

項目	具体例
人口減少	人口減少、少子化、高齢化、若者の減少、若者が住みづらくなっていること、後継者不足、祭礼の参加者減少、祭礼への住民の強制参加、歴史や文化を継承する人の負担増 など
人の意識	ムラ意識が残っている、昔の良い教えが失われていく、歴史や文化に関心のある人の減少、受け継ぐことの大切さに気づいていない、世代交代による意識の変質、意欲低下 など
機会・場	受け継いでいく話し合いの場、歴史や文化に触れる場の不足、展示・保管施設がない、若者が歴史や文化を知る機会がない、歴史や文化を知っている高齢者の減少、昔のことが正しく受け継がれているか疑問 など
財政	町の財政状況、施設の維持管理費、税金の投入先が疑問、文化財保存費用増加 など
環境	自然破壊、環境破壊、太陽光発電の増加、畑の耕作放棄 など
情報	大げさな情報提供、口伝による情報の劣化、自然と目に入る情報が少ない など
その他	新型コロナウイルス感染症の影響、方言がなくなっていく など

【問19】最後に、町の歴史や文化、祖先から受け継がれてきたものなどを保存し活用していくことに関して要望やアイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。

主な意見

項目	具体例
施設等整備	資料の保管・展示施設、交通機関、商業的複合施設、エンタメ施設、レンタルステーション、ウォーキングコース、長時間滞在できる施設、プロジェクションマッピング など
イベント	ウォーキングイベント、学習講座、多世代のディスカッション、アニメとのコラボレーション、バスツアー、文化遺産フォトコンテスト、文化遺産カードを活用した記念品の配布や店頭割引 など
機会・場	小中学生が地域の歴史や文化を学べる場、社寺の活用、町内文化財を知る機会、町全体で取り組む文化財保護、地域住民・子どもたちが利用しやすい雰囲気づくり など
情報	歴史や文化・暮らしなどについて記した「町内各地の一覧表」、SNS等の活用、YouTuberによる情報発信、公用車による宣伝、フォトコンテスト作品の発信 など
人材	専門職員の確保 など
記録作成	歴史や文化の記録映像の作成と活用、高齢者等の音声記録 など
財政支援	文化財保存・活用事業への助成金拡充 など
その他	温故知新、安気に暮らせるまちづくり、太陽光パネル設置反対 など

文化財保存活用地域計画 説明会参加者アンケート集計

《第1回》

実施日 令和4年2月6日（日）

調査方法 説明会参加者（77名）へのアンケート調査

回答結果 回答者60名（77.9%）

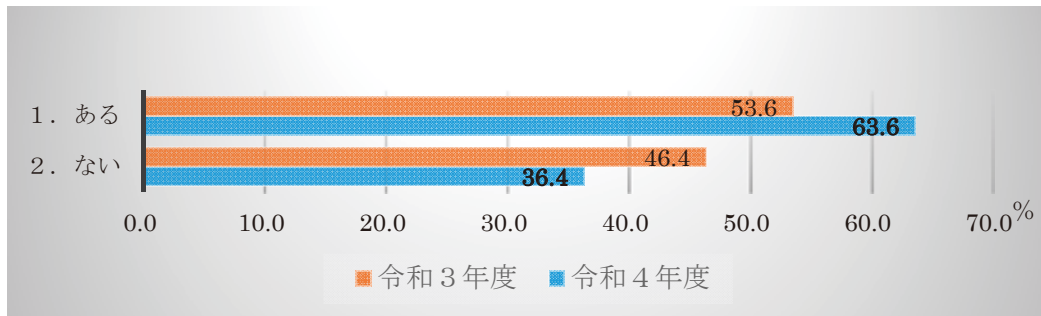
《第2回》

実施日 令和4年11月19日（土）

調査方法 説明会参加者（41名）へのアンケート調査

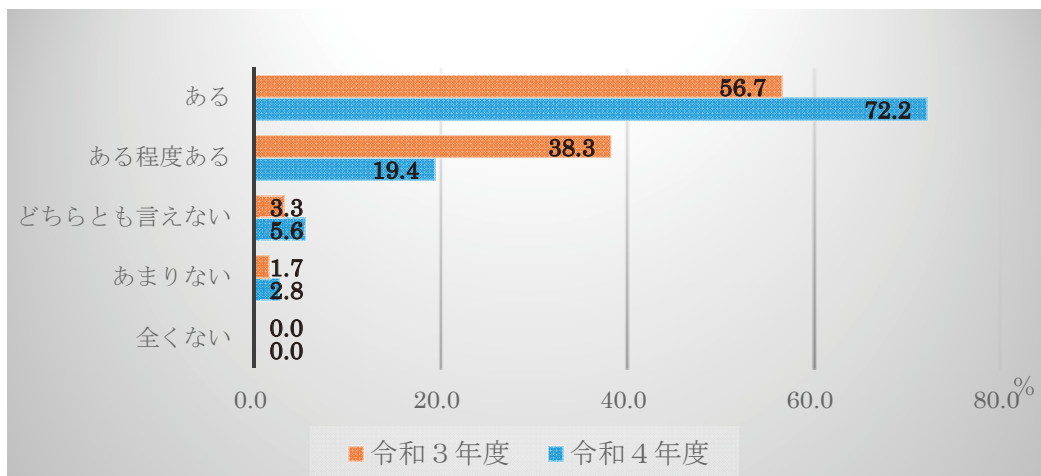
回答結果 回答者37名（90.2%）

【問】あなたは、南知多町以外での居住経験がありますか。ある場合は通算年数も教えてください。（回答は1つ）

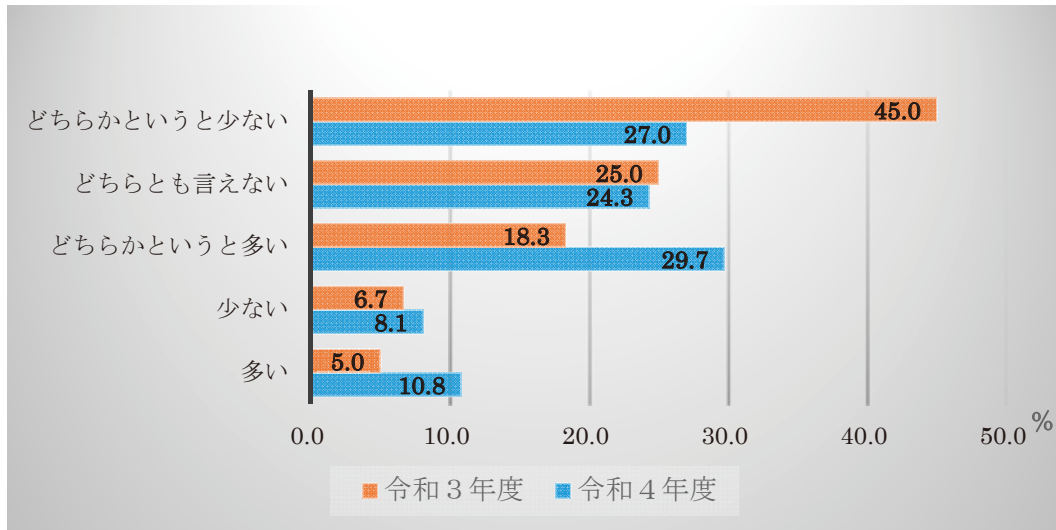


居住年数	5年以下	6～10年	11～15年	16～20年	20～25年	26～30年	30年以上
R3年度	4人	3人	2人	2人	1人	1人	16人
R4年度	1人	5人	1人	3人	4人	2人	6人

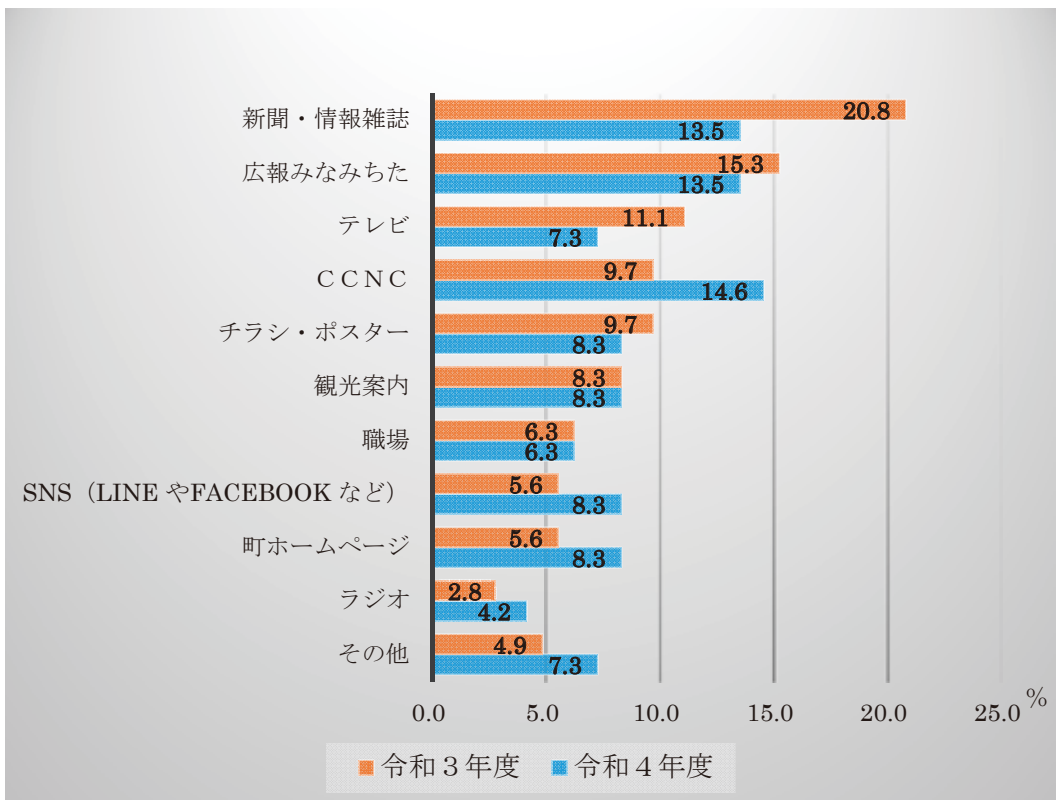
【問】あなたは、南知多町の歴史や文化に興味や関心がありますか。（回答は1つ）



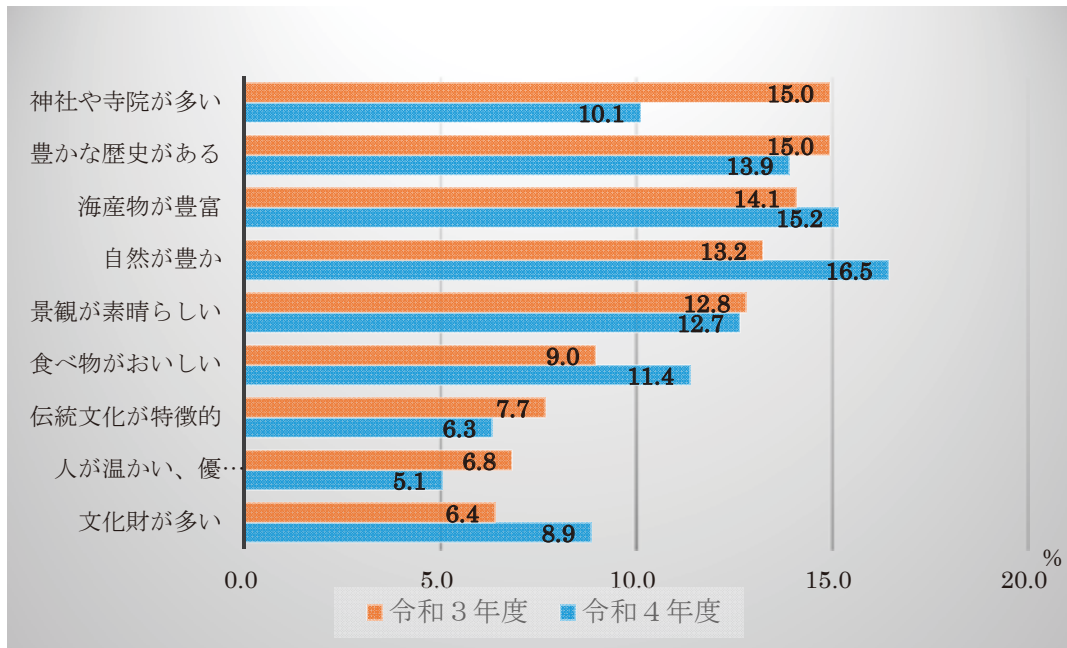
【問】あなたは、南知多町が発信している歴史や文化に関する情報量についてどう感じていますか。



【問】あなたは、南知多町の歴史や文化に関する情報どこで見たり、聞いたりすることが多いですか。(回答は3つまで)



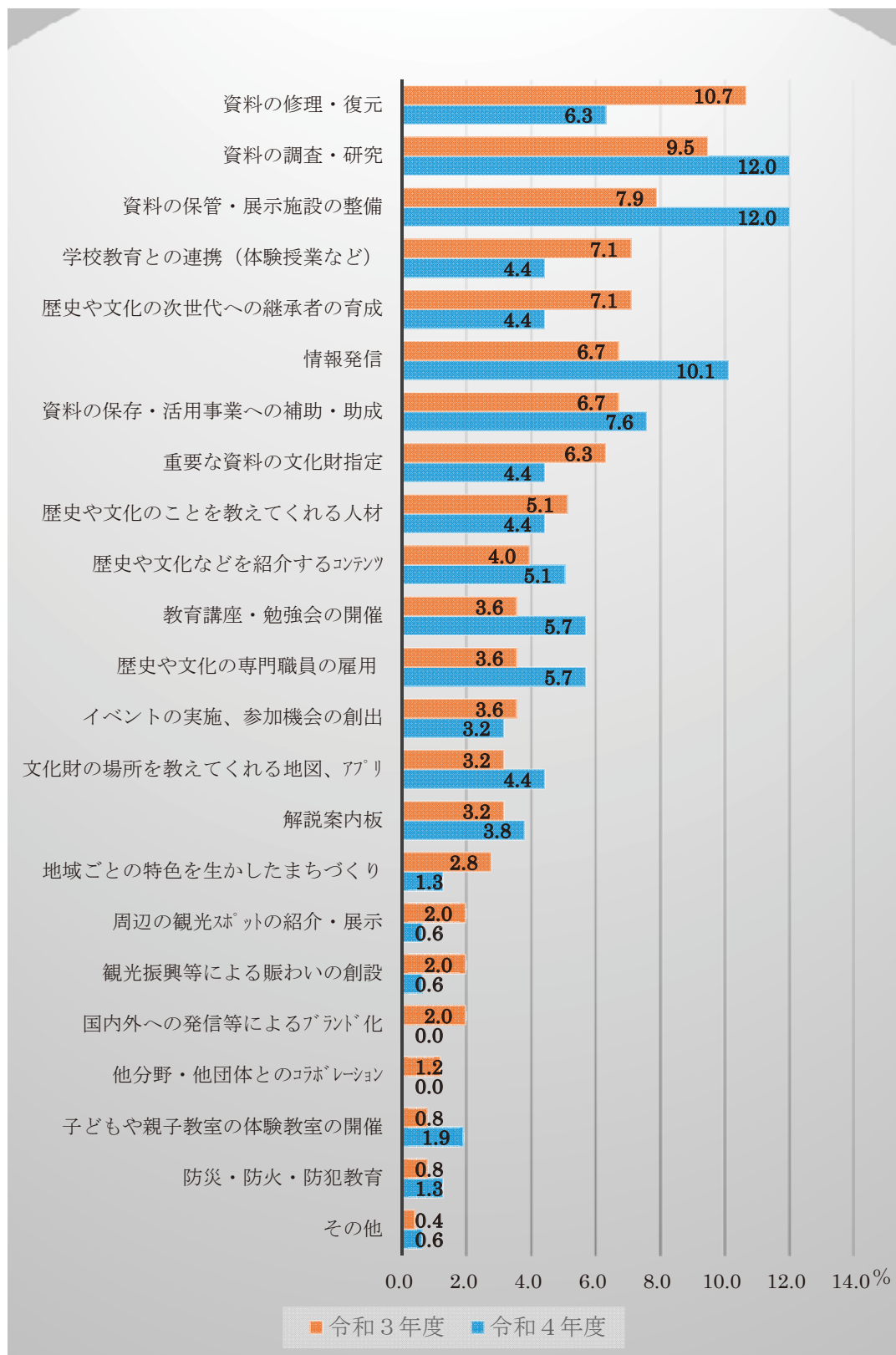
【問】あなたは南知多町についてどのようなイメージを持っていますか。（回答はいくつでも）（回答はいくつでも）



【問】南知多町の歴史や文化のなかで、あなたが大切に思っていたり、失いたくないと思うものがあれば教えてください。

	R 3年度	R 4年度
社 寺	岩屋寺、羽豆神社、光明寺、神仏習合 など	岩屋寺、羽豆神社、入見神社 など
伝統行事	地域特有の祭礼、東端の祭礼、西村の祭礼・山車、行事食	師崎の祭礼、各地区の祭礼、豊浜太鼓打ち着物展
自然・景観	自然、海、山、景色、羽豆岬からの海の景観	篠島の自然海岸（松島に見える景観）、羽豆岬のウバメガシ
歴 史	古式捕鯨、千賀氏、千賀水軍、内海船、旧内田家住宅、旧内田佐平二家住宅、廻船関連石造物	内海船の歴史、旧内田家住宅、佐平二家等東端・西端地区での廻船に関する石造物群
民俗・生業	方言、漁業、海産物、ノリの養殖、えびす講 など	
地質・鉱物		師崎層群深海生物化石
人 物	梅原猛先生	
そ の 他	南知多町の歴史や文化	展示・保存施設の建築、岩屋寺周辺の歴史的史跡等の表示説明、旧郷土資料館にあった資料、人づくり

【問】今後、南知多町の歴史や文化などに関する資料を保存し、活用していくにあたり何が必要と思いますか。(回答は5つまで)



未指定文化財一覽

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
建造物	建造物	神社建築	37	入見神社はじめ37社										
建造物	建造物	神社棟札	257	入見神社はじめ32社										
建造物	建造物	寺院建築	92	泉蔵院はじめ54寺										
建造物	建造物	寺院棟札	9	延命寺はじめ5寺										
建造物	建造物	内田恒助家住宅	1	個人蔵										
建造物	建造物	旧梅原半兵衛家住宅	1	南知多町										
建造物	建造物	豊楽座	1	乙方区										
建造物	石造物	石段親柱	2	熊野社										
建造物	石造物	親柱	1	山神社										
建造物	石造物	石祠	1	熊野社										
建造物	石造物	入見橋	1	入見神社										
建造物	石造物	織部灯籠	2	南知多町、個人蔵										
建造物	石造物	車留	1	南知多町										
建造物	石造物	狛犬	25	高宮神社はじめ24社、医徳院										
建造物	石造物	常夜灯	24	入見神社はじめ20所										
建造物	石造物	石灯籠	67	入見神社はじめ34社										
建造物	石造物	水盤	35	入見神社はじめ31社										
建造物	石造物	石柱	5	入見神社はじめ3社										
建造物	石造物	鳥居	41	入見神社はじめ32社										
建造物	石造物	六地藏灯籠	1	篠島										
建造物	石造物	狛狐	1	山神社										
建造物	石造物	石灯籠	2	泉蔵院、医王寺										
建造物	石造物	石橋	1	岩屋寺										
建造物	石造物	平碑墓標	78	岩屋寺はじめ15寺										
建造物	石造物	並列六地藏	3	安楽寺はじめ3寺										
建造物	石造物	板碑（五輪塔陽刻）	1	慈光寺										
建造物	石造物	板碑（浮彫五輪塔埋込）	1	中ノ院										
建造物	石造物	一石五輪塔	6	岩屋寺はじめ4寺										
建造物	石造物	二基並列肉彫五輪塔	1	安楽寺										
建造物	石造物	稻生猪右衛門墓	1	延命寺										
建造物	石造物	尾張屋清十郎墓碑	1	光明寺										
建造物	石造物	学校開基旭順墓院	1	岩屋寺奥ノ院										
建造物	石造物	近世墓碑	6	慈光寺、正衆寺										
建造物	石造物	経蔵塔	1	岩屋寺										
建造物	石造物	五輪塔	9	岩屋寺はじめ4寺、大井										
建造物	石造物	常夜灯	3	医王寺はじめ3寺										
建造物	石造物	千賀重親墓碑	1	正衆寺										
建造物	石造物	千賀家歴代当主墓碑	1	正衆寺										
建造物	石造物	千賀為親墓碑	1	正衆寺										
建造物	石造物	尊勝塔 塔制壺基	1	中之院										
建造物	石造物	高木清全墓	1	性慶院										
建造物	石造物	高木家墓碑	1	性慶院										
建造物	石造物	高木輝齋之墓	1	性慶院										
建造物	石造物	手水鉢	1	医王寺										
建造物	石造物	寛海代和尚塔	1	岩屋寺奥ノ院										
建造物	石造物	宝篋印塔	13	持宝院はじめ10寺										
建造物	石造物	法華塔	1	岩屋										
建造物	石造物	無縫塔	1	天龍寺										
建造物	石造物	山川信禪墓	1	円通寺										
建造物	石造物	豪澄律師墓	1	岩屋寺奥ノ院										
美術工芸品	絵画	夏季水墨山水画	1	慈光寺										
美術工芸品	絵画	釈迦八相涅槃図	1	慈光寺										
美術工芸品	絵画	十王修善鈔絵相	1	慈光寺										
美術工芸品	絵画	聖徳太子絵伝	1	慈光寺										
美術工芸品	絵画	釈迦三尊十六善神像	3	慈光寺はじめ3寺										
美術工芸品	絵画	十六善神像	1	全久寺										
美術工芸品	絵画	涅槃像	1	全久寺										
美術工芸品	絵画	西湖之図	1	宝樹院										
美術工芸品	絵画	涅槃図	3	宝樹院はじめ3寺										
美術工芸品	絵画	曼陀羅	3	宝樹院はじめ3寺										
美術工芸品	絵画	阿弥陀三尊来迎図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	観音大師像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	九相図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	九尊像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	豪潮遺文	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	豪潮肖像画	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	櫻花に雀図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	三十三観音像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	釈迦三尊十六羅漢像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	釈迦三尊像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	釈迦如来坐像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	十二天像	1	岩屋寺										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	絵画	十六羅漢渡海図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	真言八祖像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	墨梅図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	胎金両部種子曼陀羅	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	帝釈天像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	天台大師像	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	富嶽図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	無縫塔	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	両界種子曼陀羅(前欠)	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	両界曼荼羅	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	六祖図	1	岩屋寺										
美術工芸品	絵画	狩野守興筆虎之図	1	中之院										
美術工芸品	絵画	僧雪舟筆掛軸	1	個人蔵										
美術工芸品	絵画	白雲山大権現肖像	1	白山社										
美術工芸品	絵画	三尊来迎図	1	光明寺										
美術工芸品	絵画	当麻曼陀羅	1	光明寺										
美術工芸品	絵画	弥陀三尊来迎図	1	光明寺										
美術工芸品	絵画	毘沙門天像	1	正法寺										
美術工芸品	絵画	不動像	1	正法寺										
美術工芸品	絵画	六歌仙図絵馬	1	神護寺										
美術工芸品	絵画	英一蝶画 仏教戯画帖	1	神護寺										
美術工芸品	絵画	弁財天像	1	神護寺										
美術工芸品	絵画	本堂壁画	1	神護寺										
美術工芸品	絵画	三十六歌仙図	1	羽豆神社										
美術工芸品	絵画	富士の巻狩図絵馬	1	羽豆神社										
美術工芸品	絵画	稲垣勇次郎絵画	1	南知多町										
美術工芸品	絵画	内田佐造肖像画	1	南知多町										
美術工芸品	絵画	糟谷磯丸書(軸装)	2	南知多町										
美術工芸品	絵画	山岳図	1	南知多町										
美術工芸品	絵画	風景画 吉田初三郎	3	南知多町										
美術工芸品	絵画	4代佐七肖像画 鬼頭鍋三郎	1	南知多町										
美術工芸品	絵画	虎図 鹿子木孟郎	1	南知多町										
美術工芸品	彫刻	阿弥陀如来像	23	泉蔵院はじめ23寺										
美術工芸品	彫刻	薬師如来像	19	泉蔵院はじめ17寺、初神										
美術工芸品	彫刻	聖観音菩薩像	18	神護寺はじめ15寺										
美術工芸品	彫刻	弘法大師像	15	持宝院はじめ15寺										
美術工芸品	彫刻	不動明王像	10	岩屋寺はじめ9寺、八幡社										
美術工芸品	彫刻	地藏菩薩像	12	宝積院はじめ12寺										
美術工芸品	彫刻	釈迦如来像	10	性海寺はじめ9寺										
美術工芸品	彫刻	十一面観音菩薩像	10	如意輪寺はじめ10寺										
美術工芸品	彫刻	如意輪観世音菩薩	9	持宝院はじめ9寺										
美術工芸品	彫刻	千手観音菩薩像	8	岩屋寺はじめ8寺										
美術工芸品	彫刻	毘沙門天像	6	正衆寺はじめ6寺										
美術工芸品	彫刻	三十三観音像	5	宝珠寺はじめ5寺										
美術工芸品	彫刻	観音菩薩像	4	慈光寺はじめ4寺										
美術工芸品	彫刻	金比羅大権現	4	西方寺 はじめ4寺										
美術工芸品	彫刻	善導大師像	3	意徳院はじめ3寺										
美術工芸品	彫刻	延命地藏尊像	3	全久寺、西方寺										
美術工芸品	彫刻	青面金剛像	3	全久寺はじめ3寺										
美術工芸品	彫刻	十二神将像	3	西方寺、龍江寺、初神										
美術工芸品	彫刻	聖徳太子像	3	長福寺はじめ3寺										
美術工芸品	彫刻	大日如来像	3	松寿寺はじめ3寺										
美術工芸品	彫刻	千体地藏菩薩	2	宝積院、慈光寺										
美術工芸品	彫刻	准胝観世音菩薩	2	成願寺、延命寺										
美術工芸品	彫刻	西山上人像	2	宝樹院、西方寺										
美術工芸品	彫刻	法然上人像	2	意徳院、西方寺										
美術工芸品	彫刻	馬頭観音	2	慈光寺、正法寺										
美術工芸品	彫刻	文殊菩薩像	2	長山寺、円増寺										
美術工芸品	彫刻	勢至菩薩像	2	慈光寺、長福寺										
美術工芸品	彫刻	円空仏弁財天像	1	慈光寺										
美術工芸品	彫刻	御正体	1	持宝院										
美術工芸品	彫刻	観音像 石像	1	永昌寺										
美術工芸品	彫刻	地藏尊 石像	1	永昌寺										
美術工芸品	彫刻	四天王不動明王 石像	1	永昌寺										
美術工芸品	彫刻	六地藏尊 石像	1	永昌寺										
美術工芸品	彫刻	寿観世音菩薩像	1	永昌寺										
美術工芸品	彫刻	山門仁王像	1	性海寺										
美術工芸品	彫刻	善光寺如来石像	1	西岸寺										
美術工芸品	彫刻	鳥毳沙摩明王立像	1	全久寺										
美術工芸品	彫刻	韋駄尊天立像	1	全久寺										
美術工芸品	彫刻	もくれん観音菩薩像	1	大宝寺										
美術工芸品	彫刻	円光大師像	1	宝樹院										
美術工芸品	彫刻	十六羅漢	1	妙音寺										
美術工芸品	彫刻	銅像菩薩像	1	長福寺										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	彫刻	沢観世音菩薩	1	意徳院										
美術工芸品	彫刻	おしよる婆像	1	宝珠寺										
美術工芸品	彫刻	赤梅檀香佛	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	千手観音菩薩立像(鑄造)	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	千手観音菩薩石像	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	大黒天像	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	多聞天(毘沙門天)	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	薬師如来石像	1	岩屋寺										
美術工芸品	彫刻	六観音石像	1	岩屋寺奥ノ院										
美術工芸品	彫刻	六観音	1	岩屋寺奥之院										
美術工芸品	彫刻	岩屋寺本尊開帳佛	1	中之院										
美術工芸品	彫刻	浄音上人像	1	西方寺										
美術工芸品	彫刻	開山上人像	1	西方寺										
美術工芸品	彫刻	須佐浦観世音菩薩	1	極楽寺										
美術工芸品	彫刻	子安観世音菩薩像	1	影向寺										
美術工芸品	彫刻	子安大師像	1	影向寺										
美術工芸品	彫刻	二天像 多聞天立像	1	正法寺										
美術工芸品	彫刻	二天像 持国天立像	1	正法寺										
美術工芸品	彫刻	不空絹索観世音菩薩	1	正法寺										
美術工芸品	彫刻	日光・月光十二神将	1	医王寺										
美術工芸品	彫刻	鳥樞沙磨明王像	1	利生院										
美術工芸品	彫刻	修行大師像	1	成願寺										
美術工芸品	彫刻	愛染明王像	1	神護寺										
美術工芸品	彫刻	えんま天像	1	神護寺										
美術工芸品	彫刻	鐘馗像	1	神護寺										
美術工芸品	彫刻	元三大師像	1	神護寺										
美術工芸品	彫刻	銅造観音菩薩立像	1	宗真寺										
美術工芸品	彫刻	男神像	1	羽豆神社										
美術工芸品	彫刻	恵比須像	1	羽豆神社										
美術工芸品	彫刻	魚藍観世音菩薩立像	1	正法禅寺										
美術工芸品	彫刻	西国巡礼衆供養名仏	1	医徳院										
美術工芸品	彫刻	七福神	1	医徳院										
美術工芸品	彫刻	虚空蔵菩薩像	1	松寿寺										
美術工芸品	彫刻	厄除け観世音菩薩	1	松寿寺										
美術工芸品	彫刻	馬頭観音 石像	1	松寿寺										
美術工芸品	彫刻	善光寺如来像	1	西方寺										
美術工芸品	彫刻	陶製白衣観音像	1	安楽寺										
美術工芸品	彫刻	木像天部立像	1	安楽寺										
美術工芸品	彫刻	茶枳尼天像	1	大光院										
美術工芸品	彫刻	毘沙門天王菩薩	1	吞海院										
美術工芸品	彫刻	百体観音菩薩像	1	吞海院										
美術工芸品	彫刻	山車彫刻	11	馬場区はじめ11区										
美術工芸品	彫刻	立川流彫刻	4	影向寺はじめ4寺										
美術工芸品	工芸品	罎口	7	泉蔵院はじめ6寺、南知多町										
美術工芸品	工芸品	押し絵	5	岩屋寺はじめ5寺										
美術工芸品	工芸品	鏡	4	神明社はじめ4社										
美術工芸品	工芸品	香炉	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	支那鐘	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	大慈山巖窟時常住宝物	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	胎灌頂手鏡	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	釣灯籠	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	鉄鉢	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	経箱	1	岩屋寺										
美術工芸品	工芸品	華鬘	2	岩屋寺、光明寺										
美術工芸品	工芸品	梵鐘	3	岩屋寺はじめ3寺										
美術工芸品	工芸品	經典箱	2	須男神社、幡豆神社										
美術工芸品	工芸品	瓦製狛犬	1	高宮神社										
美術工芸品	工芸品	まむしのお政の五色幕	1	宝積院										
美術工芸品	工芸品	黒漆塗茄子形兜	1	南知多町										
美術工芸品	工芸品	紺糸威五枚胴具足	1	南知多町										
美術工芸品	工芸品	日本刀	1	南知多町										
美術工芸品	工芸品	ひな人形	5	南知多町										
美術工芸品	工芸品	御神宝一式(長刀、鉾、槍先ほか)	1	須男神社										
美術工芸品	工芸品	片皮陣太鼓	1	正衆寺										
美術工芸品	工芸品	小刀	1	白山社										
美術工芸品	工芸品	火縄銃	1	白山社										
美術工芸品	工芸品	長刀	2	白山社、神明神社										
美術工芸品	工芸品	鉾	1	初神神社										
美術工芸品	工芸品	陶製狛犬	2	初神神社、白山社										
美術工芸品	工芸品	脇差	2	林若子神社、南知多町										
美術工芸品	工芸品	洋式銃	1	南知多町										
美術工芸品	工芸品	御神酒壺	1	熊野神社										
美術工芸品	工芸品	当世具足	1	個人蔵										
美術工芸品	工芸品	藤島友重の太刀	1	個人宅										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	工芸品	宇須壽美之笛	1	羽豆神社										
美術工芸品	工芸品	獅子頭	1	羽豆神社										
美術工芸品	工芸品	鈴	1	羽豆神社										
美術工芸品	工芸品	能面	1	羽豆神社										
美術工芸品	工芸品	釧	6	羽豆神社										
美術工芸品	工芸品	鬼瓦 (唐獅子牡丹)	1	神護寺										
美術工芸品	工芸品	御深井焼毘沙門天	1	神護寺										
美術工芸品	工芸品	千賀屋敷瓦	1	的場										
美術工芸品	工芸品	刀	1	神明神社										
美術工芸品	工芸品	兜 (頬当付)	1	神明神社										
美術工芸品	工芸品	槍	1	神明神社										
美術工芸品	工芸品	マリア観音像	1	松寿寺										
美術工芸品	工芸品	阿弥陀堂鬼瓦	1	長心寺										
美術工芸品	書跡・典籍	伊勢物語	1	個人蔵										
美術工芸品	書跡・典籍	頼山陽書	1	個人蔵										
美術工芸品	書跡・典籍	大般若経 600巻	1	全久寺										
美術工芸品	書跡・典籍	書額	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	御詠歌額	2	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	玄盛血脉	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	紺紙金泥般若心経・阿弥陀経	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	紺紙金泥妙法蓮華経	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	修補大蔵経願文	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	妙法蓮華経観音普門品	1	岩屋寺										
美術工芸品	書跡・典籍	紺紙金泥法華経8巻	1	円増寺										
美術工芸品	書跡・典籍	多武峯少将の歌	1	正法寺										
美術工芸品	書跡・典籍	法華経	1	林若子神社										
美術工芸品	書跡・典籍	「寿」字額	1	医王寺										
美術工芸品	書跡・典籍	経巻貼付額	1	医王寺										
美術工芸品	書跡・典籍	磯丸・伊勢神官荒木田氏短歌	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	豪潮律師梵字書	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	五字一行書	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	沢庵禅師書簡	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	天海僧正書簡	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	毘沙門天宝号	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	師崎観音 山門額書	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	六字名号一幅	1	神護寺										
美術工芸品	書跡・典籍	大般若経	1	羽豆神社										
美術工芸品	書跡・典籍	仮名日本書紀	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	中之郷区有文書	1	中之郷区										
美術工芸品	古文書	岡部区有文書	1	岡部区										
美術工芸品	古文書	内福寺区有文書	1	内福寺区										
美術工芸品	古文書	東端村文書	1	東端区										
美術工芸品	古文書	川合家文書	1	川合家(町寄託)										
美術工芸品	古文書	内田佐七家文書	1	個人蔵										
美術工芸品	古文書	伊奈忠次・彦坂光正連署奉書	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	伊奈備前守黒(朱か)印状	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	大慈山巖窟寺儀軌	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	大聖歡喜天印信(前欠)	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	巖窟傳來古記	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	合行灌頂次第	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	紺紙金泥法華経切	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	信玄判物	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	住侶・田島寄進者等過去帳	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	惣政所左衛門尉重奉書写	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	竹村与兵衛以下連署添状	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	誕生会式(前欠)	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	伝法灌頂儀軌(前欠)	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	某御教書	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	梵鐘銘拓本	1	岩屋寺										
美術工芸品	古文書	経講現在帳并古記之写	1	中之院										
美術工芸品	古文書	西村区有文書	1	西村区										
美術工芸品	古文書	松原区有文書	1	松原区										
美術工芸品	古文書	牛頭天王祭文(伝)	1	初神神社										
美術工芸品	古文書	諸神天降方記 豊受神社	1	豊受神社										
美術工芸品	古文書	御船歌枕	1	神谷家										
美術工芸品	古文書	白翁山諸記	1	神護寺										
美術工芸品	古文書	祭礼行列図2巻	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	知多土産	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	幡豆社傳旧記古實 全	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	幡豆神社主間瀬家世代記録残篇寫	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	幡豆大明神棟札ノ写	1	羽豆神社										
美術工芸品	古文書	社標寄附人名簿並二建設費明細帳	1	神明神社										
美術工芸品	古文書	日間賀島留記	1	個人蔵										
美術工芸品	古文書	大岩勘三郎家文書	1	南知多町										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	古文書	大岩六右衛門家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	廻船関係文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	角佐三家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	御触寫	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	須佐村文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	千賀家墓図	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	千賀家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	豊浜関係文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	利屋村文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	馬場区有文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	日比平七家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	町教育委員会所蔵文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	勅諭浄寫帖	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	酒井家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	富家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	字限定納山丈量地圖(師崎村)	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	當世馬麦之覚	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	天野兵左衛門家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	岩屋寺文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	大岩喜重郎家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	大岩甚三郎家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	四季混雑集	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	師崎村土族名簿 役場扣	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	篠島支所所蔵文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	島山瀬覚帳	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	新四国八十八ヶ所巡拜和贊	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	新四国八十八ヶ所奉納経	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	地志編纂材料調書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	地籍字分ヶ全圖 師崎村	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	中村家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	中村興三治家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	日比安左衛門家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	日比家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	祭船車図面	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	森鉄次郎家文書	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	為貧説	1	南知多町										
美術工芸品	古文書	師崎村戸番全図	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	先苜貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	林ノ峯貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	清水ノ上貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	乙福谷遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	下別所遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	阿麻遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	山尾遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	円通寺東遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	下別所遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	欠ヶ前遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	草花遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	塩屋遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	天神山遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	山田遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	小海田遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	向畑遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	新津遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	山田平遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	咲畑貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	田中島遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	長谷遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	新津古墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	蛭子古墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	羽豆岬海中遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	神護寺遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	高岩1号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	鯨浜遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	南風ヶ崎遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	神戸遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	神明社貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	小磯島遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	堂山古墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	鯨浜古墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	新井浜貝塚出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地4号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地5号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地6号墳出土資料	1	南知多町										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	考古資料	北地7号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地8号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地9号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地11号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地14号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	上海2号墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	中洲古墳群出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	前山古墳出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	小柵遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	清水遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	汗谷遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	鈴ヶ谷古窯址群出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	打越古窯址群出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	大井釜山古窯址群出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	下海古窯址出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	長命寺跡古墓址出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	後山古墓址出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	北地遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	山の神遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	口田面遺跡出土資料	1	南知多町										
美術工芸品	考古資料	八が池古窯址出土資料	1	個人蔵										
美術工芸品	考古資料	性海寺古墓址出土資料	1	性海寺										
美術工芸品	考古資料	医王寺跡出土資料	1	医王寺										
美術工芸品	考古資料	正法寺備蓄銭	1	愛知県										
美術工芸品	考古資料	前浜備蓄銭	1	個人蔵										
美術工芸品	歴史資料	内海船資料	2	南知多町、個人蔵										
美術工芸品	歴史資料	内海焼	1	南知多町										
美術工芸品	歴史資料	海難除地蔵	2	内海川河口、師崎										
美術工芸品	歴史資料	ウミガメの碑	1	内海川河口										
美術工芸品	歴史資料	ウミガメの墓	8	神護寺はじめ8所										
美術工芸品	歴史資料	ウミガメ上陸地石碑	1	小佐海岸										
美術工芸品	歴史資料	ウミガメ像、埋葬地墓標	1	浄土寺										
美術工芸品	歴史資料	江戸全図	1	神護寺										
美術工芸品	歴史資料	恵比寿天	1	神明社										
美術工芸品	歴史資料	大高源吾のへその緒塚	1	吞海院										
美術工芸品	歴史資料	大峰大神	1	日間賀島										
美術工芸品	歴史資料	観音様	4	医徳院はじめ4所										
美術工芸品	歴史資料	尾張藩御用の標旗と提灯	1	南知多町										
美術工芸品	歴史資料	打瀬船模型	1	南知多町										
美術工芸品	歴史資料	九鬼水軍襲来時焼痕柱	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	太一御用の旗	1	神明神社										
美術工芸品	歴史資料	句碑（松尾芭蕉）	2	秋葉神社、持宝院										
美術工芸品	歴史資料	句碑	1	秋葉神社										
美術工芸品	歴史資料	歌碑（磯部信貞）	1	持宝院										
美術工芸品	歴史資料	句碑（引字文泉）	1	個人宅庭										
美術工芸品	歴史資料	句碑（種田山頭火）	3	熊野神社、篠島										
美術工芸品	歴史資料	歌碑（日比貞子）	1	西岸寺										
美術工芸品	歴史資料	詩碑（小田礪浦）	1	西岸寺										
美術工芸品	歴史資料	句碑（石田蒙澄）	1	中之院										
美術工芸品	歴史資料	句碑（橋本鶏二）	1	中之院										
美術工芸品	歴史資料	句碑（久村暁台）	1	西方寺										
美術工芸品	歴史資料	句碑（山本橘香）	1	個人宅庭										
美術工芸品	歴史資料	歌碑（内藤邦貞）	1	龍江寺										
美術工芸品	歴史資料	万葉歌碑	3	豊浜小学校、篠島										
美術工芸品	歴史資料	句碑（俚謡の碑）	1	浄土寺										
美術工芸品	歴史資料	句碑（佐野五男）	1	正法寺										
美術工芸品	歴史資料	句碑（鈴木宗石）	1	宝乗院										
美術工芸品	歴史資料	句碑（河合いづみ）	2	北山公園はじめ2所										
美術工芸品	歴史資料	句碑（山岡舜子）	1	歌碑公園										
美術工芸品	歴史資料	歌碑（会津八一）	1	北山公園										
美術工芸品	歴史資料	歌碑（木全湛水）	1	篠島小学校										
美術工芸品	歴史資料	句碑（横井也有）	1	長心寺										
美術工芸品	歴史資料	不動明王碑	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	祭八神山碑	1	祭八山										
美術工芸品	歴史資料	皇大神宮遥拝所碑	1	八幡社										
美術工芸品	歴史資料	山の神碑	1	八幡社										
美術工芸品	歴史資料	御神木大松記念碑	1	八幡社										
美術工芸品	歴史資料	中野静之碑	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	荒井十内の碑	1	宝積院										
美術工芸品	歴史資料	内田佐七翁顕彰碑	1	内海駅										
美術工芸品	歴史資料	今上皇帝龍碑	1	全久寺										
美術工芸品	歴史資料	大岩榑磨氏之碑	1	神明社										
美術工芸品	歴史資料	大岩萬三郎顕彰碑	1	龍江寺										
美術工芸品	歴史資料	天照皇大神・神武天皇遙拝碑	1	乃野神社										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
美術工芸品	歴史資料	万葉の碑	1	豊浜漁港内										
美術工芸品	歴史資料	楊州千溪叟の碑	1	正衆寺										
美術工芸品	歴史資料	逸溪和尚碑	1	正衆寺										
美術工芸品	歴史資料	千賀府君神道碑	1	正衆寺										
美術工芸品	歴史資料	豊浜村漁舟遭難碑	1	中洲西墓地内										
美術工芸品	歴史資料	三界萬霊の碑	1	恩徳寺										
美術工芸品	歴史資料	牛田可応翁留魂碑	1	正法寺										
美術工芸品	歴史資料	風天宮石碑	1	大井										
美術工芸品	歴史資料	大黒天碑	1	大井、片名										
美術工芸品	歴史資料	千賀家之碑	1	的場										
美術工芸品	歴史資料	宗良親王歌碑	1	羽豆岬										
美術工芸品	歴史資料	羽豆崎城跡碑	1	羽豆岬										
美術工芸品	歴史資料	篠島聖跡碑	1	東山										
美術工芸品	歴史資料	帝井碑文	1	帝井										
美術工芸品	歴史資料	北百川宮遊観紀恩碑	1	古城館										
美術工芸品	歴史資料	知多西国三十三観音霊場札所石標	1	恩徳寺										
美術工芸品	歴史資料	緑の行者	1	初神の山頂										
美術工芸品	歴史資料	安楽塔婆	1	医王寺										
美術工芸品	歴史資料	一願地藏	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	内海四天王 増天像	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	内海四天王 多聞天像	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	内海四天王 広目像	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	内海四天王 持国像	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	石仏	1	持宝院										
美術工芸品	歴史資料	あごなし地藏	1	慈光寺										
美術工芸品	歴史資料	お吉親族の墓	1	西岸寺										
美術工芸品	歴史資料	あばら地藏	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	五百羅漢	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	十五輪の塔	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	双体地藏石仏	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	供養仏	1	岩屋寺奥之院										
美術工芸品	歴史資料	大師御腰掛石	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	大師ヶ嶽及び八十八大師石像	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	押水地藏	1	押水										
美術工芸品	歴史資料	自蔵石像	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	道しるべ	13	持宝院はじめ13所										
美術工芸品	歴史資料	道しるべ地藏	9	福谷池畔はじめ9所										
美術工芸品	歴史資料	島行き渡船案内標柱	1	性慶院										
美術工芸品	歴史資料	庚申塔	1	神護寺はじめ										
美術工芸品	歴史資料	弘法大師	1	地藏堂はじめ3所										
美術工芸品	歴史資料	六地藏	1	岩屋寺										
美術工芸品	歴史資料	子育地藏	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	子安地藏	1	安楽寺はじめ3寺										
美術工芸品	歴史資料	猿田彦命	1	内海										
美術工芸品	歴史資料	供養塔	1	豊丘										
美術工芸品	歴史資料	三十三観音	1	医王寺										
美術工芸品	歴史資料	弘法堂前石標	1	宝乗院										
美術工芸品	歴史資料	辻地藏	1	山海、大井										
美術工芸品	歴史資料	峠の六地藏	1	豊浜										
美術工芸品	歴史資料	南無阿弥陀仏碑	3	内海、篠島										
美術工芸品	歴史資料	南無六道能化地藏	1	豊丘										
美術工芸品	歴史資料	二十五菩薩	1	岩屋寺奥之院										
美術工芸品	歴史資料	日本武大神立石	1	御嶽山										
美術工芸品	歴史資料	地藏	4	医徳院はじめ4所										
美術工芸品	歴史資料	抱き地藏	1	地藏堂										
美術工芸品	歴史資料	無縫塔	1	北室院										
美術工芸品	歴史資料	篠島八十八箇所「島弘法」	1	篠島										
美術工芸品	歴史資料	供養塔（三泉萬霊六道四聖）	1	松寿寺										
美術工芸品	歴史資料	くるま地藏 篠島六地藏	1	正法禅寺										
美術工芸品	歴史資料	軍人像	1	中之院										
美術工芸品	歴史資料	聖平和観音	1	大井										
美術工芸品	歴史資料	軍旗	1	羽豆神社										
美術工芸品	歴史資料	鯨牙	1	羽豆神社										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鯉図絵馬	22	泉蔵院、長福寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	馬図絵馬	15	泉蔵院はじめ7寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	武者図絵馬	9	泉蔵院はじめ4寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	紀三井寺順礼図絵馬	8	持宝院はじめ3寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	境内図絵馬	7	持宝院はじめ4寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	長谷寺順礼図絵馬	6	西岸寺はじめ4寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	舟図絵馬	4	泉蔵院、虚空蔵堂										
民俗文化財	有形の民俗文化財	松に鷹図絵馬	4	泉蔵院、長福寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	清水寺順礼図絵馬	4	西岸寺はじめ3寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	竹生島順礼図絵馬	4	岩屋寺、医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	白鳩図絵馬	3	泉蔵院、安楽寺										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
民俗文化財	有形の民俗文化財	中山寺順礼図絵馬	3	持宝院、岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	弁財船図絵馬	3	岩屋寺はじめ3寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	海難図絵馬	3	遍照寺はじめ3寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	虎図絵馬	2	泉藏院、医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	騎馬図絵馬	2	泉藏院、医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	西国案内図 紀三井山 金剛宝寺	2	宝積院、新藏寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	西国案内図 豊山 長谷寺	2	宝積院、新藏寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	石山寺順礼図絵馬	2	岩屋寺、医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	婦女参拜図絵馬	2	長福寺、医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	芝居図絵馬	2	神護寺、安楽寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鶏図絵馬	8	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鷹図絵馬	5	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	牛図絵馬	4	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	基盤忠信図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	白鯉図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	墨書絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	大黒図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鯛に人物図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	月に秋草図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	虎に童子図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	布袋図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	猫図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	松に朝日図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	向い狐図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	羅生門鬼退治図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	三番叟図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	川に橋図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	喫煙図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	狐図絵馬	1	泉藏院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	防州岩国錦帯端図絵馬	1	持宝院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	天の橋立図絵馬	1	持宝院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	安藝巖島景図絵馬	1	持宝院										
民俗文化財	有形の民俗文化財	袴雛形貼付絵馬	1	西岸寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鎌倉八幡宮図絵馬	1	西岸寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	竹に虎図	1	虚空藏堂										
民俗文化財	有形の民俗文化財	瓶子図	1	昌久寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	石山寺眺望図絵馬	2	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	大江山図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	黄石公張良図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	紀三井寺参詣図	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	西国三十三所順礼図絵	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	西國八番礼所長谷観音図	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	順礼図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	人物拝み図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	谷汲山順礼図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	天の橋立成相寺順礼図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	弁財船・不知波船図絵馬	1	岩屋寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	呪術絵馬	2	土御前社										
民俗文化財	有形の民俗文化財	巡拝図	1	長福寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	青岸渡寺順礼図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	浮世絵図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	三福神図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	乳雛形貼付絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鶏図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	二福神に鶴図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	女人順礼図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	女人図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	富士の巻狩図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	布袋に童子図絵馬	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	筍句合額	1	医王寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	錦帯橋図絵馬	1	神護寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	鶴図	1	宗真寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	風景図絵馬	1	神護寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	二見ヶ浦漁船図絵馬	1	豊泉寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	水難救助の絵馬	1	遍照寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	高砂図絵馬	2	安楽寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	浄瑠璃出語り図絵馬	1	安楽寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	人物(芝居)図絵馬	1	安楽寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	万歳図絵馬	1	安楽寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	山車	13	吹越区はじめ13区										
民俗文化財	有形の民俗文化財	からくり人形	6	岡部区はじめ6区										
民俗文化財	有形の民俗文化財	俳額	4	長福寺はじめ3寺										
民俗文化財	有形の民俗文化財	神輿	4	東端区はじめ4区										
民俗文化財	有形の民俗文化財	狂俳額	1	長福寺										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
民俗文化財	有形の民俗文化財	船大工道具	1	南知多町										
民俗文化財	有形の民俗文化財	小野区祭礼道具	1	小野区										
民俗文化財	有形の民俗文化財	浮輪	1	神明社										
美術工芸品	有形の民俗文化財	旧内田家住宅所蔵資料	1	南知多町										
美術工芸品	有形の民俗文化財	旧内田佐平二家住宅所蔵資料	1	南知多町										
美術工芸品	有形の民俗文化財	旧梅原半兵衛家所蔵資料	1	南知多町										
美術工芸品	有形の民俗文化財	旧郷土資料館収蔵資料	1	南知多町										
民俗文化財	有形の民俗文化財	豊浜鯛まつり太鼓打ち着物	1	豊浜										
民俗文化財	有形の民俗文化財	師崎おどり浴衣	1	師崎										
民俗文化財	有形の民俗文化財	木刀奉納額	1	神護寺										
民俗文化財	無形の民俗文化財	お手玉唄	4	内海はじめ3区										
民俗文化財	無形の民俗文化財	草履かくし	3	内海、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	盆踊り唄	3	内海、山海、篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	子守唄	2	内海、大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	正月さん	2	内海、山海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	伊勢音頭	2	内海、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	糸ひき唄	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	かけや節	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	粗すり唄	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	臼挽さん	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	凧あげ唄	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	水津浜の天狗	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	煙大吊の歌	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	まりつき唄	4	山海、大井、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	なわとび唄	2	山海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	つぼどん	1	山海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	地突き唄	2	豊浜、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	座付	1	豊浜										
民俗文化財	無形の民俗文化財	寒念仏	1	豊浜										
民俗文化財	無形の民俗文化財	百はっとう	1	豊浜										
民俗文化財	無形の民俗文化財	やっとせき	1	乙方										
民俗文化財	無形の民俗文化財	かけ音頭	1	山田										
民俗文化財	無形の民俗文化財	ソレヤー	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	帆柱おこし唄	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	かけやつち唄	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	土白唄	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	大井音頭	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	大井小唄	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	かけや唄	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	つぼさん	1	師崎										
民俗文化財	無形の民俗文化財	真向踊り	1	師崎										
民俗文化財	無形の民俗文化財	かけ踊り	3	師崎、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	よいこの節	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	篠島甚句	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	まとい	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	大津絵	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	まぬけ踊り	2	篠島、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	よさ節	2	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	鬼さめの唄	2	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	オガイチョの唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	おのぼりの唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	道中節	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	長持ち唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	投げ節	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	日間賀甚句	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	まづ今日は	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	ヤンラ めでたい	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	地形唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	妻搦き唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	櫓節	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	くどき	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	日間賀甚句	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	大黒さま	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	てんやまつきの唄	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	小あぐり舟唄	1	全域										
民俗文化財	無形の民俗文化財	内海の春まつり	1	内海										
民俗文化財	無形の民俗文化財	西端の神楽船	1	西端										
民俗文化財	無形の民俗文化財	岩屋寺の左義長	1	岩屋寺										
民俗文化財	無形の民俗文化財	岩屋寺の初午	1	岩屋寺										
民俗文化財	無形の民俗文化財	秋まつり	1	西村										
民俗文化財	無形の民俗文化財	鯛祭り	1	豊浜										
民俗文化財	無形の民俗文化財	おとまり踊り	1	鳥居										
民俗文化財	無形の民俗文化財	中洲おどり	1	中洲										
民俗文化財	無形の民俗文化財	乙方春まつり	1	乙方										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
民俗文化財	無形の民俗文化財	熊野神社の歩射(弓まつり)	1	乙方										
民俗文化財	無形の民俗文化財	粥占	1	乙方										
民俗文化財	無形の民俗文化財	お神楽	2	神明社、日間賀神社										
民俗文化財	無形の民俗文化財	太子講	1	長福寺										
民俗文化財	無形の民俗文化財	大井の夏祭り	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	金毘羅さん	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	二十八社めぐり	1	大井										
民俗文化財	無形の民俗文化財	秋祭り	1	片名										
民俗文化財	無形の民俗文化財	羽豆神社の大名行列	1	師崎										
民俗文化財	無形の民俗文化財	左義長(師崎)	1	師崎										
民俗文化財	無形の民俗文化財	師崎盆踊り	1	師崎										
民俗文化財	無形の民俗文化財	祇園まつり	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	野島まつり	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	神明神社、八王子社御遷宮	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	正月祭礼 大名行列	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	浜施餓鬼(篠島)	1	篠島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	寝宿制度	2	篠島、日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	ざおん祭り	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	ほうろく流し	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	日間賀神社の正月神事	1	日間賀島										
民俗文化財	無形の民俗文化財	ウミガメ信仰	1	全城										
記念物	遺跡	源義朝の大岩	1	内海										
記念物	遺跡	うばはり石	1	内海										
記念物	遺跡	井際山(おさはち山)	1	内海										
記念物	遺跡	大碓紋太郎養家跡	1	内海										
記念物	遺跡	お吉生家跡	1	内海										
記念物	遺跡	おんたけ修行洞穴	1	内海										
記念物	遺跡	吉良の仁吉清めの井戸跡	1	内海										
記念物	遺跡	西端共同井戸	1	内海										
記念物	遺跡	二壇屋敷	1	内海										
記念物	遺跡	大師ヶ嶽八十八ヶ所	1	山海										
記念物	遺跡	洞窟	1	山海										
記念物	遺跡	立石さま	1	豊浜										
記念物	遺跡	大石さま	1	豊浜										
記念物	遺跡	恩徳寺穴観音	1	豊浜										
記念物	遺跡	蟹堂さん祠	1	豊丘										
記念物	遺跡	大井烽火台	1	大井										
記念物	遺跡	回天基地跡	1	大井										
記念物	遺跡	護摩窟	1	大井										
記念物	遺跡	震洋基地跡	1	片名										
記念物	遺跡	羽豆岬プール	1	師崎										
記念物	遺跡	浜井戸(共同井戸)	1	師崎										
記念物	遺跡	姫塚	1	師崎										
記念物	遺跡	方角石(師崎・羽豆神社)	1	師崎										
記念物	遺跡	加藤清正の枕石	1	篠島										
記念物	遺跡	カノン砲の弾薬庫跡	1	篠島										
記念物	遺跡	妙見齋跡	1	篠島										
記念物	遺跡	見夜火堂跡	1	篠島										
記念物	遺跡	先苧貝塚	1	内海										
記念物	遺跡	清水ノ上貝塚	1	内海										
記念物	遺跡	林ノ峰貝塚	1	内海										
記念物	遺跡	乙福谷遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	乙福谷東遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	下別所遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	阿麻遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	山尾遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	寺前遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	小栴遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	小廻間遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	城山遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	西端遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	早稲倉遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	打越遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	中塩田遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	中前田遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	中添遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	潮干天神遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	内福寺廻間遺跡	1	内海										
記念物	遺跡	打越A古窯群	1	内海										
記念物	遺跡	打越B古窯	1	内海										
記念物	遺跡	西鈴ヶ谷A古窯	1	内海										
記念物	遺跡	西鈴ヶ谷B古窯	1	内海										
記念物	遺跡	八ヶ池古窯	1	内海										
記念物	遺跡	鈴ヶ谷古窯群	1	内海										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区											
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島			
記念物	遺跡	私ヶ奥古窯	1	内海												
記念物	遺跡	芋沢古窯群	1	内海												
記念物	遺跡	奥檜木A古窯	1	内海												
記念物	遺跡	奥檜木B古窯跡	1	内海												
記念物	遺跡	奥檜木C古窯跡	1	内海												
記念物	遺跡	一色城跡	1	内海												
記念物	遺跡	岡部城跡(内海城・馬場城)	1	内海												
記念物	遺跡	馬場村城屋敷	1	内海												
記念物	遺跡	九衛門殿屋敷	1	内海												
記念物	遺跡	性海寺古墓	1	内海												
記念物	遺跡	円通寺東遺跡	1	内海												
記念物	遺跡	内海砲台跡	1	内海												
記念物	遺跡	内海烽火台跡	1	内海												
記念物	遺跡	欠ヶ前遺跡	1	山海												
記念物	遺跡	山崎遺跡	1	山海												
記念物	遺跡	清水遺跡	1	山海												
記念物	遺跡	天神遺跡	1	山海												
記念物	遺跡	山海城山城	1	山海												
記念物	遺跡	城洲参考地	1	山海												
記念物	遺跡	道城山伝承地	1	山海												
記念物	遺跡	岩屋寺古墓	1	山海												
記念物	遺跡	草花遺跡	1	豊浜												
記念物	遺跡	鯨脇遺跡	1	豊浜												
記念物	遺跡	小佐谷遺跡	1	豊浜												
記念物	遺跡	上之山古墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	火穴古墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	中洲第1号墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	中洲第2号墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	中洲第3号墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	中洲第4号墳	1	豊浜												
記念物	遺跡	中洲遺跡	1	豊浜												
記念物	遺跡	峠遺跡	1	豊浜												
記念物	遺跡	須佐城A	1	豊浜												
記念物	遺跡	須佐城B	1	豊浜												
記念物	遺跡	大城伝承地	2	豊浜、豊丘												
記念物	遺跡	長命寺古墓	1	豊浜												
記念物	遺跡	森添遺跡	1	豊丘												
記念物	遺跡	鎌田屋敷跡	1	豊丘												
記念物	遺跡	天神山遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	天神山遺跡(B地点)	1	大井												
記念物	遺跡	塩屋遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	鷹ヶ崎遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	山田遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	小海田遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	森浦遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	足立別荘下遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	北側遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	葦畑間遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	間哉遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	宮前遺跡	1	大井												
記念物	遺跡	医王寺跡	1	大井												
記念物	遺跡	大井釜山古窯群	1	大井												
記念物	遺跡	高木屋敷跡	1	大井												
記念物	遺跡	大井烽火台跡	1	大井												
記念物	遺跡	向畑遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	新津遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	新津遺跡(第2地点)	1	片名												
記念物	遺跡	新津遺跡(第4地点)	1	片名												
記念物	遺跡	咲畑貝塚	1	片名												
記念物	遺跡	山田平遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	田中島遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	聖崎遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	新津古墳	1	片名												
記念物	遺跡	蛭子古墳	1	片名												
記念物	遺跡	長谷遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	郷中遺跡	1	片名												
記念物	遺跡	後山古墓	1	片名												
記念物	遺跡	羽豆岬海中遺跡	1	師崎												
記念物	遺跡	口田面遺跡	1	師崎												
記念物	遺跡	神護寺遺跡	1	師崎												
記念物	遺跡	高岩古墳	1	師崎												
記念物	遺跡	汁谷遺跡	1	師崎												
記念物	遺跡	鳥居貝塚	1	師崎												
記念物	遺跡	鳥東遺跡	1	師崎												

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
記念物	遺跡	板取遺跡	1	師崎										
記念物	遺跡	狭間遺跡	1	師崎										
記念物	遺跡	幡豆崎城	1	師崎										
記念物	遺跡	羽豆崎天神山城跡(二ノ段)	1	師崎										
記念物	遺跡	蜂屋城跡	1	師崎										
記念物	遺跡	千賀屋敷跡	1	師崎										
記念物	遺跡	師崎遠見番所跡	1	師崎										
記念物	遺跡	師崎砲台跡	1	師崎										
記念物	遺跡	小磯島遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	南風ヶ崎遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	神戸遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	神明社貝塚	1	篠島										
記念物	遺跡	鯨浜遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	山の神遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	汐味遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	藤塚遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	妙見斎古墳	1	篠島										
記念物	遺跡	鯨浜古墳	1	篠島										
記念物	遺跡	堂山古墳	1	篠島										
記念物	遺跡	木島観光苑入口遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	牛取遺跡	1	篠島										
記念物	遺跡	正法寺備蓄銭出土地	1	篠島										
記念物	遺跡	篠島城跡	1	篠島										
記念物	遺跡	篠島南風ヶ崎石切丁場跡	1	篠島										
記念物	遺跡	日尻遺跡	1	日間賀島										
記念物	遺跡	藪ノ鼻遺跡	1	日間賀島										
記念物	遺跡	立石遺跡	1	日間賀島										
記念物	遺跡	新井浜遺跡(A地点)	1	日間賀島										
記念物	遺跡	新井浜貝塚(B地点)	1	日間賀島										
記念物	遺跡	大光院貝塚	1	日間賀島										
記念物	遺跡	鼠島遺跡	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地遺跡(A地点)	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地遺跡(B地点)	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地遺跡(C地点)	1	日間賀島										
記念物	遺跡	広山第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	広山第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	広地第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	広地第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	上海第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	上海第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	新井浜古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	石ヶ上第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	石ヶ上第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	大光院古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	中道下古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	長心寺古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	二ツ谷古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	日間賀神社前遺跡	1	日間賀島										
記念物	遺跡	八幡社古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	飛駒古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第3号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第4号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第5号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第6号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第7号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第8号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第9号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第10号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第11号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第12号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第13号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	北地第14号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	立石古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	龍海第1号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	龍海第2号墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	浦ヶ鼻古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	亀井戸古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	久淵古墳	1	日間賀島										
記念物	遺跡	下海古窯	1	日間賀島										
記念物	名勝地	千鳥ヶ浜	1	内海										
記念物	名勝地	秋葉山	1	内海										
記念物	名勝地	伊勢山	1	内海										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
記念物	名勝地	内海川	1	内海										
記念物	名勝地	持宝院の桜	1	内海										
記念物	名勝地	千鳥ヶ浜	1	内海										
記念物	名勝地	つぶてヶ浦	1	内海										
記念物	名勝地	井際山(おさはち山)	1	内海										
記念物	名勝地	須佐入江	1	豊浜										
記念物	名勝地	日和山	1	豊浜										
記念物	名勝地	聖崎	1	大井										
記念物	名勝地	大井湊	1	大井										
記念物	名勝地	片名浜	1	片名										
記念物	名勝地	羽豆岬	1	師崎										
記念物	名勝地	磯邊ノ里	1	師崎										
記念物	名勝地	恵比須島	1	師崎										
記念物	名勝地	屏風岩	1	師崎										
記念物	名勝地	師崎	1	師崎										
記念物	名勝地	木島	1	篠島										
記念物	名勝地	小磯島	1	篠島										
記念物	名勝地	篠島	1	篠島										
記念物	名勝地	平島	1	篠島										
記念物	名勝地	広亀島	1	篠島										
記念物	名勝地	松島	1	篠島										
記念物	名勝地	築見島	1	篠島										
記念物	名勝地	戸亀島	1	篠島										
記念物	名勝地	中手島	1	篠島										
記念物	名勝地	野島	1	篠島										
記念物	名勝地	大磯島	1	日間賀島										
記念物	名勝地	鼠島	1	日間賀島										
記念物	名勝地	日間賀島	1	日間賀島										
記念物	地質鉱物	化石産出地	26	羽豆岬はじめ26所										
記念物	植物	イスノキ	2	入見神社、中洲神社										
記念物	植物	イチョウ	8	円通寺はじめ8所										
記念物	植物	イブキ	1	泉蔵院										
記念物	植物	ウバメガシ	1	入見神社										
記念物	植物	エノキ	5	入見神社はじめ5所										
記念物	植物	カゴノキ	1	林若子神社										
記念物	植物	クスノキ	9	入見神社はじめ7所										
記念物	植物	クロガネモチ	3	神明社はじめ3所										
記念物	植物	ケヤキ	7	岩屋寺はじめ7所										
記念物	植物	ゲンボナシ	1	日吉神社										
記念物	植物	シイノキ	3	永昌寺、熊野神社										
記念物	植物	シダレザクラ	1	性海寺										
記念物	植物	スギ	4	熊野神社はじめ4所										
記念物	植物	タブノキ	5	神明社はじめ4所										
記念物	植物	ツブラジイ	2	八幡社、稲荷社										
記念物	植物	ナギ	1	須男神社										
記念物	植物	バクチノキ	1	岩屋寺										
記念物	植物	ホルトノキ	1	熊野神社										
記念物	植物	ムクノキ	2	熊野社、岩屋寺										
記念物	植物	ムクロジ	1	豊丘むくろじ会館										
記念物	植物	モチノキ	1	如意輪寺										
記念物	植物	ヤマモモ	7	秋葉社はじめ6所										
記念物	植物	ユズリハ	1	初神神社										
記念物	植物	社寺林 八幡社	1	内海										
記念物	植物	社寺林 久須神社	1	内海										
記念物	植物	社寺林 秋葉社	1	内海										
記念物	植物	社寺林 岩屋寺	1	山海										
記念物	植物	社寺林 日吉神社	1	山海										
記念物	植物	社寺林 白山社	1	豊浜										
記念物	植物	社寺林 初神神社	1	豊浜										
記念物	植物	社寺林 熊野神社	1	豊丘										
記念物	植物	社寺林 林若子神社	1	豊丘										
文化的景観		集落景観	10	内海はじめ10所										
文化的景観		農業景観	6	内海はじめ6所										
文化的景観		漁港景観	7	師崎はじめ7所										
文化的景観		ため池	15	西池田池はじめ15所										
その他	郷土資料	篠島史蹟	1	南知多町										
その他	郷土資料	内海古事類聚	1	南知多町										
その他	郷土資料	郷土教育資料	1	南知多町										
その他	郷土資料	郷土調査	1	南知多町										
その他	郷土資料	南知多師崎誌	1	南知多町										
その他	郷土資料	篠島しりぞ 1～5	1	南知多町										
その他	郷土資料	絵はがき(戦前)	1	南知多町										
その他	郷土資料	風流漫筆知多めぐり	1	南知多町										
その他	郷土資料	岡田紅葉写真帳	1	個人蔵										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
その他	郷土資料	観光パンフレット(戦前)	1	南知多町										
その他	郷土資料	知多新四国霊場巡拝案内	1	南知多町										
その他	郷土資料	南知多めぐり	1	南知多町										
その他	郷土資料	南知多遊覧 交通名所図繪	1	南知多町										
その他	郷土資料	四代内田佐七撮影写真	1	南知多町										
その他	伝承地	義朝上陸推定地	1	内海										
その他	伝承地	弘法硯水 名切	1	内海										
その他	伝承地	轟の井	1	内海										
その他	伝承地	弘法大師之井	1	山海										
その他	伝承地	かみなり岩	1	豊浜										
その他	伝承地	弘法大師上陸伝承地	1	大井										
その他	伝承地	明星之井	1	大井										
その他	伝承地	羽豆岬玉姫様	1	師崎										
その他	伝承地	篠島伝承地 立矢	1	篠島										
その他	伝承地	篠島伝承地 神風ヶ浜	1	篠島										
その他	伝承地	篠島伝承地 皇子ヶ膝	1	篠島										
その他	自然景観	千鳥ヶ浜	1	内海										
その他	自然景観	つぶてヶ浦	1	内海										
その他	自然景観	桜公園	1	豊浜										
その他	自然景観	貝がら公園	1	豊浜										
その他	自然景観	初神断層	1	豊浜										
その他	自然景観	須佐の入江	1	豊浜										
その他	自然景観	小佐の砂岩脈	1	豊浜										
その他	自然景観	聖崎	1	大井										
その他	自然景観	羽豆岬	1	師崎										
その他	自然景観	南風ヶ崎	1	篠島										
その他	自然景観	万葉歌碑公園	1	篠島										
その他	自然景観	前浜	1	篠島										
その他	自然景観	松島	1	篠島										
その他	自然景観	宮の花	1	日間賀島										
その他	伝説	伊勢山と礫ヶ浦	1	内海										
その他	伝説	姥張り石	1	内海										
その他	伝説	大岩の姓	1	内海										
その他	伝説	岡部の太郎	1	内海										
その他	伝説	踊り清水	1	内海										
その他	伝説	烏蛇命神	1	内海										
その他	伝説	弘法硯水	1	内海										
その他	伝説	新艘	1	内海										
その他	伝説	前野小平治の埋蔵金	1	内海										
その他	伝説	海から上がった千手観音菩薩	1	山海										
その他	伝説	大泊の天神様	1	山海										
その他	伝説	おしりの欠けた貝	1	山海										
その他	伝説	権現社	1	山海										
その他	伝説	城山の赤松	1	山海										
その他	伝説	乃野神社	1	山海										
その他	伝説	白山	1	山海										
その他	伝説	火消し弁天	1	山海										
その他	伝説	人斬り谷	1	山海										
その他	伝説	龍江寺の弁財尊天	1	山海										
その他	伝説	大石さま	1	豊浜										
その他	伝説	怪火静弥太郎	1	豊浜										
その他	伝説	梶原源太景季の子	1	豊浜										
その他	伝説	天神山と恵比寿山	1	豊浜										
その他	伝説	中須の大火	1	豊浜										
その他	伝説	船をとめた土御前社	1	豊浜										
その他	伝説	脇屋義助と神明社	1	豊浜										
その他	伝説	おじゅらっさま	1	豊丘										
その他	伝説	蟹堂さん	1	豊丘										
その他	伝説	銀蔵弘法さん	1	豊丘										
その他	伝説	源氏の軍資金	1	豊丘										
その他	伝説	年末にもちをつかない家	1	豊丘										
その他	伝説	林若子の鬼	1	豊丘										
その他	伝説	医王寺物語	1	大井										
その他	伝説	荒神様	1	大井										
その他	伝説	このわた	1	大井										
その他	伝説	盗賊を退治した薬師如来さん	1	大井										
その他	伝説	聖崎	1	大井										
その他	伝説	海獣トド	1	片名										
その他	伝説	片名の神明社	1	片名										
その他	伝説	あめふらし	1	師崎										
その他	伝説	家康、師崎へ	1	師崎										
その他	伝説	磯部村	1	師崎										
その他	伝説	金物を海へ落とすな	1	師崎										
その他	伝説	くじらとり	1	師崎										

種別1	種別2	名称	件数	所有者または所在地	所在地区									
					内海	山海	豊浜	豊丘	大井	片名	師崎	篠島	日間賀島	
その他	伝説	千賀家の家紋	1	師崎										
その他	伝説	大筒に化けた鐘	1	師崎										
その他	伝説	羽豆神社	1	師崎										
その他	伝説	姫塚	1	師崎										
その他	伝説	待合浦	1	師崎										
その他	伝説	師崎の栄村	1	師崎										
その他	伝説	家康のお墨付	1	篠島										
その他	伝説	犬のきらいな神様	1	篠島										
その他	伝説	皇子ヶ膝	1	篠島										
その他	伝説	可睡齋	1	篠島										
その他	伝説	神風ヶ浜	1	篠島										
その他	伝説	清正の枕石	1	篠島										
その他	伝説	鯨浜	1	篠島										
その他	伝説	御神火の現れる日	1	篠島										
その他	伝説	栄造泣かせ	1	篠島										
その他	伝説	篠島の流人	1	篠島										
その他	伝説	城山	1	篠島										
その他	伝説	西方寺の阿弥陀様	1	篠島										
その他	伝説	立矢の松	1	篠島										
その他	伝説	てんぐ山	1	篠島										
その他	伝説	どうまんに入った徳川家康	1	篠島										
その他	伝説	轟と次郎ヶ浜	1	篠島										
その他	伝説	藤塚と大松	1	篠島										
その他	伝説	不正の者を置かぬ島	1	篠島										
その他	伝説	帝井	1	篠島										
その他	伝説	六兵衛観音	1	篠島										
その他	伝説	海参(煎海鼠)	1	日間賀島										
その他	伝説	おこぎ祭り	1	日間賀島										
その他	伝説	黒姫さま	1	日間賀島										
その他	伝説	たいのかた	1	日間賀島										
その他	伝説	夫婦岩	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	佐兵衛	1	山海										
その他	昔ばなし	かしこい鳥	1	山海										
その他	昔ばなし	一本足の大だこ	1	豊浜										
その他	昔ばなし	牛に乗る女中たち	1	豊浜										
その他	昔ばなし	おりん島	1	豊浜										
その他	昔ばなし	河童	1	豊浜										
その他	昔ばなし	小佐の薬師堂	1	豊浜										
その他	昔ばなし	こって庄助とがたがたの彦八	1	豊浜										
その他	昔ばなし	須佐の入り江	1	豊浜										
その他	昔ばなし	千代取り岩	1	豊浜										
その他	昔ばなし	鉄拳梅	1	豊浜										
その他	昔ばなし	火事に見物いらんぞよ!	1	豊浜										
その他	昔ばなし	滝本氏と餅つき	1	豊丘										
その他	昔ばなし	岡坂山で富士を詠む殿様	1	豊丘										
その他	昔ばなし	磯天狗	1	大井										
その他	昔ばなし	お薬師さまのきつね	1	大井										
その他	昔ばなし	馬糞団子	1	大井										
その他	昔ばなし	宝泉坊ぎつね	1	大井										
その他	昔ばなし	長谷のきつね	1	片名										
その他	昔ばなし	海幽霊	1	師崎										
その他	昔ばなし	大きな亀と遊ぶ若様	1	師崎										
その他	昔ばなし	化道ぐも	1	師崎										
その他	昔ばなし	こいの道	1	師崎										
その他	昔ばなし	肥がめの風呂(馬糞団子)	1	師崎										
その他	昔ばなし	小僧さんのとんち	1	師崎										
その他	昔ばなし	入目村のこと	1	師崎										
その他	昔ばなし	屏風岩と待合浦	1	師崎										
その他	昔ばなし	帝の井と宗良親王碑	1	師崎										
その他	昔ばなし	むかでを殺したら三つに切れ	1	師崎										
その他	昔ばなし	師崎の鯨とり	1	師崎										
その他	昔ばなし	もんじろぎつね	1	師崎										
その他	昔ばなし	龍宮と有無幽霊と海亀	1	師崎										
その他	昔ばなし	飛んでもふぐ	1	篠島										
その他	昔ばなし	かしき長者	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	片羽九十九里	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	こんこんぎつねは犬がこわい	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	そこぬげびしゃく	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	たこあみだ地蔵	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	ちょうちんの骨	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	にぎりべ三里	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	日間賀の大だこ	1	日間賀島										
その他	昔ばなし	夢の中の島	1	日間賀島										

南知多町文化財保存活用地域計画
令和6年2月

編集 南知多町教育委員会
発行 南知多町
印刷 有限会社 一粒社

